

Yomota, C., Ohnishi, Y. and Tanamoto, K.: **Analysis of biotin as a 2-nitrophenylhydrazine derivatives in tablets or capsules by HPLC and LC-MS**

119th AOAC Annual Meeting & Exposition (2005. 9)

四方田千佳子, 伊豆津健一, 保立仁美, 鳥海良寛*, 青柳伸男: **市販経口固形製剤のPTPシート保管後の溶出変化事例**

日本薬学会第126年会(2006. 3)

*秋田県薬剤師会

Katori, N., Nakajima, Y. *¹, Yoshitani, T. *¹, Itoda, M., Saito, Y., Ozawa, S., Kaniwa, N., Aoyagi, N., Tamura, T. *², Yamamoto, N. *², Minami, H. *², Saijo, N. *² and Sawada, J.: **A CYP3A4 Haplotype Affects Pharmacokinetics of Paclitaxel Metabolites in Japanese Cancer Patients**

13th North American ISSX (International Society for the study of Xenobiotics) / 20th JSSX (Japanese Society for the study of Xenobiotics) Joint Meeting (2005. 10)

*¹ 医薬品医療機器総合機構

*² 国立がんセンター

香取典子, 中島由起子*¹, 吉谷隆志*¹, 祖山晃子, 福島(上坂)浩実, 黒瀬光一, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 青柳伸男, 山本 昇*², 南 博信*², 田村友秀*², 西條長宏*², 澤田純一: **パクリタキセル代謝に影響を与える遺伝子および血清学的因子について**

日本薬学会第126年会(2006. 3)

*¹ 医薬品医療機器総合機構

*² 国立がんセンター

Izutsu, K. and Aoyagi, N.: **Effects of phosphate and citrate compounds on the physical properties of protein stabilizers for freeze-drying formulations**

AAPS National Biotechnology Conference (2005. 6)

伊豆津健一, 青柳伸男, 小嶋茂雄: **溶質の分子量と凍結濃縮相における混合性**

第51回低温生物工学会大会(2005. 6)

伊豆津健一: **添加剤によるタンパク質安定化機構と製剤設計**

日本動物細胞工学会2005年会(2005. 7)

Izutsu, K., Fujimaki, Y., Yomota, C. and Aoyagi, N.: **Near-infrared spectroscopy of proteins in aqueous solutions and freeze-dried solids: A preliminary study**

Colorado Protein Stability Conference (2000. 7)

伊豆津健一, 藤巻康人, 四方田千佳子, 青柳伸男: **タンパク質医薬品の非破壊評価に向けた水溶液と凍結乾燥固体中の二次構造検討**

近赤外研究会第21回フォーラム(2005. 11)

伊豆津健一, 四方田千佳子, 小出達夫, 藤巻康人, 坂本知昭, 檜山行雄: **多成分系非晶質医薬品製剤の開発へのNIRの活用**

平成17年度ヒューマンサイエンス総合研究推進事業研究発表会(2005. 12)

伊豆津健一, 四方田千佳子, 檜山行雄, 青柳伸男: **凍結乾燥製剤の非破壊評価に向けたアモルファス固体内水素結合の近赤外(NIR)測定**

日本薬剤学会第21回年会(2006. 3)

Izutsu, K., Fujimaki, Y., Kuwabara, A., Hiyama, Y., Yomota, C. and Aoyagi, N.: **Effect of freeze-drying on secondary structure of proteins studied by near-infrared spectroscopy (NIR)**

World Meeting of Pharmaceutics, Biopharmaceutics and Pharmaceutical Technology (2006. 3)

Yoshioka, S. and Aso, Y.: **Relative contributions of molecular mobility and chemical activation barrier to the degradation rate of lyophilized insulin**

American Association of Pharmaceutical Scientists, Annual Meeting (2005. 11)

Aso, Y. and Yoshioka, S.: **Miscibility of nifedipine and hydrophilic polymers in solid dispersions, as determined by 1H-NMR spin-lattice relaxation measurements**

American Association of Pharmaceutical Scientists, Annual Meeting (2005. 11)

Miyazaki, T., Yoshioka, S. and Aso, Y.: **Effect of drug-polymer interaction on crystallization of amorphous acetanilide derivatives in the solid dispersions**

American Association of Pharmaceutical Scientists, Annual Meeting (2005. 11)

吉岡澄江, 宮崎玉樹, 阿曾幸男: **糖類および水溶性高分子含有凍結乾燥製剤中のインスリンの分解速度と固体¹³C NMRで測定したβ緩和速度との関係**

日本薬剤学会第21年会(2006. 3)

阿曾幸男, 吉岡澄江: **¹³C-NMRによるニフェジピン・およびフェノバルビタール・HPMC固体分散体の分子運動性の測定**

日本薬剤学会第21年会(2006. 3)

吉岡澄江, 宮崎玉樹, 阿曾幸男: **ポリビニルピロリドンおよびポリアミノ酸等の高分子含有凍結乾燥製剤におけるインスリンの化学的分解速度の決定要因としての分子運動性の重要度**

日本薬学会第126年会(2006. 3)

阿曾幸男, 吉岡澄江: **ポリビニルアルコールゲルに内包したβ-ガラクトシダーゼの活性に及ぼす保存の影響**

日本薬学会第126年会(2006.3)

宮崎玉樹, 吉岡澄江, 阿曾幸男: **ニフェジピン類薬物の結晶化速度と分子運動性についての検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

檜山行雄: **医薬品の品質保証における承認書の役割**
製剤機械技術研究会大会(2005.4)

檜山行雄: **製剤開発とリスクマネジメント**
製剤機械技術研究会第15回大会(2005.11)

Yukio Hiyama: **Global GMP Harmonization- Japanese Perspective**

ISPE European GMP Conference(チェコ, プラハ)
(2005.9)

Yukio Hiyama: **Japanese CMC Review System with Quality Overall Summary**

AAPS/FDA/ISPE workshop on CMC Assessment(米国, ワシントン)(2005.10)

坂本知昭, 檜山行雄: **科学及びリスクに基づく医薬品品質試験検査の質の維持とその管理に関する考察例**

日本薬学会第126年会(2006.3)

菊池浩一*, 知久馬敏幸*, 北條博史*, 檜山行雄, 坂本知昭: **経皮吸収製剤における標準的評価方法の確立**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*昭和薬科大学

松永浩和*¹, 駒井 彰*², 坂本知昭, 鈴木康志*³, 畑田幸栄*⁴, 松浦光高*⁵, 三浦 剛*⁶: **PATのための分析法**

日本PDA製薬学会第13回年会(2005.11)

*¹ 武田薬品工業(株)

*² ブルカー-AXS(株)

*³ (株)島津製作所

*⁴ (株)住化分析センター

*⁵ 藤沢薬品工業(株)

*⁶ ブルカー-オプティクス(株)

長門琢也*, 加納良幸*, 徳山大地*, 夏山 晋*, 小出達夫, 藤巻康人: **NIR分析装置によるコーティング粒子のリアルタイム物性評価**

第22回製剤と粒子設計シンポジウム(2005.10)

* (株)パウレック

神谷明良*¹, 浮田辰三*², 大原寿樹*³, 小出達夫, 櫻木明*², 夏山 晋*⁴, 橋本尚美*⁵, 細谷武士*⁶, 村田明弘*³: **原薬・製剤プロセスにおけるPAT**

日本PDA製薬学会第13回年会(2005.11)

*¹ ファイザー(株)

*² 田辺製薬(株)

*³ 横河電気(株)

*⁴ (株)パウレック

*⁵ 日揮(株)

*⁶ 藤沢薬品工業(株)

小澤明日香*, 吉橋泰生*, 米持悦生*, 小出達夫, 檜山行雄, 寺田勝英*: **NIR法を用いた錠剤中の主薬含量の定量とイメージング測定**

日本薬剤学会第21年会(2006.3)

* 東邦大学薬学部

長門琢也*, 加納良幸*, 徳山大地*, 夏山 晋*, 小出達夫, 藤巻康人: **近赤外分析装置によるコーティング粒子のリアルタイム物性評価**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* (株)パウレック

小出達夫, 藤巻康人, 長門琢也*, 加納良幸*, 夏山晋*, 坂本知昭, 檜山行雄: **近赤外イメージングシステムを用いた医薬品品質評価についての検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* (株)パウレック

藤巻康人, 小出達夫, 坂本知昭, 檜山行雄: **近赤外分光法を用いた医薬品の分析**

第21回近赤外フォーラム(2005.11)

谷野忠嗣*¹, 谷 正樹*², 長門琢也*³, 中本敬三*⁴, 藤巻康人, 藤原尚登*⁵, 山根賢治*⁶: **製剤開発段階でのPATの応用**

日本PDA製薬学会第13回年会(2005.11)

*¹ 塩野義製薬(株)

*² アステラス製薬(株)

*³ (株)パウレック

*⁴ エーザイ(株)

*⁵ 田辺製薬(株)

*⁶ 大鵬薬品工業(株)

藤巻康人, 小出達夫, 加納良幸*, 長門琢也*, 夏山晋*, 坂本知昭, 檜山行雄: **医薬品の溶出特性と近赤外スペクトルとの相関**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* (株)パウレック

伊藤さつき, 川崎ナナ, 橋井則貴, 原園 景, 松石 紫, 川西 徹, 早川堯夫: **リニアイオントラップ型MSを用いたゲル内糖タンパク質の部位特異的糖鎖解析**

第53回質量分析総合討論会(2005.5)

橋井則貴, 伊藤さつき, 川崎ナナ, 原園 景, 松石 紫, 川西 徹, 早川堯夫: **multiple-stage tandem mass spectrometry(MSⁿ)によるLewis^xの特異的解析**

第53回質量分析総合討論会(2005.5)

原園 景, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 橋井則貴, 松石 紫, 川西 徹: **LC/ESI/MS/MSによるタンパク質混合物中のヒト血漿ビトロネクチンの部位特異的糖鎖解析**

第25回日本糖質学会 (2005. 7)

佐野琴音^{*1}, 宮本泰則^{*1}, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 玉井幸恵^{*2}, 加藤恵己^{*2}, 赤松 暢^{*2}, 内堀(岩城)はるひ^{*1}, 浅沼公恵^{*1}, 鈴木理沙^{*1}, 小川温子^{*1}: **肝再生時のピトロネクチン糖鎖がマトリックスリガンド結合と細胞伸展活性に与える影響**

第25回日本糖質学会 (2005. 7)

^{*1} お茶の水女子大学大学院

^{*2} 聖マリアンナ医科大学

川崎ナナ, 橋井則貴, 松石 紫, 伊藤さつき, 原園 景, 川西 徹: **LC/MSⁿによる糖鎖の構造特異的検出**
日本プロテオーム機構第3回大会 (2005. 8)

永石貴之^{*}, 野村和子^{*}, 水口惣平^{*}, 出嶋克史^{*}, 川崎ナナ, 松石 紫, 野村一也^{*}: **線虫の糖鎖付加タンパク質の決定**

日本プロテオーム機構第3回大会 (2005. 8)

^{*}九州大学大学院

野村和子^{*1}, 水口惣平^{*1}, 永石貴之^{*1}, 安藤恵子^{*2}, 三谷昌平^{*2}, 平林義雄^{*3}, 松石 紫, 川崎ナナ, 野村一也^{*1}: **C. eleganceを用いた糖鎖の網羅的機能解析 - 二次元電気泳動(2D-DIGE)による定量解析**

日本プロテオーム機構第3回大会 (2005. 8)

^{*1}九州大学大学院

^{*2}東京女子医科大学

^{*3}理化学研究所

Itoh, S., Kawasaki, N., Hashii, N., Harazono, A., Matsuishi, Y., Hachisuka, A., Teshima, R., Sawada, J., Kawanishi, T. and Hayakawa, T.: **Glycosylation analysis of IgLON family glycoprotein in rat brain by LC/MSⁿ**

第77回日本生化学会大会 (2005. 10)

Hashii, N., Kawasaki, N., Harazono, A., Itoh, S., Matsuishi, Y. and Kawanishi, T.: **Decrease in alpha-glucosidase II expression in the kidney of a MRL/lps murine model of human systemic lupus erythematosus (SLE)**

第77回日本生化学会大会 (2005. 10)

Inoue, R.^{*1}, Terada, M.^{*1}, Khoo, K. H.^{*2}, Kawasaki, N., Ma, B. Y.^{*1}, Oka, S.^{*1}, Kawasaki, T.^{*3} and Kawasaki, N.^{*1}: **Isolation of glycoproteins carrying the characteristic MBP-ligands oligosaccharide from the human colon cancer cells**

第77回日本生化学会大会 (2005. 10)

^{*1}京都大学大学院

^{*2}Sinica大学

^{*3}立命館大学

Asahi, M.^{*}, Sano, K.^{*}, Hashii, N., Itoh, S., Kawasaki, N., Yanagibashi, M.^{*}, Uchibori-Iwaki, H.^{*} and Ogawa, H.^{*}: **Characterization of glycan moieties of fibronectin and**

vitronectin during liver regeneration

第77回日本生化学会大会 (2005. 10)

^{*}お茶の水女子大学

佐野琴音^{*1}, 内堀(岩城)はるひ^{*1}, 浅沼公恵^{*1}, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 鈴木理沙^{*1}, 玉井幸恵^{*2}, 加藤恵己^{*2}, 赤松 暢^{*2}, 小川温子^{*1}: **肝再生時ピトロネクチンの部位特異的糖鎖修飾ならびに糖鎖構造変化が多量体形成に与える影響**

文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「糖鎖によるタンパク質と分子複合体の機能調節」第3回夏期シンポジウム (2005. 8)

^{*1}お茶の水女子大学大学院

^{*2}聖マリアンナ医科大学

川崎ナナ, 橋井則貴, 伊藤さつき, 原園 景, 松石 紫, 川西 徹: **自己免疫疾患モデルマウス腎臓における糖鎖異常**

第1回臨床プロテオーム研究会 (2005. 10)

澤田 均^{*}, 澤彩映子^{*}, 伊藤さつき, 川崎ナナ: **マボヤ卵黄膜上の精子レセプターHrVC700の糖鎖構造**

日本動物学会第76回大会 (2005. 10)

^{*}名古屋大学

川崎ナナ, 伊藤さつき, 橋井則貴, 中島 紫, 原園 景, 川西 徹: **LC/MSのグライコムクスへの応用**

文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「糖鎖によるタンパク質と分子複合体の機能調節」第4回公開シンポジウム (2006. 1)

川崎ナナ, 伊藤さつき, 松石 紫, 原園 景, 橋井則貴, 川西 徹: **グライコムクス技術を用いた疾患関連糖タンパク質解析**

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

原園 景, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 橋井則貴, 松石 紫, 川西 徹: **LC/MSとエキソグリコシダーゼによる糖タンパク質の部位特異的な糖鎖解析**

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

橋井則貴, 川崎ナナ, 原園 景, 伊藤さつき, 松石 紫, 川西 徹: **LC/MSⁿを用いた糖鎖抗原が結合したコアタンパク質の同定法の開発**

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

川崎ナナ, 伊藤さつき, 原園 景, 橋井則貴, 松石 紫, 川西 徹: **LC/MSⁿを用いた部位特異的糖鎖構造解析**

第6回日本蛋白質科学年会 (2006. 4)

小林 哲, 河合 洋^{*}, 鈴木琢雄, 石井明子, 早川堯夫, 川西 徹: **Protein signal enhancement in MALDI-TOF MS Part2**

第53回質量分析総合討論会 (2005. 5)

^{*}城西国際大学

鈴木琢雄, 櫻井教美^{*1}, 河合 洋^{*2}, 小林 哲, 石井明子, 大幡久之^{*1}, 本田一男^{*1}, 川西 徹: **小胞体ストレスによるカスパーゼ活性化のイメージング**

第14回バイオイメージング学会(2005.10)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} 城西国際大学

Martin K Ng^{*}, Edwin Chang^{*}, Jenny Wu^{*}, Bing-yin Wang^{*}, Regina Katzenburg-Clark^{*}, Ishii-Watabe, A., John P Cooke^{*}: **A Central Role for Nicotinic Cholinergic Regulation of Growth Factor-Induced Endothelial Cell Migration - Novel Insights into Angiogenesis**

American Heart Association Scientific Sessions 2005 (2005.11)

^{*} Stanford University

Kobayashi, T., Kawai, H.^{*}, Suzuki, T., Ishii-Watabe, A., Hayakawa, T. and Kawanishi, T.: **Signal enhancement of protein in MALDI-TOF MS by premixing matrix CHCA with transferrin**

Pacificchem 2005 (2005.12)

^{*}城西国際大学

鈴木琢雄, 櫻井教美^{*1}, 河合 洋^{*2}, 小林 哲, 石井明子, 大幡久之^{*1}, 本田一男^{*1}, 川西 徹: **小胞体ストレスによる細胞死におけるカスパーゼ活性化のイメージング**

第79回日本薬理学会(2006.3)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} 城西国際大学

石井明子, 鈴木琢雄, 小林 哲, 山口照英, 川西 徹: **細胞接着活性を持つ組換え人工タンパク質の有用性評価**

日本薬学会第126年会(2006.3)

小林 哲, 鈴木琢雄, 石井明子, 川西 徹: **MALDI-TOF MSにおけるタンパク質のシグナル増強 Part3**

日本薬学会第126年会(2006.3)

Harashima, M.^{*}, Niimi, S., Koyanagai, H.^{*}, Hyuga, M., Seki, T.^{*}, Ariga, T.^{*}, Kawanishi, T. and Hayakawa, T.: **Regulation of annexin A3 expression by growth regulatory factors in primary cultured rat hepatocytes**

第78回日本生化学会(2005.10)

^{*}日本大学生物資源科学部

Noma, S., Niimi, S., Harashima, M.^{*}, Takayama, K.^{*}, Hara, M.^{*}, Hyuga, M., Seki, T.^{*}, Ariga, T.^{*}, Kawanishi, T. and Hayakawa, T.: **Thrombomodulin enhances the invasive activity of mouse mammary tumor cells**

第78回日本生化学会(2005.10)

^{*}日本大学生物資源科学部

原島 瑞^{*}, 新見伸吾, 蒲生 優^{*}, 日向昌司, 関泰一

郎^{*}, 有賀豊彦^{*}, 川西 徹, 早川堯夫: **初代培養ラット肝細胞における AnnexinA3 の発現と RNAi を用いた AnnexinA3 発現抑制による DNA 合成の阻害**

第12回肝細胞研究会(2005.6)

^{*}日本大学生物資源科学部

伊東由真^{*}, 吉田麻衣子^{*}, 柳めぐみ^{*}, 長友俊介^{*}, 原島 瑞^{*}, 関泰一郎^{*}, 有賀豊彦^{*}, 新見伸吾, 川西 徹, 早川堯夫: **2-AAF/CCl₄ を用いた肝幹細胞分化誘導モデルラットにおける肝再生と AnnexinA3 の発現**

第12回肝細胞研究会(2005.6)

^{*}日本大学生物資源科学部

日向須美子^{*1}, 日向昌司, 中西速夫^{*2}, 花輪壽彦^{*1}: **高転移性癌細胞の転移を抑制する麻黄湯**

第166回北里研究会(2005.3)

^{*1} 北里研究所東洋医学総合研究所

^{*2} 愛知県がんセンター研究所

日向須美子^{*1}, 日向昌司, 中西速夫^{*2}, 関田節子^{*3}, 花輪壽彦^{*1}: **麻黄湯の癌転移抑制効果**

第22回和漢医薬学会大会(2005.8)

^{*1} 北里研究所東洋医学総合研究所

^{*2} 愛知県がんセンター研究所

^{*3} 徳島文理大 香川薬学部

日向須美子^{*1}, 日向昌司, 中西速夫^{*2}, 花輪壽彦^{*1}: **麻黄湯による高転移性癌細胞の転移抑制効果**

第63回日本癌学会学術総会(2005.9)

^{*1} 北里研究所東洋医学総合研究所

^{*2} 愛知県がんセンター研究所

川西 徹: **生物薬品の開発動向および品質管理の課題**

薬剤学懇談会(2005.9)

系数七重, 合田幸広, 荻原幸夫^{*1}, 佐竹元吉^{*2}, 花輪壽彦^{*3}, 村主明彦^{*3}, 平井俊樹^{*4}, 三上正利^{*5}, 中村高敏, 日本漢方生薬製剤協会, 日本大衆薬工業協会: **一般用漢方処方「葛根湯」を用いた使用実態調査研究 AUR (Actual Use Research) について**

第22回和漢医薬学会(2005.8)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} お茶の水女子大学

^{*3} 北里大学東洋医学研究所

^{*4} 薬剤師研修センター

^{*5} 日本薬剤師会

合田幸広: **食薬区分と和漢薬**

第22回和漢医薬学会大会シンポジウム(2005.8)

田口貴章^{*}, 市瀬浩志^{*}, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: **ハマメリスヨウのタンニン関連成分の分析**

日本生薬学会第52回年会(2005.9)

^{*}武蔵野大学薬学部

糸数七重, 合田幸広, 荻原幸夫^{*1}, 佐竹元吉^{*2}, 花輪壽彦^{*3}, 村主明彦^{*3}, 中田敬吾^{*4}, 平井俊樹^{*5}, 三上正利^{*6}, 中村高敏, 日本漢方生薬製剤協会, 日本大衆薬工業協会: 一般用漢方処方の使用実態調査研究 AUR (Actual Use Research) における「加味逍遙散」と「葛根湯」の比較

日本生薬学会第52回年会 (2005. 9)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} お茶の水女子大学

^{*3} 北里大学東洋医学研究所

^{*4} 細野診療所

^{*5} 薬剤師研修センター

^{*6} 日本薬剤師会

合田幸広: 一般用漢方処方の見直しと有用性評価手法の確立に関する研究

第38回日本薬剤師会学術大会シンポジウム薬局製剤・漢方と薬剤師 (2005. 10)

合田幸広: 健康食品の表示と実態

第3回食品安全フォーラム (2005. 11)

合田幸広: 生薬・漢方に関する最近の話題

防菌防黴学会第17回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (2005. 12)

合田幸広: 和漢をめぐる話題

第25回家庭薬開発研究シンポジウム (2006. 3)

糸数七重, 合田幸広, 荻原幸夫^{*1}, 佐竹元吉^{*2}, 花輪壽彦^{*3}, 村主明彦^{*3}, 中田敬吾^{*4}, 平井俊樹^{*5}, 三上正利^{*6}, 中村高敏, 日本漢方生薬製剤協会, 日本大衆薬工業協会: 一般用漢方処方「猪苓湯」を用いた使用実態調査研究 AUR について

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} お茶の水女子大学

^{*3} 北里大学東洋医学研究所

^{*4} 細野診療所

^{*5} 薬剤師研修センター

^{*6} 日本薬剤師会

Totsuka, Y. *, Takamura, T. *, Enomoto, S. *, Nishigaki, R. *, Kawahara, N., Masumura, K., Nohmi, T., Sugimura, T. * and Wakabayashi, K. *: Structure of DNA adducts derived from N-nitrosotaurocholic acid

The 9th International Conference on Environmental Mutagens (2005. 9)

* 国立がんセンター研究所

安食菜穂子, 鈴木あゆみ, 川原信夫, 合田幸広: 漢方処方の味覚評価に関する研究 (3)

日本生薬学会第52回年会 (2005. 9)

金益輝, 内山奈穂子, 川原信夫, 合田幸広: コオウレンの成分について (2)

日本生薬学会第52回年会 (2005. 9)

鄒大鵬, 川原信夫, 合田幸広: 既存添加物「ハウセンカ抽出物」の成分に関する研究

日本生薬学会第52回年会 (2005. 9)

阿部 裕^{*1}, 合田幸広, 川原信夫, 鎌倉浩之, 香田隆俊^{*2}, 澤田 淳^{*1}, 百瀬忠征^{*1}, 小関良宏^{*1}: 変異ニンジン懸濁培養細胞に与える植物ホルモンの影響

日本植物学会第69回大会 (2005. 9)

^{*1} 東京農工大学

^{*2} 三栄源 F.F.I

高村岳樹^{*1}, 眞野成康^{*2}, 川原信夫, 後藤順一^{*3}, 若林敬二^{*1}: 胆汁酸アデニレートより生成する DNA 付加体の解析

日本環境変異原学会第34回大会 (2005. 11)

^{*1} 国立がんセンター研究所

^{*2} 東北大学大学院薬学研究科

^{*3} 東北大学医学部附属病院薬剤部

阿部 裕^{*1}, 澤田 淳^{*1}, 合田幸広, 川原信夫, 鎌倉浩之, 香田隆俊^{*2}, 小関良宏^{*1}: GA₃添加培地で培養した変異ニンジン懸濁培養細胞が生成するアントシアンの解析

植物色素研究会第17回集会 (2005. 11)

^{*1} 東京農工大学

^{*2} 三栄源 F.F.I

川原信夫, 酒井英二^{*}, 糸数七重, 合田幸広: FHH 各国局方における生薬の試験法と規格値 (2)

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

* 岐阜薬科大学

安食菜穂子, 川原信夫, 合田幸広: 漢方処方の味覚認識に関する研究 (4)

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

内山奈穂子^{*}, 金益輝, 川原信夫, 合田幸広: トウヒ・キジツの定量試験法の検討

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

* 同志社女子大薬学部

細江智夫^{*1}, 福島和貴^{*2}, Vidotto Valerio^{*3}, 板橋武史^{*1}, 滝澤香代子^{*2}, 川原信夫, 河合賢一^{*1}: *Eupenicillium shearii* から分離した新規抗真菌化合物 eushearilide の構造

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

^{*1} 星薬科大学

^{*2} 千葉大学医真菌センター

^{*3} トロント大

金子訓子^{*1}, 大槻 崇^{*1}, 佐藤昌昭^{*1}, 小谷野喬^{*2}, T. Kowithayakorn^{*3}, 川原信夫, 合田幸広, 石橋正己^{*1}:

細胞周期阻害作用をもつ *Calamus insignis* のステロイドサポニン(3)

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 千葉大学薬学部

*² テムコ

*³ コンケン大農

淵野裕之^{*1}, 木内文之^{*1}, 関田節子^{*2}, 森加奈未^{*1}, 高橋真理衣^{*1}, 川原信夫, 佐竹元吉^{*3}: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索(その12) - ペルー産生薬 *Chiric-sanango* の成分について -

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 基盤研筑波研究センター

*² 徳島文理大香川

*³ お茶の水女子大

鎌倉浩之, 合田幸広: 健康食品から検出された医薬品成分について

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

鎌倉浩之, 丸山卓郎, 川原信夫, 梶村計志^{*}, 高取 聡^{*}, 岩上正蔵^{*}, 合田幸広: 「いわゆる健康食品」に混入されたアミノタダラフィルについて

日本薬学会第126年会(2006.3)

*大阪府公衛研

丸山卓郎, 福田達男^{*}, 安田一郎^{*}, 合田幸広: 違法ドラッグ市場に流通する幻覚性植物について - ダツラ, モーニンググローリー, ハワイアンウッドローズ -

日本薬学会第126年会(2006.3)

*都健安研セ・医薬品

丸山卓郎, 杉本直樹, 黒柳正典^{*}, 鎌倉浩之, 合田幸広: 延命草の成分と基原種について

日本薬学会第126年会(2006.3)

*県立広島大・生命環境

郭 亜紅^{*1}, 水上 元^{*1}, 近藤健児^{*2}, 寺林 進^{*2}, 嶋田宏志^{*3}, 山本 豊^{*3}, 川崎武志^{*4}, 藤田正雄^{*4}, 丸山卓郎, 合田幸広: 市場品朮類生薬の遺伝子鑑別

第34回生薬分析シンポジウム(2005.11)

*¹ 名古屋市立大学

*² (株)ツムラ

*³ (株)栃本天海堂

*⁴ (株)ウチダ和漢薬

丸山卓郎: 規制対象薬物としてのキノコ

日本生薬学会第52回年会(2005.9)

丸山卓郎, 小松かつ子^{*1}, 川崎武志^{*2}, 藤田正雄^{*2}, 近藤健児^{*3}, 寺林 進^{*3}, 嶋田宏志^{*4}, 山本 豊^{*4}, 合田幸広: ITS塩基配列によるシゴカの基原種鑑別

日本生薬学会第52回年会(2005.9)

*¹ 富山医薬大和漢薬研

*² (株)ウチダ和漢薬

*³ (株)ツムラ

*⁴ (株)栃本天海堂

丸山卓郎, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: タイ産植物 *Pueraria candollei* var. *mirifica* を原料とするいわゆる健康食品の基原種について

第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2005.8)

江崎勝司, 佐竹元吉^{*}, 合田幸広: 宮内庁より移管された生薬標本について(4) 標本目録とこれまで照合できなかった標本について

日本薬学会第126年会(2006.3)

*お茶の水女子大

Kikura-Hanajiri, R., Furukawa, M., Saisho, K. and Goda, Y.: The Investigation of Current Trends in the Abuse of Non-Controlled Psychotropic Substances in Japan NISI Symposium & TIAFT 2005 meeting (2005.8)

Kikura-Hanajiri, R., Maruyama, T., Kawamura, M., Goda, Y., Simokawa, S.^{*}, Kumamoto, T.^{*} and Ishikawa, T.^{*}: Simultaneous Analysis of Miroestrol, Deoxymiroestrol, Kwakhurin and Typical Isoflavonoids in Raw Materials and Food Supplements Containing *Pueraria mirifica* by LC-ESI-MS

119th AOAC Annual Meeting & Exposition (2005.9)

* Graduate school of pharmaceutical sciences, Chiba University

花尻(木倉)瑠理, 古川めぐみ, 最所和宏, 合田幸広: 平成16年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について - いわゆる脱法ドラッグを中心に -

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.10)

最所和宏, 古川めぐみ, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成16年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について - 強壮用健康食品 -

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.10)

花尻(木倉)瑠理, 丸山卓郎, 河村麻衣子, 合田幸広, 下川聡子, 熊本卓哉, 石川 勉^{*}: 錠剤, カプセル状等食品の原材料の基原等の保証に関する研究: ガウクルア (*Pueraria mirifica*) 含有健康食品について

日本薬学会第126年会(2006.3)

*千葉大院薬

最所和宏, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: メチロンのラット尿中代謝物の分析

日本薬学会第126年会(2006.3)

河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広, 三澤香織^{*}, 中山輝美^{*}, 高山廣光^{*}: 植物系違法ドラッグ *Kratom* (*Mitragyna speciosa*) 製品中の成分分析調査について

日本薬学会第126年会(2006.3)

*千葉大院薬

松本輝樹, 花尻(木倉)瑠理, 川原信夫, 合田幸広, 浦野泰照^{*1}, 長野哲雄^{*1}, 牧野由紀子^{*2}: ²H-NMR を用いた Methamphetamine の Profiling Analysis について

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 東大院薬

^{*2} 関東麻取

中島憲一郎^{*1}, 松村有季^{*1}, 中嶋弥穂子^{*1}, 和田光弘^{*1}, 牧野由紀子^{*2}, 花尻瑠理: ピペラジン系新規デザイナードラッグの HPLC-FL 定量法の開発

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 長崎大院薬

^{*2} 関東麻取

Mulhern, D.^{*1}, Yokokawa, S.^{*1}, Shimizu, H.^{*1}, Kohara, A.^{*2}, Suzuki, T., Okuda, H., Miyata, N.^{*3}, Ninomiya, S.^{*1} and Sudo, T.^{*1}: Gene expression profiles of hepatotoxin-treated human hepatocytes can be used to cluster unknown compounds according to their mode of actions

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6)

^{*1} 第一化学薬品(株)

^{*2} 医薬基盤研究所

^{*3} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

横川伸也^{*1}, Mulhern, D.^{*1}, 清水 和^{*1}, 小原有弘^{*2}, 北島正人^{*3}, Ciloy, J.M.^{*3}, 鈴木孝昌, 奥田晴宏, 宮田直樹^{*4}, 二宮真一^{*1}, 須藤哲司^{*1}: 網羅的遺伝子発現解析データを用いた肝毒性予測モデルの構築

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6)

^{*1} 第一化学薬品(株)

^{*2} 医薬基盤研究所

^{*3} (株)富士通九州システムエンジニアリング

^{*4} 名古屋市立大学大学院薬学研究科

吉田ひろみ, 為広紀正, 橋本敏弘^{*}, 最上知子, 山口照英, 大野泰雄, 長尾 拓, 浅川義範^{*}, 井上和秀, 佐藤陽治: イチョウ成分ギンコール酸とその類似体の PPAR γ ならびに PPAR α 活性化に対する作用

第112回日本薬理学会関東部会(2005.6)

^{*} 徳島文理大学薬学部

佐藤陽治: 血管石灰化と甲状腺ホルモン

第112回日本薬理学会関東部会シンポジウム(2005.6)

南沢 享^{*}, 横山詩子^{*}, 佐藤陽治, 岩本眞理^{*}, 横田俊平^{*}, 石川義弘^{*}: ビタミンA がラット動脈管遺伝子発現プロファイルに及ぼす影響

第4回小児心臓血管発生研究会(2005.7)

^{*} 横浜市立大学医学部

細野哲司, 佐藤陽治, 山口照英, 早川堯夫^{*1}, 水口裕之^{*2,3}: RNAi による標的遺伝子発現抑制を解除するベクター系の開発

第21回日本DDS学会(2005.7)

^{*1} 医薬品医療機器総合機構

^{*2} 医薬基盤研究所

^{*3} 大阪大学大学院薬学系研究科

Yamazaki, Y.^{*}, Kawano, Y.^{*}, Yoshida, H., Sato, Y. and Uebayashi, M.^{*}: Natural and synthetic phenolic amides and esters with adiponectin production enhancing activity in cultured human preadipocytes and diabetic mice

The 10th Adiposcience Symposium(2005.8)

^{*} 産業技術総合研究所

佐藤光利^{*}, 中村 亮, 藤下加代子, 森 聡子, 石田誠一, 山口照英, 井上和秀, 長尾 拓, 大野泰雄, 佐藤陽治: ラット血管平滑筋における甲状腺ホルモンの石灰化抑制作用

第7回応用薬理学シンポジウム(2005.8)

^{*} 東邦大学薬学部

Furihata, C.^{*1}, Tobe, K.^{*1}, Nakachi, Y.^{*2}, Kondoh, Y.^{*2}, Nakajima, M.^{*3}, Hamada, S.^{*4}, Namiki, C.^{*4}, Suzuki, T., Hyogo, T.^{*5}, Hoshino, M.^{*1}, Harada, M.^{*1}, Tashiro, T.^{*1}, Ito, H.^{*1}, Inazumi, H.^{*1}, Sakaki, Y.^{*2} and Tashiro, H.^{*2}: Original oligonucleotide microarray-based gene expression profile induced by genotoxic carcinogens and phenobarbital in mouse liver

第9回国際環境変異原学会サテライトシンポジウム“トキシコゲノミクス”(2005.8)

^{*1} 青山学院大学理工学部

^{*2} 理化学研究所

^{*3} (財)食品農薬品安全性評価センター

^{*4} (株)三菱化学安全科学研究所

^{*5} 三共(株)

Suzuki, T., Luan, Y., Honma, M., Kogi, M.^{*} and Yamaguchi, T.: Application of microarrays for chromosome analysis

第9回国際環境変異原学会サテライトシンポジウム“トキシコゲノミクス”(2005.8)

^{*} 金沢工業大学

Suzuki, T.: Organ-specific toxicity of aristolochic acid; studied by the transgenic mouse mutation assay and the DNA microarray

2nd International Conference and Exposition on the Modernization of Traditional Chinese Medicine(2005.9)

細野哲司, 佐藤陽治, 山口照英, 早川堯夫^{*1}, 水口裕之^{*2,3}: Cre 組換え酵素を利用した RNAi による標的遺伝子発現抑制の調整

第64回日本癌学会学術総会(2005.9)

^{*1} 医薬品医療機器総合機構

^{*2} 医薬基盤研究所

^{*3} 大阪大学大学院薬学系研究科

豊田淑江, 藤野智史, 押澤 正, 鈴木孝昌, 最上(西巻)知子, 佐藤陽治, 澤田純一, 井上和秀, 首藤紘一, 大野

泰雄, 山口照英: 表面プラズモン共鳴バイオセンサを用いた9-シスレチノイン酸のレチノイドX受容体との結合解析とHX531のアンタゴニスト効果について
第78回日本生化学大会(2005.10)

鈴木孝昌, 降旗千恵*: Transcriptomics・Can gene expression profiles distinguish the genotoxic hepatocarcinogens?
日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)
*青山学院大学理工学部

鈴木孝昌, 樂 洋, Rajaguru Palanisamy, 田中剛太郎^{*1}, 中嶋 圓^{*2,3}, 浜田修一^{*3}, 三浦知弘^{*4}, 降旗千恵^{*4}: Collaborative study on the toxicogenomics in JEMS/MMS: Quantitative RT-PCR analysis on the selected genes by the GeneChip
日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)
^{*1} 大鵬薬品工業(株)
^{*2} (財)食品農医薬品安全性評価センター
^{*3} (株)三菱化学安全科学研究所
^{*4} 青山学院大学理工学部

樂 洋, 本間正充, Suresh Thirupathi, 小木美恵子*, 山口照英, 鈴木孝昌: Application of CGH and SNP arrays for chromosome analysis
日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)
*金沢工業大学

山口照英: 遺伝子治療用ベクターの安全性に関する最近の動向(ICH 専門家会議)
第5回医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム(2005.12)

鈴木孝昌: 変異原処理による *in vivo/in vitro* 遺伝子発現
日本動物実験代替法学会第19回大会(2005.12)

鴻野貴司^{*1}, 樂 洋, 鈴木孝昌, 野村靖幸^{*2}, 太田浩良^{*3}, 降旗千恵^{*1}: 8ヶ月齢の老化促進モデルマウス(Senescence-Accelerated Mouse: SAM) SAMP8海馬におけるTransthyretinの発現低下
第28回日本分子生物学会年会(2005.12)
^{*1} 青山学院大学理工学部
^{*2} 北海道大学大学院薬学系研究科
^{*3} 信州大学医学部

原田基裕^{*1}, 戸部香織^{*1}, 仲地 豊^{*2}, 近藤恭光^{*2}, 中嶋 圓^{*3}, 浜田修一^{*4}, 鈴木孝昌, 兵庫淳志^{*5}, 田代英夫^{*2}, 榊 佳之^{*2}, 降旗千恵^{*1}: Original oligonucleotide microarrayによる5種類の遺伝子傷害性肝発がん物質とphenobarbitalとethanolの遺伝子発現解析
第28回日本分子生物学会年会(2005.12)
^{*1} 青山学院大学理工学部
^{*2} 理化学研究所
^{*3} (財)食品農医薬品安全性評価センター
^{*4} (株)三菱化学安全科学研究所
^{*5} 三共(株)

三浦知弘^{*1}, 樂 洋, 戸部香織^{*1}, 仲地 豊^{*2}, 近藤恭光^{*2}, 鈴木孝昌, 田代英夫^{*2}, 降旗千恵^{*1}: DNAマイクロアレイを用いた非遺伝子傷害性肝発癌物質投与マウス肝臓における遺伝子発現解析
第28回日本分子生物学会年会(2005.12)
^{*1} 青山学院大学理工学部
^{*2} 理化学研究所

宮島正樹^{*1}, 樂 洋, 渡辺貴志^{*1}, 鈴木孝昌, 村上勝彦^{*2}, 野村靖幸^{*2}, 降旗千恵^{*1}: 大脳萎縮を示す老化促進モデルマウス(Senescence-Accelerated Mouse: SAM) SAMP10の原因遺伝子に関する大集積DNAマイクロアレイを用いた解析
第28回日本分子生物学会年会(2005.12)
^{*1} 青山学院大学理工学部
^{*2} 理化学研究所
^{*3} 北海道大学大学院薬学系研究科

古田美玲, 内田恵理子, 押澤 正, 山口照英: 造血支持能を持つフィーダー細胞の解析について
第5回日本再生医療学会総会(2006.3)

Sato, Y. and Nagao, T.: Matrix Gla protein gene identified as a direct target of thyroid hormone in vascular smooth muscle cells
第70回記念日本循環器学会総会・学術集会(2006.3)

山崎幸苗*, 河野泰広*, 吉田ひろみ, 佐藤陽治, 上林正巳*: フェルラ酸アミド誘導体と不飽和脂肪酸によるアディポネクチンの産生増強
日本農芸化学会2006年度大会(2006.3)
*産業技術総合研究所

内田恵理子, 小木美恵子^{*1}, 米須杏子, 村田充弘^{*2}, 日方幹雄^{*2}, 佐藤功栄^{*3}, 岩田明子^{*3}, 山口照英: 医薬品のウイルス安全性確保のための高感度ウイルス検出法の開発 - ポリエチレンイミン結合磁気ビーズを用いたウイルス濃縮法のヒトウイルスへの適用 -
日本薬学会第126年会(2006.3)
^{*1} 金沢工業大学
^{*2} JSR(株)
^{*3} 埼玉県赤十字血液センター

吉田ひろみ, 為広紀正, 最上知子, 井上和秀*, 大野泰雄, 長尾 拓, 佐藤陽治: CapsaicinによるPPAR γ とPPAR α 活性制御
日本薬学会第126年会(2006.3)
*九州大学大学院薬学研究院

Hiraiwa, M.*, Saito, M.*, Nakahara, T.*, Sato, Y., Nagao, T., Sakamoto, K.* and Ishii, K.*: All-trans retinoic acid reduces neuronal cell death induced by intravitreal injection of NMDA in the rat retina
第79回日本薬理学会年会(2006.3)

*北里大学薬学部

Yoshida, H., Tamemhiro, N., Nishimaki-Mogami, T., Inoue, K.*, Ohno, Y., Nagao, T. and Sato, Y.: **PPAR γ partial agonist activity and PPAR α inverse agonist activity of capsaicin**

第79回日本薬理学会年会(2006.3)

*九州大学大学院薬学研究院

藪島由二, 小園 知^{*1}, 長谷川千恵, 佐々木和夫^{*2}, 土屋利江: **感染因子含有材料のin vivo動態評価手法の開発, エンドトキシン規格値の設定**

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業成果発表会(2006.3)

*1 神奈川歯科大

*2 日本ハム

藪島由二, 長谷川千恵, 小園 知^{*1}, 佐々木和夫^{*2}, 矢上 健, 土屋利江: **菌体成分含有コラーゲンの生体親和性と組織再生に対する影響**

第27回日本バイオマテリアル学会(2005.11)

*1 神奈川歯科大

*2 日本ハム

藪島由二, 伊佐間和郎, 松岡厚子, 長谷川千恵, 松田良枝, 柚場俊康^{*1}, 中橋敬輔^{*2}, 矢上 健, 土屋利江: **表面改質処理を施した軟質PVCシートの化学的・生物学的特性評価**

第27回日本バイオマテリアル学会(2005.11)

*1 川澄化学

*2 テルモ

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: **市販製品における製品表示及び化学物質等安全データシート(MSDS)の実態調査 - 身の回り品 -**

第42回全国衛生化学技術協議会(2005.11)

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: **健康被害の発生実態と製品情報の理解度に関する消費者アンケート調査 - 身の回り品 -**

第42回全国衛生化学技術協議会(2005.11)

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: **抗菌剤の皮膚感作性評価: モルモットマキシミゼーション法(GPMT法)の代替試験法としての非放射性マウスリンパ節増殖法(non-RI LLNA法)の妥当性の検討**

第42回全国衛生化学技術協議会(2005.11)

中島晴信*, 鹿庭正昭: **抗菌防臭加工製品の安全性評価(35)- 抗菌加工製品による健康被害と製品表示の理解度に関する消費者へのアンケート調査 -**

第42回全国衛生化学技術協議会(2005.11)

*大阪府立公衆衛生研究所

伊佐間和郎, 藪島由二, 長谷川千恵, 鹿庭正昭, 土屋利

江: **紫外線照射によるポリ塩化ビニルの細胞毒性変化**
第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

伊佐間和郎, 小林郁夫*, 土屋利江: **Ti-Zr 基金金の正常ヒト骨芽細胞を用いた骨組織適合性評価**

第27回日本バイオマテリアル学会大会(2005.11)

*東京医科歯科大学生体材料工学研究所

伊佐間和郎, 小林郁夫*: **有効性・安全性に優れた新規チタン合金の開発と評価手法の開発**

平成17年度医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業研究成果発表会(2006.3)

*東京医科歯科大学生体材料工学研究所

伊佐間和郎, 藪島由二, 松岡厚子, 長谷川千恵, 松田良枝, 柚場俊康*, 土屋利江: **紫外線照射処理を施したPVC製医療機器の化学的・生物学的特性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*川澄化学工業(株)

松岡厚子, 土屋利江: **In vitro ヒト間葉系幹細胞の安全性評価法の開発**

第8回日本組織工学会(2005.9)

神田勝規*, 松岡厚子, 宇田 渉*: **In vitro 小核試験における自動画像分析法と手動観察法の比較**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* (株)ユーワークス

松岡厚子, 浅倉真澄^{*1}, 輿貴美子^{*2}: **アスベストのin vitro 染色体異常誘発性 - 安全性評価手法としてのin vitro 染色体異常試験 -**

ナノトキシコロジーアセスと微粒子・ナノチューブのバイオ応用研究会特別講演(2005.12)

*1 日本バイオアッセイ研究センター

*2 (独)産業医学総合研究所 客員研究員

松岡厚子: **細胞組織医療機器に用いられる幹細胞等の細胞遺伝学的安全性評価法の開発**

創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業研究成果発表会(2006.2)

中岡竜介, 土屋利江: **軟骨組織再生を目指した新規アルギン酸ゲルのin vitro 評価**

第8回日本組織工学会(2005.9)

Tamai, M., Nakaoka, R. and Tsuchiya, T.: **In vitro study on the osteogenesis of normal human osteoblasts cultured on the discs of various kinds of calcium phosphate ceramics**
Asian BioCeramics Symposium 2005(2005.10)

中岡竜介, 土屋利江: **ナノ蛍光イメージングによる細胞・多糖Scaffold間相互作用観察の試み**

第27回日本バイオマテリアル学会大会(2005.11)

賀喜白乙, 中岡竜介, 土屋利江: **外科手術材料の安全性に関する研究(1) 細胞毒性試験による評価**

第27回日本バイオマテリアル学会大会(2005.11)

賀喜白乙, 中岡竜介, 土屋利江: **吸収性局所止血材料と吸収性癒着防止材料の安全性に関する研究(1) 細胞毒性試験による評価**

第43回日本人工臓器学会大会(2005.12)

Nakaoka, R. and Tsuchiya, T.: **Enhancement of differentiation and homeostasis of human osteoblasts by interaction with hydroxyapatite in microsphere form**

Bioceramics 18 (2005.12)

Tamai, M., Nakaoka, R. and Tsuchiya, T.: **Cytotoxicity of Various Calcium Phosphate Ceramics**

Bioceramics 18 (2005.12)

Tamai, M., Nakaoka, R., Isama, K. and Tsuchiya, T.: **Novel calcium phosphate ceramics: The remarkable promoting action on the differentiation of the normal human osteoblasts**

Bioceramics 18 (2005.12)

Tamai, M., Nakaoka, R., Isama, K. and Tsuchiya, T.: **Synthesis of novel niobium ions substituted hydroxyapatite ceramics and its osteogenesis property**

The 4th International Symposium on Nanotechnology (2006.2)

中岡竜介: **組織再生用材料評価方法の開発に関する研究 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業研究成果発表会(2006.2)**

伊藤友実, 澤田留美, 土屋利江: **ヒト間葉系幹細胞の細胞老化におけるFGF-2のTGF-β発現への影響**

第8回日本組織工学会(2005.9)

澤田留美, 伊藤友実, 土屋利江: **細胞組織医療機器に利用される幹細胞の安全性評価に関する研究**

第42回幹細胞研究会(2005.11)

伊藤友実, 澤田留美, 土屋利江: **ヒト間葉系幹細胞の細胞老化に関する研究 - FGF-2による増殖能上昇機構の解明 -**

第27回日本バイオマテリアル学会大会(2005.11)

澤田留美, 土屋利江: **医療機器に併用される抗血栓薬の適合性評価手法の開発 - ワーファリンの薬効関連遺伝子に関するSNP解析 -**

第43回日本人工臓器学会大会(2005.12)

澤田留美: **ヒト間葉系幹細胞に及ぼす増殖因子の影響について**

創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業研究成果発表会(2006.2)

伊藤友実, 澤田留美, 藤原葉子, 脊山洋右, 土屋利江: **ヒト間葉系幹細胞におけるTGF-βの関与する増殖機構に関する研究**

第5回日本再生医療学会総会(2006.3)

澤田留美, 伊藤友実, 土屋利江: **細胞組織医療機器に利用される幹細胞の品質及び安全性評価**

日本薬学会第126年会(2006.3)

Sakoda, H., Nono, D. ^{*1}, Kuramoto, K ^{*1} and Tomita N ^{*2}: **Wear of vitamin E added UHMWPE tested on knee joint simulator using bovine serum as a lubricant**

19th European Conference on Biomaterials (2005.9)

^{*1} Nakashima Propeller Co., Ltd.

^{*2} Kyoto University

Sakoda, H., Nono, D. ^{*1}, Kuramoto, K. ^{*1}, Suzuki, M. ^{*2}, Moriya, H. ^{*2} and Tomita, N. ^{*3}: **Superior wear resistance of vitamin E added UHMWPE tested on knee joint simulator**

Orthopaedic Research Society, 52nd Annual Meeting (2006.3)

^{*1} Nakashima Propeller Co., Ltd.

^{*2} Chiba University

^{*3} Kyoto University

Suzuki, M. ^{*1}, Miyagi, J. ^{*1}, Kamoda, H. ^{*1}, Sakoda, H., Kuramoto, K. ^{*2}, Tomita, N. ^{*3} and Moriya, H. ^{*1}: **Evaluation of stability and mechanical properties of different kinds of modern UHMWPEs - vitamin E added vs highly crosslinked -**

Orthopaedic Research Society, 52nd Annual Meeting (2006.3)

^{*1} Chiba University

^{*2} Nakashima Propeller Co., Ltd.

^{*3} Kyoto University

加藤玲子, 谷口浩二^{*}, 吉村昭彦^{*}: **Ras/ MAPK 経路抑制因子Spred-2ノックアウトマウスの解析**

第28回日本分子生物学会年会(2005.12)

^{*} 九大・生医研・免疫制御

谷口浩二^{*1}, 向野利一郎^{*2}, 加藤玲子, 森定 徹^{*3}, 尾池雄一^{*3}, 米満吉和^{*2}, 吉村昭彦^{*1}: **ERKシグナル抑制因子Spredはリンパ管の正常な発生に必須である**

第28回日本分子生物学会年会(2005.12)

^{*1} 九大・生医研・免疫制御

^{*2} 九大・院医・病理病態

^{*3} 慶応大・医・発生分化

新谷英晴: **話題提供6: エチレンオキシド**

第114回ゴム技術シンポジウム(2005.6)

新谷英晴: **環境菌測定法の問題点と解決法ならびに環境菌除去法**

室内環境学会 (2005. 3)

新谷英晴：クリーンルーム並びに製造環境清浄度維持へのオゾンガスの適用

第2回オゾン・ラジカル殺菌研究会 (2005. 9)

新谷英晴：医療機関での空中浮遊菌に対する光触媒の滅菌効果

2005年度防菌防黴秋季合同シンポジウム (2005. 11)

新谷英晴：光触媒を用いた浮遊菌の滅菌ならびにエアースンプラーに拠る効果の判定

光触媒製品技術協議会 (2005. 12)

新谷英晴：加熱滅菌での滅菌バリデーションに於いて損傷菌を考慮する意義について

第33回日本防菌防黴学会年次大会 (2006. 5)

佐藤道夫, 土屋利江：医療機器の不具合報告について

第41回全国衛生化学技術協議会年会 (2005. 11)

佐藤道夫：埋植医療機器の不具合情報

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業成果発表会 (2006. 3)

土屋利江：日本における医療材料の安全性評価・確認の技術基盤・システムの確立について

化学技術戦略推進機構 医療専門部会第2分科会 (2005. 9)

土屋利江：骨誘導型新セラミックス

第三回医療機器フォーラム 製品実現を効率的に進めるためには (研究から臨床まで) (2005. 10)

土屋利江：次世代医療機器評価事業 再生医療審査WG報告について (特別発言)

第5回日本再生医療学会総会 特別セッション (2006. 3)

土屋利江：医療機器・医用材料の安全性評価手法開発に関する研究 (総括)

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業研究成果発表会 (2006. 3)

土屋利江：細胞組織医療機器開発総論

第126回日本薬学会 レギュラトリーサイエンス部会シンポジウム (2006. 3)

Tsunoda, M. *, Ito K. *, Inoue, Y. *, Miki, T. *, Watanabe, M. *, Kudo, Y. *, Satoh, T. *, Aizawa, Y. * and Tsuchiya, T.: The effects of dibutyltin, octyl acid tin and poly-L-lactides on the viability of murine astrocyte-lineage cells

第15回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (2005. 6)

*北里大学医学部

Tsutsumi, S. *, Jung, D.Y. *, Kang, Y.B. * and Tsuchiya, T.: A NOVEL NON-DESTRUCTIVE METHOD TO MEASURE ELASTIC MDULI OF CARTLAGE CELLS IN SITU

The 7th International Conference on Cellular Engineering (2005. 9)

*京都大学再生医科学研究所

Ahmed, S. and Tsuchiya, T.: Effect of modified hyaluronic acid on the cellular function of normal human astrocytes

第8回日本組織工学会 (2005. 9)

Ahmed, S. and Tsuchiya, T.: Effect of stannous 2-ethylhexanoate in human normal astrocytes

The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society for Artificial Organs (2005. 11)

Ahmed, S. and Tsuchiya, T.: Novel role of modified hyaluronic acid on normal human astrocytes

The 27th Annual Meeting of the Japanese Society for biomaterials (2005. 11)

Banu, N. and Tsuchiya, T.: Novel role of different tin products on chondrogenesis of human articular chondrocytes

The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society for Artificial Organs (2005. 11)

Banu, N. and Tsuchiya, T.: Effects of various kinds of tin catalysts on chondrogenesis of human articular chondrocytes

The 27th Annual Meeting of the Japanese Society for biomaterials (2005. 11)

徳永裕司, Tarit Roy Chowdhury, 内野 正, Natai Das *, Dilip Kumar Das *: インド・西ベンガル州の地下水のヒ素汚染地域で生活する住民から採取した尿中のヒ素代謝物及び8-OHdGについて

フォーラム2005：衛生薬学・環境トキシコロジー (2005. 10)

* Bidhan Chandra Agricultural University

徳永裕司, Tarit Roy Chowdhury, 内野 正, Natai Das *, Dilip Kumar Das *: インド・西ベンガル州の地下水のヒ素汚染地域で生活する住民から採取された尿及び毛髪中のヒ素化合物について

第12回ヒ素シンポジウム (2005. 11)

* Bidhan Chandra Agricultural University

徳永裕司, 森謙一郎^{*1}, 大貫奈穂美^{*1}, 野坂富雄^{*2}, 土井佳代^{*3}, 坂口 洋^{*4}, 藤井まき子^{*5}, 高野勝弘^{*6}, 林正人^{*7}, 吉沢賢一^{*8}, 島村公雄^{*9}, 佐藤信夫^{*10}: 化粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究：フェニルベンズイミダゾールスルホン酸及びサリチル酸オクチル

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

*¹ 都衛研

- *² 埼玉衛研
- *³ 神奈川衛研
- *⁴ 北里大理学部
- *⁵ 昭和薬大
- *⁶ 粧工連
- *⁷ 資生堂
- *⁸ ポーラ
- *⁹ カネボウ
- *¹⁰ コーセー

内山茂久, 松島江里香, 香川(田中)聡子, 神野透人, 徳永裕司, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}: **空気中のオルトフタルアルデヒドの分析**

大気環境学会第46年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

松島江里香, 内山茂久, 香川(田中)聡子, 神野透人, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **空気中のカルボン酸とカルボニル化合物の同時分析**

大気環境学会第46年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

神野透人, 内山茂久, 松島江里香, 香川(田中)聡子, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **DSD・拡散サンプラーによる室内環境化学物質の全国調査 - カルボニル化合物 -**

大気環境学会第46年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

香川(田中)聡子, 内山茂久, 松島江里香, 神野透人, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **DSD・拡散サンプラーによる室内環境化学物質の全国調査 - 二酸化窒素 -**

大気環境学会第46年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

香川(田中)聡子, 内山茂久, 松島江里香, 神野透人, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **空気中二酸化窒素の拡散サンプラーによる測定**

日本分析化学会第54年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

内山茂久, 松島江里香, 香川(田中)聡子, 神野透人, 徳永裕司, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}: **空気中のo-, m-, p-フタルアルデヒドの分析**

日本分析化学会第54年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

松島江里香, 内山茂久, 香川(田中)聡子, 神野透人, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **天然の化学物質を利**

用したホルムアルデヒドの放散抑制

日本分析化学会第54年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

神野透人, 内山茂久, 松島江里香, 香川(田中)聡子, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **空気中カルボン酸, カルボニル化合物の拡散サンプラーによる測定**

日本分析化学会第54年会(2005.9)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

香川(田中)聡子, 神野透人, 大河原晋^{*}, 安藤正典^{*}, 徳永裕司: **ピレスロイド系殺虫剤の加水分解に関するヒトCarboxylesterase**

フォーラム2005: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2005.10)

^{*} 武蔵野大学薬学部

大河原晋^{*}, 神野透人, 香川(田中)聡子, 徳永裕司, 安藤正典^{*}: **SYBR Green Real-Time PCRによるマウスNMDA受容体Splice Variantsの分別定量**

フォーラム2005: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2005.10)

^{*} 武蔵野大学薬学部

小比賀信彦^{*1}, 埴岡伸光^{*1}, 西村益浩^{*2}, 内藤真策^{*2}, 香川(田中)聡子, 神野透人, 成松鎮雄^{*1}: **BNF前処理Hep G2細胞におけるUDP・グルクロン酸転移酵素1A1の誘導性**

フォーラム2005: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2005.10)

^{*1} 岡山大学薬学部

^{*2} 大塚製薬工場・栄養研

神野透人, 香川(田中)聡子, 内山茂久, 松島江里香, 佐々木陽^{*1}, 小林浩^{*2}, 小林博美^{*3}, 八木正博^{*4}, 津野正彦^{*5}, 荒尾真砂^{*5}, 池本和美^{*5}, 山崎誠^{*6}, 中島亜矢子^{*6}, 志水友梨^{*6}, 大坪泰文^{*7}, 安藤正典^{*8}, 徳永裕司: **室内の揮発性有機化合物に関する全国調査**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

^{*1} 岩手県環境保健研究センター

^{*2} 山梨県衛生公害研究所

^{*3} 滋賀県立衛生環境センター

^{*4} 神戸市環境保健研究所

^{*5} 高知県衛生研究所

^{*6} 福岡市保健環境研究所

^{*7} 千葉大学工学部

^{*8} 武蔵野大学薬学部

神野透人, 内山茂久, 松島江里香, 香川(田中)聡子, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **室内のカルボニル化合物に関する全国調査**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

^{*1} 千葉大学工学部

*² 武蔵野大学薬学部

香川(田中)聡子, 内山茂久, 松島江里香, 神野透人, 大坪泰文^{*1}, 安藤正典^{*2}, 徳永裕司: **室内の二酸化窒素に関する全国調査**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

^{*1} 千葉大学工学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

野崎淳夫^{*1}, 横山英智^{*1}, 神野透人, 安藤正典^{*2}: **家電製品からの化学物質発生に関する研究 室内空気環境とその快適性に関する研究(その44)**

第12回大気環境学会北海道東北支部学術集会(2005.11)

^{*1} 東北文化学園大学科学技術学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

野崎淳夫^{*1}, 小松直美^{*1}, 橋本康弘^{*1}, 早坂友規^{*1}, 神野透人, 高 玲華^{*2}, 安藤正典^{*2}: **家庭用品における化学物質除去性能に関する研究 室内空気環境とその快適性に関する研究(その47)**

第12回大気環境学会北海道東北支部学術集会(2005.11)

^{*1} 東北文化学園大学科学技術学部

^{*2} 武蔵野大学薬学部

大河原晋^{*}, 神野透人, 香川(田中)聡子, 徳永裕司, 安藤正典^{*}: **ヒトNMDA受容体Splice VariantsのSYBR Green Real-Time PCRを用いた分別定量法の開発**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*} 武蔵野大学薬学部

香川(田中)聡子, 神野透人, 大河原晋^{*}, 安藤正典^{*}, 徳永裕司: **ヒトCarboxylesteraseによる家庭用殺虫剤ペルメトリンの加水分解**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*} 武蔵野大学薬学部

神野透人, 柳橋泰生^{*1}, 高橋淳子^{*2}, 香川(田中)聡子, 武藤輝生^{*1}, 権 大維^{*1}, 大河原晋^{*3}, 安藤正典^{*3}, 徳永裕司, 伊藤禎彦^{*1}: **水道水消毒副生成物トリハロメタン類の暴露評価**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 京都大学工学部

^{*2} (財)食品薬品安全センター

^{*3} 武蔵野大学薬学部

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江, 内野 正, 徳永裕司: **ろうそく用金属芯と燃焼による放散について**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江, 内野 正, 徳永裕司: **金属芯を使用したろうそくからの鉛の放散**

日本薬学会第126年会(2006.3)

五十嵐良明: **細胞毒性試験法**

第114回ゴム技術シンポジウム(2005.6)

内野 正, 徳永裕司: **3次元培養ヒト皮膚モデルを用いた皮膚感作性のin vitro評価法に関する研究**

日本化粧品学会第30回学術大会(2005.6)

Uchino, T. and Tokunaga, H.: **Construction of three-dimensional human skin model consisting of dendritic cells, keratinocytes and fibroblasts**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life Sciences(2005.8)

内野 正, Tarit Roy Chowdry, Netai Das^{*}, Dilip Das^{*}, 徳永裕司: **インド西ベンガル州の地下水のヒ素汚染地域で採取された土壌及び稲中のヒ素濃度について**

第12回ヒ素シンポジウム(2005.11)

^{*} Bidhan Chandra Agricultural University

内野 正, 徳永裕司: **アイシャドウ及びアイライナー中のタール色素類の一斉収去試験**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

内野 正, 徳永裕司: **樹状細胞, 角化細胞, 線維芽細胞からなる3次元培養ヒト皮膚モデルの構築**

日本動物実験代替法学会第19回大会(2005.12)

内野 正, 五十嵐良明, 徳永裕司: **酸化チタンの培養細胞に対する生体影響について**

日本薬学会第126年会(2006.3)

田原麻衣子, 久保田領志, 中澤裕之^{*}, 徳永裕司, 西村哲治: **バイオアッセイによる水質管理のための有機リン系農薬の総括評価影響**

第56回全国水道研究発表会(2005.5)

^{*} 星薬科大学

相澤貴子^{*1}, 西村哲治, 鎌田素之^{*2}, 浅見真理^{*3}, 小坂浩司^{*3}: **多地域における水道原水及び浄水中の農薬の検出状況**

第56回全国水道研究発表会(2005.5)

^{*1} 横浜市水道局

^{*2} 関東学院大学工学部

^{*3} 国立保健医療科学院

金 志勲^{*1}, 中野和典^{*2}, 宮川徹也^{*3}, 秋葉道宏^{*4}, 千葉信男^{*2}, 西村 修^{*2}, 西村哲治, 安藤正典^{*5}: **オゾン処理による同化性有機炭素とトリハロメタン生成能の解析**

第56回全国水道研究発表会(2005.5)

^{*1} 東北学院大学大学院工学部

^{*2} 東北大学工学部

^{*3} 阪神水道企業団

^{*4} 国立保健医療科学院

^{*5} 武蔵野大学薬学部

Nishimura, T., Ayano, E., Magara, Y.^{*1} and Ando, M.^{*2}:

Analysis and toxicity evaluation of chlorination products of eight sulfonylurea and urea herbicides

1st IWA-ASPIRE Conference and Exhibition (2005. 6)

*¹ Faculty and Graduate School of Engineering, Hokkaido University

*² Faculty of Pharmacy, Musashino University

Shimazaki, D. *¹, Asami, M. *¹, Nishimura, T., Kunikane, S. *¹, Aizawa, T. *² and Magara, Y. *³: **Occurrence of 1,4-dioxane and MTBE in drinking water sources in Japan**

1st IWA-ASPIRE Conference and Exhibition (2005. 6)

*¹ Department of Water Supply Engineering, National Institute of Public Health

*² Yokohama City Waterworks

*³ Faculty and Graduate School of Engineering, Hokkaido University

Nishimura, T., Ayano, E., Tahara, M., Kubota, R., Shimizu, K., Ando, M. * and Tokunaga, H.: **Identification of chlorinated polycyclic aromatic hydrocarbons**

25th International symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2005. 8)

* Faculty and Graduate School of Engineering, Hokkaido University

清水久美子, 久保田領志, 田原麻衣子, 徳永裕司, 西村哲治: **環境汚染化学物質による前骨髄球性白血病細胞株HL60の好中球分化誘導への影響**

第11回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究発表会(2005. 9)

Nishimura, T., Shimizu, K., Kubota, R., Tahara, M. and Tokunaga, H.: **Effect on neurophilic differentiation of promyelocytic HL60 cells by environmental pollution chemicals**

42nd Congress of the European Societies of Toxicology Eurotox 2005 (2005. 9)

田原麻衣子, 久保田領志, 清水久美子, 中澤裕之*, 徳永裕司, 西村哲治: **環境中におけるフェンチオンの動態フォーラム2005: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2005. 10)**

* 星薬科大学

清水久美子, 西村哲治, 久保田領志, 田原麻衣子, 徳永裕司: **白血病細胞株HL60の好中球分化誘導に対する環境汚染物質の影響評価**

フォーラム2005: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2005. 10)

西村哲治, 久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 徳永裕司: **多環芳香族炭化水素類の塩素処理における塩素置換体生成**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005. 11)

清水久美子, 久保田領志, 田原麻衣子, 徳永裕司, 西村哲治: **環境汚染化学物質による前骨髄球性白血病細胞株HL60の好中球分化誘導への影響**

第28回日本分子生物学会年会(2005. 12)

Nishimura, T., Tahara, M., Kubota, R., Shimizu, K., Ema, M. and Tokunaga, H.: **Behavior of Fenthion after chlorination treatment and effect of its products on cholinesterase activity**

45th of the Society of Toxicology Annual Meeting(2006. 3)

西村哲治, 田原麻衣子, 長岡(浜野)恵, 久保田領志, 清水久美子, 徳永裕司: **塩素処理により生成する多環芳香族炭化水素置換体の解析**

第40回日本水環境学会年会(2006. 3)

田原麻衣子, 植木温子*, 久保田領志, 中澤裕之*, 徳永裕司, 西村哲治: **フェンチオンの塩素暴露における反応生成物の動態とそのコリンエステラーゼ活性への影響**

第126年会日本薬学会(2006. 3)

* 星薬科大学

植木温子*, 田原麻衣子, 岩崎雄介*, 伊藤里恵*, 斉藤貢一*, 西村哲治, 中澤裕之*: **紫外線照射による水中フェンチオンの光化学反応**

第126年会日本薬学会(2006. 3)

* 星薬科大学

鎌田素之*¹, 相澤貴子*², 西村哲治, 浅見真理*³: **農業実態調査に基づく今後の農業監視のあり方**

第57回全国水道研究発表会(2006. 5)

*¹ 関東学院大学工学部

*² 横浜市水道局

*³ 国立保健医療科学院

西村哲治, 菊池修一*¹, 宇田川富男*², 高須 豊*³, 渡部祐介*⁴, 宮田雅典*⁵, 奥野雅司*⁶, 橋渡健児*⁷, 安恒実*⁸, 安藤正典*⁹: **水質管理目標設定項目の検査方法の改正 - 農業類 -**

第57回全国水道研究発表会(2006. 5)

*¹ 仙台市水道局

*² 東京都水道局

*³ 横浜市水道局

*⁴ 千葉県水道局

*⁵ 大阪市水道局

*⁶ 大阪府水道局

*⁷ 広島市水道局

*⁸ 福岡地区水道企業団

*⁹ 武蔵野大学薬学部

田原麻衣子, 久保田領志, 中澤裕之*, 長岡(浜野)恵, 徳永裕司, 西村哲治: **フェンチオンの環境動態に伴うコリンエステラーゼ活性阻害の増強**

第57回全国水道研究発表会(2006. 5)

* 星薬科大学

長岡(浜野)恵, 種池康仁*, 米谷民雄: **食品中の無機ヒ素の分別定量法に関する研究 - 水素化物変換 - コールドトラップ - 原子吸光法の応用 -**

第15回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (SRM2005) (2005. 6)

* 島津製作所

Nagaoka, M.H., Taneike, Y.*, Akiyama, H. and Maitani, T.: **Speciation analysis of arsenic in foods using hydride-generation-cold trap-atomic absorption spectrophotometry** 11th IUPAC International Symposium on Macromolecule-Metal Complexes (MMC-11) (2005. 6)

* Shimadzu Company

市川覚士*¹, 鴨志田道子*¹, 貝瀬利一*¹, 花岡研一*², 長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **水戻しによるヒジキ中ヒ素の減衰と動物における代謝**

第12回ヒ素シンポジウム (2005. 11)

*¹ 東京薬科大学

*² 水産大学校

花岡研一*¹, 臼井将勝*¹, 貝瀬利一*², 長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **硝酸を用いるヒ素化合物抽出法の検討**

第12回ヒ素シンポジウム (2005. 11)

*¹ 水産大学校

*² 東京薬科大学

長岡(浜野)恵, 近藤一成, 穠山 浩, 松田りえ子, 米谷民雄: **アガリクス健康食品及びキノコ中の有害・必須金属の分析**

第42回全国衛生化学技術協議会年会 (2005. 11)

Nagaoka, M.H., Nagaoka, H.*, Kondo, K., Akiyama, H. and Maitani, T.: **Speciation of cadmium by HPLC/DF-ICP-MS and determination of hydrazines by HPLC with fluorescence derivatization in Agaricus mushroom and its products**

Ninth International Symposium on Hyphenated Techniques in Chromatography and Hyphenated Chromatographic Analyzers (HTC-9 / ExTech 2006) (2006. 2)

* Nagasaki International University

市川覚士*¹, 鴨志田道子*¹, 貝瀬利一*¹, 花岡研一*², 長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **マウスを用いたヒジキ中ヒ素化合物の動態**

第91回日本食品衛生学会学術講演会 (2006. 5)

*¹ 東京薬科大学

*² 水産大学校

Nagaoka, M. H. and Maitani, T.: **Speciation of arsenic in foods by hydride generation-cold trap-atomic absorption spectrophotometry**

Ninth International Symposia on Metal Ions in Biology and Medicine (ISMIBM) (2006. 5)

久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 徳永裕司, 西村哲治: **都市域における下水処理場流入水および放流水中医薬品の存在実態**

第14回環境化学討論会 (2005. 6)

井上 英*¹, 阿草哲郎*¹, 久保田領志, 國頭恭*², Minh, T.B.*¹, Trang, P.T.K.*³, Viet, P.H.*³, Chamnan, C.*³, Tana, T.S.*⁴, 岩田久人*¹, 田辺信介*¹: **メコン河下流域における地下水のヒ素汚染**

第14回環境化学討論会 (2005. 6)

*¹ 愛媛大学沿岸環境科学研究センター

*² 信州大学理学部

*³ Hanoi University of Science

*⁴ Social and Cultural Observation Unit (OBSES) of the Cabinet of the Council of Ministers of Cambodia

高木 梢*, 久保田領志, 阿草哲郎*, 阿南弥寿美*, 田辺信介*: **タイマイおよびアオウミガメにおけるヒ素化合物の蓄積特性**

第14回環境化学討論会 (2005. 6)

* 愛媛大学沿岸環境科学研究センター

Asante, K.A.*¹, Agusa, T.*¹, Kubota, R., Subramanian, A.*¹, Ansa-Asare, O.D.*², Biney, C.A.*² and Tanabe, S.*¹: **Monitoring arsenic and other trace elements pollution in water and human urine samples from Tarkwa, a mining town in Ghana**

第14回環境化学討論会 (2005. 6)

*¹ 愛媛大学沿岸環境科学研究センター

*² Council for Scientific and Industrial Research -Water Research Institute (CSIR-WRI), Achimota, Ghana

久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 徳永裕司, 西村哲治: **下水処理場排水中医薬品の存在実態**

第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2005. 8)

久保田領志, 鈴木俊也*, 田原麻衣子, 清水久美子, 徳永裕司, 西村哲治: **LC-MS/MSを用いた水環境中医薬品のモニタリング**

第8回環境ホルモン学会 (2005. 9)

* 東京都健康安全研究センター 多摩支所

久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 徳永裕司, 西村哲治: **LC-MS/MSを用いた下水処理場排水中医薬品の分析**

第42回全国衛生化学技術協議会年会 (2005. 11)

Minh, T.B.*¹, Iwata, H.*¹, Agusa, T.*¹, Minh, N.H.*¹, Inoue, S.*¹, Kubota, R., Tu, N.P.C.*², Kajiwara, N.*¹, Kunisue, T.*¹, Subramanian, A.*¹, Viet, P.H.*³, Tuyen, B.C.*⁴, Chamnan, C.*⁵, Tana, T.S.*⁶ and Tanabe S.*¹: **Contamination by arsenic and persistent organic pollutants in Mekong River: geographical distribution, patterns of accumulation**

and implications for environmental quality and human health

2nd International Symposium on the Development of Water Resource Management System in Mekong Watershed (2005. 12)

*¹ 愛媛大学沿岸環境科学研究センター

*² 愛媛大学農学部

*³ Hanoi University of Science

*⁴ Nong Lam University

*⁵ Inland Fisheries Research and Development Institute, Department of Fisheries

*⁶ Economic, Social and Cultural Observation Unit, Office of the Council of Ministers, Cambodia

米谷民雄：農薬等のポジティブリスト制と分析法の検討
日本食品科学工学会第52回大会(2006. 8)

米谷民雄：農薬等のポジティブリスト制と分析法の検討 - 国立研究機関の立場から -
日本食品科学工学会関東支部平成17年度大会(2005. 11)

米谷民雄：食品に残留する農薬等のポジティブリスト制度の役割と進捗状況
日本分析化学会第271回ガスクロマトグラフィー研究会(2005. 12)

米谷民雄：農薬等のポジティブリスト制度とその分析法
日本食品工業倶楽部品質保証懇話会例会(2006. 3)

米谷民雄：農薬等のポジティブリスト制度施行と食品加工
(社)日本技術士会食品技術士センター例会(2006. 3)

佐々木久美子：残留農薬暫定基準に係わる試験法について
第28回農薬残留分析研究会(2005. 9)

佐々木久美子：残留農薬分析のための試験法について
第3回食品安全フォーラム(2005. 11)

佐々木久美子：食品衛生とポジティブリスト制度
分析化学会異分野交流セミナー(2006. 2)

根本 了：ポジティブリスト制度と分析法～農薬の一斉分析を主として～
日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005. 10)

根本 了：畜水産物中の残留農薬のGC/MS一斉分析法
日本食品化学学会第17回食品化学シンポジウム(2005. 11)

根本 了：食品のポジティブリスト制度におけるGC/MS分析の役割
日本分析化学会ガスクロマトグラフィー研究懇談会(2005. 12)

堤 智昭, 天倉吉章, 芦枝和典^{*1}, 奥山 亮^{*2}, 坂田一登^{*3}, 谷岡洋平^{*3}, 小林康男^{*4}, 佐々木久美子, 米谷民雄：AhイムノアッセイとPCB ELISAによる市販魚中ダイオキシン類のスクリーニング法
第14回環境化学討論会(2005. 6)

*¹ (株)日新環境調査センター

*² (株)エンバイオテック・ラボラトリーズ

*³ 第一ファインケミカル(株)

*⁴ クボタ(株)

堤 智昭, 天倉吉章, 松本輝樹, 伊藤日本男^{*}, 栗原浩^{*}, 佐々木久美子, 米谷民雄：高速加熱流下抽出装置による市販魚中ダイオキシン類の抽出法の検討
第14回環境化学討論会(2005. 6)

* ダイアインストルメンツ

Tsutsumi, T., Amakura, Y., Ashieda, K.^{*1}, Okuyama, A.^{*2}, Tanioka, Y.^{*3}, Sakata, K.^{*3}, Kobayashi, Y.^{*4}, Sasaki, K. and Maitani, T.: Screening for dioxins in retail fish using a combination of PCB ELISA and aryl hydrocarbon receptor immunoassay (Ah-immunoassay)
25th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs (2005. 8)

*¹ Nisshin Environmental Planning Inc.

*² EnBioTec Laboratories Co, Ltd.

*³ Daiichi Fine Chemical Co, Ltd.

*⁴ KUBOTA Corporation

天倉吉章, 堤 智昭, 飯田隆雄^{*1}, 堀 就英^{*1}, 中川礼子^{*1}, 飛石和大^{*1}, 柳 俊彦^{*2}, 中村宗和^{*2}, 河野洋一^{*2}, 内部博泰^{*2}, 豊田正武^{*3}, 佐々木久美子, 米谷民雄：市販ベビーフード中のダイオキシンレベル
日本食品衛生学会第89回学術講演会(2005. 5)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² (財)日本食品分析センター

*³ 実践女子大学

天倉吉章, 近藤一成, 穂山 浩, 伊東秀之^{*}, 波多野力^{*}, 米谷民雄：スギヒラタケ含有成分について
日本薬学会第126年会(2006. 3)

* 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

堀江正一^{*1}, 竹上晴美^{*1}, 石井里枝^{*1}, 村山三徳, 米谷民雄, 中澤裕之^{*2}：LC/MSによる畜産物中のセファロsporin系抗生物質の分析
日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005. 10)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 星薬科大学

竹上晴美^{*1}, 石井里枝^{*1}, 堀江正一^{*1}, 村山三徳, 米谷民雄, 中澤裕之^{*2}：LC/MSによる畜水産物中のチアムリン, リンコマイシン及びパージニアマイシンの分析
日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005. 10)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*2 星薬科大学

石井里枝*¹, 堀江正一*¹, 村山三徳, 米谷民雄, 中澤裕之*²: **LC/MS/MSによるハチミツおよびローヤルゼリー中のクロラムフェニコールの分析**
日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² 星薬科大学

Miyahara, M., Maitani, T., Kojima, T.*¹, Sunaga, H.*² and Kume, T.*: **Dosimetry for Food Irradiation with Alanine and Plastic Dosimeters. A Comparison Study**
The 119th Annual AOAC International Meeting and Exposition (2005.9)

*日本原子力研究所

Miyahara, M., Mashimizu, T.*¹, Hara, H.*², Sunaga, H.*³ and Maitani, T.: **ESR Measurement of Three Alanine Dosimeters at Low Level Gamma Irradiation**
28th International EPR Symposium (2005.8)

*¹ 崇城大学

*² プルカ バイオスピ

*³ 日本原子力研究所

小嶋拓治*, 田口光正*, 春山保幸*, 羽田徳之*, 須永博美*, 宮原 誠: **アラニン線量計の食品照射工程管理への応用検討**

第11回放射線プロセスシンポジウム(2005.12)

*日本原子力研究所

宮原 誠, 小嶋拓治*¹, 小林泰雄*¹, 須永博美*², 米谷民雄: **ESR法を用いる放射線照射食品プロセスのための微量放射線量測定法**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 日本原子力研究開発機構

*² 放射線利用振興協会

油谷賢一*¹, 渡邊由美子*¹, 渡邊恵理子*¹, 本庄 勉*¹, 橋爪秀一*¹, 佐藤秀隆*², 渡邊敬浩, 穠山 浩, 松田りえ子, 米谷民雄: **高回収率を可能とした特定原材料測定キット(ELISA法)の応用例**

第89回日本食品衛生学会学術講演会(2005.5)

*¹ (株)森永生科学研究所

*² (株)日本食品分析センター

森下直樹*¹, 土岐真治*¹, 神谷久美子*¹, 松本貴之*¹, 高畑能久*¹, 森松文毅*¹, 本庄 勉*², 佐藤秀隆*³, 渡邊敬浩, 穠山 浩, 松田りえ子, 米谷民雄: **複合抗原認識抗体を用いた新規アレルギー検査キットの開発と評価**

第89回日本食品衛生学会学術講演会(2005.5)

*¹ 日本ハム(株)

*² (株)森永生科学研究所

*³ (財)日本食品分析センター

荒川史博*¹, 小笠原健*¹, 伊藤澄夫*¹, 峯岸恭孝*², 古

井 聡*³, 日野明寛*³, 渡邊敬浩, 菊地博之, 穠山 浩, 米谷民雄, 小関良宏*⁴: **遺伝子組換え食品定量分析における加工影響についての検討**

日本食品化学会第11回学術大会(2005.6)

*¹ 三栄源 エフ・エフ・アイ(株)

*² (株)ニッポンジーン

*³(独)食品総合研究所

*⁴ 東京農工大

小笠原健*¹, 荒川史博*¹, 佐々木和生*², 梅津博紀*², 渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄, 合田幸広, 豊田正武*³, 鎌田 博*⁴, 近川幸恵*⁵, 野崎亜佐美*⁵, 伊藤佳央*⁵, 小関良宏*⁵: **遺伝子組換えダイズの導入遺伝子の突然変異について**

日本食品化学会第11回学術大会(2005.6)

*¹ 三栄源エフ・エフ・アイ(株)

*² 青森大学

*³ 実践女子大学

*⁴ 筑波大学

*⁵ 東京農工大学

穠山 浩, 佐藤雄嗣, 渡邊敬浩, 長岡(浜野)恵, 吉岡靖雄, 手島玲子, 合田幸広, 澤田純一, 米谷民雄, 庄司俊彦*¹, 神田智正*¹, 山田 潔*², 戸塚 護*²: **プロシアニジンの食物アレルギー発症抑制作用について**

日本食品化学会第11回学術大会(2005.6)

*¹ アサヒビール(株)未来技術研究所

*² 東京大学大学院

Akiyama, H., Matsuda, R. and Maitani, T.: **Issues and Challenges of Japan NIHS Validation Protocols**

The 119th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2005.9)

穠山 浩, 天倉吉章, 近藤一成, 吉岡靖雄, 米谷民雄, 酒井信夫*, 戸井田敏彦*: **スギヒラタケ中の成分分析について**

日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

* 千葉大学大学院

大森清美*, 土屋久世*, 平山クニ*, 渡邊敬浩, 穠山浩, 米谷民雄: **シリカベースレジソタイプキット法による遺伝子組換え大豆DNA抽出法に関する検討**

日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

* 神奈川県衛生研究所

穠山 浩, 佐藤雄嗣, 渡邊敬浩, 長岡(浜野)恵, 吉岡靖雄, 手島玲子, 合田幸広, 澤田純一, 米谷民雄, 庄司俊彦*¹, 神田智正*¹, 山田 潔*², 戸塚 護*²: **リンゴ未熟果由来プロアントシアニジンの食物アレルギー-感作誘導抑制作用に関する研究**

第15回天然薬物の開発と応用シンポジウム(2005.11)

*¹ アサヒビール(株)未来技術研究所

*² 東京大学大学院

Akiyama, H., Sato, Y., Watanabe, T., Nagaoka, M.H., Yoshioka, Y., Shoji, T. ^{*1}, Kanda, T. ^{*1}, Yamada, K. ^{*2}, Totsuka, M. ^{*2}, Teshima, R., Sawada, J., Goda, Y. and Maitani, T.: **Apple condensed tannin inhibits the development of food allergies in mouse models**

2005年日本免疫学会総会(2005.12)

^{*1} アサヒビール(株)未来技術研究所

^{*2} 東京大学大学院

穠山 浩, 戸井田敏彦^{*}, 酒井信夫^{*}, 天倉吉章, 近藤一成, 吉岡靖雄, 小西良子, 米谷民雄: **スギヒラタケ中の成分分析について**

第126年会日本薬学会(2006.3)

^{*}千葉大学大学院

吉田菜央^{*}, 佐野琴音^{*}, 竹原弥生^{*}, 佐藤慶子^{*}, 穠山浩, 吉岡靖雄, 米谷民雄, 小川温子^{*}: **シュ-ドプロテオグリカンプロ-ブを用いたスギヒラタケレクチンの探索と精製**

第25回日本糖質学会年会(2005.7)

^{*}お茶の水女子大学大学院

Oguchi, T. ^{*}, Akiyama, H. and Hino, A. ^{*}: **Discriminative System for Combined Trait Products of GM maize**

The Japanese-French Seminar on Food Safety and Novel Food (2005.11)

^{*}National Food Research Institute

Hino, A. ^{*1}, Akiyama, H., Kuribara, H. ^{*2} and Futo, S. ^{*3}: **Recent Activities for the Monitoring of GMO in Japan**

The Japanese-French Seminar on Food Safety and Novel Food (2005.11)

^{*1}National Food Research Institute

^{*2}Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services

^{*3}Fasmac Co., Ltd.

林 宏紀^{*}, 稲熊隆博^{*}, 佐藤雄嗣, 穠山 浩, 合田幸広, 米谷民雄: **β -カロテン混餌投与による即時型アレルギー抑制作用について**

2005年日本清涼飲料水研究会(2005.11)

^{*}カゴメ株式会社総合研究所

Hino, A. ^{*1}, Akiyama, H. and Kuribara, H. ^{*2}: **New Approach Detection Methods for GMO by Japanese Group**

National Agricultural Products Quality Management Service (NAQS) symposium (2005.9)

^{*1}National Food Research Institute

^{*2}Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services

Hino, A. ^{*1}, Yoshimura, T. ^{*2}, Akiyama, H. and Kuribara, H. ^{*3}: **Research Development for Detection Methods of GM Agricultural Products in Japan**

The United State-Japan Cooperative Program in Natural Resources (2005.10)

^{*1}National Food Research Institute

^{*2}Asahi Breweries, Ltd.,

^{*3}Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services

黒澤康紀^{*1}, 谷中有香^{*1}, 峯岸恭孝^{*2}, 児玉貴志^{*1,3}, 栗原秀夫^{*3}, 穠山 浩, 米谷民雄, 古井 聡^{*1}, 日野明寛^{*1}: **遺伝子組換え作物のPCR検査における迅速なDNA抽出キットの開発**

日本農芸化学会2006年度大会(2006.3)

^{*1}食品総合研究所

^{*2}ニッポンジーン(株)

^{*3}消費技術センタ-

Kondo, K., Watanabe, A., Abe, I. ^{*}, Tanaka, H. ^{*}, Akiyama, H. and Maitani, T.: **A rapid and highly specific analysis of labile and genotoxic agaritine in mouse plasma using liquid chromatography-tandem mass spectrometry**

51st International Conference on Analytical Sciences and Spectrometry (2005.10)

^{*}University of Shizuoka

Kondo, K., Watanabe, A., Iwanaga, Y., Abe, I. ^{*}, Tanaka, H. ^{*}, Hamano-Nagaoka, M., Akiyama, H. and Maitani, T.: **Determination of Genotoxic Phenylhydrazine Agaritine in Several Mushrooms using Liquid Chromatography-Electrospray Ionization Tandem Mass Spectrometry**

2nd International Symposium on Recent Advances in Food Analysis (2005.11)

^{*}University of Shizuoka

近藤一成, 渡辺麻子, 長岡(浜野)恵, 穠山 浩, 米谷民雄: **血漿及び尿中 agaritine の LC/MS/MS 分析**

第126回日本薬学会(2006.3)

渡邊敬浩, 寺西清貴^{*1}, 武田明治^{*1}, 峯岸泰孝^{*2}, 古井聡^{*3}, 日野明寛^{*3}, 穠山 浩, 米谷民雄: **遺伝子組換え食品検査におけるコンタミネーション予防策について - オートクレープ処理条件の検討 -**

日本食品化学学会第11回総会・学術大会(2005.4)

^{*1}日本大学

^{*2}(株)ニッポンジーン

^{*3}(独)食品総合研究所

渡邊敬浩, 菊地博之, 穠山 浩, 米谷民雄: **加工食品におけるDNAの分解と遺伝子組換え食品定量分析法の開発について**

第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2005.8)

Kuribara, H. ^{*1}, Kasahara, M. ^{*1}, Kodama, T. ^{*2}, Watanabe, T., Akiyama, H., Maitani, T., Futo, S. ^{*3}, Furui, S. ^{*2} and Hino, A. ^{*2}: **Comparative Studies of Five Real-Time PCR Equipments on Quantitative Methods for Genetically Modified Maize and Soy**

The 119th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting (2005.9)

*¹ Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services

*² National Food Research Institute, Japan

*³ FASMAC Co., Ltd., Japan

Watanabe, T., Akiyama, H., Kikuchi, H., Maleki, S. *¹, Yamakawa, H. *², Iijima, K. *², Yamazaki, F. *³, Matsumoto, T. *⁴, Arakawa, F. *⁵, Watai, M. *⁶, Futo, S. *⁷ and Maitani, T.: **A specific qualitative detection method for peanut (*Arachis Hypogaea*) in foods using polymerase chain reaction**
The 119th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting (2005. 9)

*¹ US Department of Agriculture, Agricultural Research Service, Southern Regional Research Center

*² Nisshin Seifun Group Inc.

*³ Morinaga Co., Ltd.

*⁴ R&D Center Nippon Meat Packers, Inc.

*⁵ San-Ei Gen F.F.I.

*⁶ Japan Food Research Laboratories

*⁷ FASMAC Co., Ltd.

渡邊敬浩, 時下祥子, 菊地博之, 日野明寛*, 穠山 浩, 米谷民雄: **未承認遺伝子組換えトウモロコシ (Bt10系統) を対象とした検知技術の開発**

第90回日本食品衛生学会学術講演会 (2005. 10)

*¹(独)食品総合研究所

児玉貴志 *¹, 栗原秀夫 *², 松岡 猛 *², 青木信太郎 *³, 澤田千尋 *⁴, 布藤 聡 *⁵, 峯岸泰孝 *⁶, 渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄, 古井 聡 *¹, 日野明寛 *¹: **遺伝子組換えトウモロコシ4系統 (MON863, NK603, TC1507及びT25) の定量分析法のコラボレーションスタディー**

第90回日本食品衛生学会学術講演会 (2005. 10)

*¹(独)食品総合研究所

*²(独)農林水産消費技術センター

*³(財)日本食品分析センター

*⁴(財)日本冷凍食品検査協会

*⁵(株)ファスマック

*⁶(株)ニッポンジーン

渡邊敬浩, 菊地博之, 笠間菊子 *¹, 鈴木達也 *¹, 大島赴夫 *¹, 日野明寛 *², 穠山 浩, 米谷民雄: **遺伝子組換えトウモロコシ (Mon810) 定量検査法の外部精度管理について**

第42回全国衛生化学技術協議会年会 (2005. 11)

*¹(財)食品薬品安全センター

*²(独)食品総合研究所

鈴木智宏*, 孝口祐一*, 加藤芳伸*, 渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄: **遺伝子組換え大豆のシリカゲル膜タイプキットによるDNA抽出の検討**

第42回全国衛生化学技術協議会年会 (2005. 11)

*北海道立衛生研究所

片倉啓雄*, 崔 東煥*, 仁宮一章*, 塩谷 捨*, 松田りえ子, 林 讓: **競合ELISA法のシミュレーションと**

精度の予測

免疫化学測定法研究会第10回学術集会 (2005. 7)

* 阪大院・工・生命先端

酒井信夫, 五十嵐尚子*, 穠山 浩, 米谷民雄, 戸井田敏彦*: **コンドロイチン硫酸分子サイズがマウス全身性免疫機構に及ぼす影響について**

第25回日本糖質学会年会 (2005. 7)

* 千葉大学大学院薬学研究院

北島昭人 *¹, 初芝清徳 *¹, 南澤孝夫 *¹, 豊岡利正 *², 松田りえ子, 林 讓: **放射性医薬品分析におけるFUMI理論に基づいた分析値の信頼性評価**

第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2005. 8)

*¹ 第一ラジオアイソトープ

*² 静岡県立大

酒井信夫, 平野花奈*, 戸井田敏彦*: **メチルエステル化グリコサミノグリカンの調製とその基質特異性に関する研究**

第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2005. 8)

* 千葉大学大学院薬学研究院

Kusu, F. *, Kotani, A. *, Matsuda, R. and Hayashi, Y.: **Baseline noise in high-performance liquid chromatography with electrochemical detection**

18th International Conference on Noise and Fluctuation (2005. 9)

* Tokyo University of Pharmacy and Life Science

Matsuda, R., Yoshioka, Y., Akiyama, H., Maitani, T., Gamo, R. *¹, Kihira, Y. *², Honjoh, T. *³, Takahata, Y. *⁴ and Sato, H. *⁵: **Preparation and Specification of the Calibration Standards for the Test Kits for 5 Allergenic Foods**

The 119th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2005. 9)

*¹ Nippon Gene CO., LTD.

*² Oriental Yeast CO., LTD.

*³ Morinaga Institute of Biological Science

*⁴ Nippon Meat Packers, Inc.

*⁵ Japan Food Research Laboratories

吉岡靖雄, 穠山 浩, 庄司俊彦 *¹, 滝田聖親 *², 神田智正 *¹, 松田りえ子, 米谷民雄: **プロシアニジンによる大腸炎発症予防効果とその作用メカニズムに関する検討**

第55回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2005. 10)

*¹ アサヒビール

*² 東京農業大学

中野真孝 *¹, 吉岡靖雄, 穠山 浩, 庄司俊彦 *², 神田智正 *², 松田りえ子, 滝田聖親 *¹, 米谷民雄: **リンゴ由来プロシアニジンによる大腸炎発症予防効果に関する検討**

第49回日本薬学会関東支部大会 (2005. 10)

*¹ 東京農業大学

*² アサヒビール

伊集院一成^{*}, 松田りえ子, 林 譲: **ヘルスヴィジランス I. インフルエンザの感染経路と感染速度の推定**
第49回日本薬学会関東支部大会(2005.10)

^{*} 田無薬品

伊集院一成^{*}, 松田りえ子, 林 譲: **ヘルスヴィジランス II. 生物テロ事態の早期把握方法の提案**
第49回日本薬学会関東支部大会(2005.10)

^{*} 田無薬品

五十嵐尚子^{*}, 竹口敦子^{*}, 酒井信夫, 豊田英尚^{*}, 戸井田敏彦^{*}: **抗原感作脾細胞によるサイトカイン産生に及ぼすコンドロイチン硫酸分子サイズの影響**

第49回日本薬学会関東支部大会(2005.10)

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院

大竹絵里^{*}, 酒井信夫, 豊田英尚^{*}, 戸井田敏彦^{*}: **アフィニティークロマトグラフィーを用いたヒアルロン酸結合タンパク質のスクリーニング**

第49回日本薬学会関東支部大会(2005.1)

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院

武田真実^{*}, 酒井信夫, 豊田英尚^{*}, 平野義明^{*}, 石橋正己^{*}, 戸井田敏彦^{*}: **シタウミウシ (*Armina cf. babai*) 由来グリコサミノグリカンの構造及び生理活性**

第49回日本薬学会関東支部大会(2005.10)

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院

伊集院一成^{*}, 瀬川勝智, 中野達也, 辻 澄子, 松田りえ子, 林 譲: **ヘルスヴィジランス . 薬局における最大処方量と必要最小在庫量の推定**

日本社会薬学会第24年会(2005.11)

^{*} 田無薬品

崔 東煥^{*}, 仁宮 章^{*}, 片倉啓雄^{*}, 塩谷捨明^{*}, 松田りえ子, 林 譲: **競合ELISA法のシミュレーションと精度の予測**

日本生物工学会57回大会(2005.11)

^{*} 阪大院・工・先端生命

松田りえ子, 長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **清涼飲料水中のカドミウム, 鉛, ヒ素, スズ試験法の見直しについて**
第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

Sakai, S., Igarashi, N.^{*1}, Iha, M.^{*2}, Toida, T.^{*1}: **Effects of Fucoidan on the Systemic and Mucosal Immune System**
Annual Conference of the Society for Glycobiology (2005.11)

^{*1} Graduate school of Pharmacy, Chiba University

^{*2} South Product Ltd.

Sakai, S.: **Regulation of Chondroitin Sulfate as a Nutraceutical in JAPAN**
The 1st Mini-symposium on Glycosaminoglycans (2005.

11)

崔 東煥^{*}, 片倉啓雄^{*}, 仁宮 章^{*}, 塩谷捨明^{*}, 松田りえ子, 林 譲: **競合ELISA法の精度に及ぼす抗体の動特性の影響**

化学工学会71回大会(2006.3)

^{*} 阪大院・工・先端生

小針 剛^{*1}, 伊集院一成^{*2}, 石井文由^{*3}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦^{*4}: **ヘルスヴィジランス . 薬剤処方量の確率過程論的性質の薬局間での比較**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} コスモ調剤薬局

^{*2} 田無薬品

^{*3} 明治薬科大学

^{*4} 東邦大学薬学部

伊集院一成^{*1}, 小針 剛^{*2}, 石井文由^{*3}, 椿 広計^{*4}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦^{*5}: **ヘルスヴィジランス . 薬剤処方量データの因子分析によるパターン認識**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 田無薬品

^{*2} コスモ調剤薬局

^{*3} 明治薬科大学

^{*4} 統計数理研究所

^{*5} 東邦大学薬学部

高橋瑞穂^{*1}, 伊集院一成^{*2}, 竹内尚子^{*3}, 岩木和夫^{*4}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦^{*5}: **ヘルスヴィジランス . 時系列データのピーク形の歪みとその相互相関関数に与える影響**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 日光市民病院薬剤科

^{*2} 田無薬品

^{*3} トライアドジャパン株式会社かもめ薬局北里健康館

^{*4} 奥羽大学薬学部

^{*5} 東邦大学薬学部

伊集院一成^{*1}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦^{*2}: **ヘルスヴィジランス . インフルエンザの感染経路と感染速度の推定法の検証**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 田無薬品

^{*2} 東邦大学薬学部

伊集院一成^{*1}, 岩木和夫^{*2}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦^{*3}: **ヘルスヴィジランス . 大人から子供へのインフルエンザの感染順序の検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 田無薬品

^{*2} 奥羽大学薬学部

^{*3} 東邦大学薬学部

高橋瑞穂^{*1}, 伊集院一成^{*2}, 小針 剛^{*3}, 竹内尚子^{*4}, 岩木和夫^{*5}, 石井文由^{*6}, 松田りえ子, 林 譲, 矢島毅彦

彦^{*7}：ヘルスヴィジランス．薬剤処方量解析におけるスムージングの効果

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 日光市民病院薬剤科^{*2} 田無薬品^{*3} コスモ調剤薬局^{*4} トライアドジャパン株式会社かもめ薬局北里健康館^{*5} 奥羽大学薬学部^{*6} 明治薬科大学^{*7} 東邦大学薬学部松田りえ子，伊集院一成^{*1}，高橋瑞穂^{*2}，小針 剛^{*3}，岩木和夫^{*4}，石井文由^{*5}，林 譲，矢島毅彦^{*6}：ヘルスヴィジランス．関東地方におけるインフルエンザの感染パターンの解析

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 田無薬品^{*2} 日光市民病院薬剤科^{*3} コスモ調剤薬局^{*4} 奥羽大学薬学部^{*5} 明治薬科大学^{*6} 東邦大学薬学部伊集院一成^{*1}，楠 文代^{*2}，松田りえ子，林 譲，矢島毅彦^{*3}：ヘルスヴィジランスXI．FUMI理論に基づく調剤薬局における最大処方量と最小必要在庫量の考察

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 田無薬品^{*2} 東京薬科大学^{*3} 東邦大学薬学部伊集院一成^{*1}，楠 文代^{*2}，小針 剛^{*3}，石井文由^{*4}，松田りえ子，林 譲，矢島毅彦^{*5}：ヘルスヴィジランスXII．関東地方におけるインフルエンザの感染パターンの解析

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 田無薬品^{*2} 東京薬科大学^{*3} コスモ調剤薬局^{*4} 明治薬科大学^{*5} 東邦大学薬学部佐藤博泰^{*1}，岩木和夫^{*1}，北島昭人^{*2}，南澤孝夫^{*2}，豊岡利正^{*3}，松田りえ子，林 譲：FUMI理論による精度推定の信頼性について

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 奥羽大学薬学部^{*2} 第一RI研究所^{*3} 静岡県立大薬前田光子^{*1}，望月麻友美^{*1}，武林久瑠美^{*1}，吉岡靖雄，喜田進也^{*1}，北條恵子^{*1}，堤 康央^{*2}，中川晋作^{*3}，真弓忠範^{*1}，野水基義^{*4}，川崎紘一^{*1}：ヒトプラスミノーゲンクリンゲル5 関連ペプチドの合成

日本薬学会第126年会（2006.3）

^{*1} 神戸学院大学^{*2} 医薬基盤研究所^{*3} 大阪大学^{*4} 北海道大学星野健二^{*}，粕山絵美^{*}，吉田かおり^{*}，西村和洋^{*}，酒井信夫，戸井田敏彦^{*}，柏木敬子^{*}，五十嵐一衛^{*}：動物細胞とミトコンドリアのポリアミン輸送系におけるアンチザイム及びグリコサミノグリカンの役割

日本薬学会 第126年会（2006.3）

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院五十嵐尚子^{*}，竹口敦子^{*}，酒井信夫，豊田英尚^{*}，戸井田敏彦^{*}：コンドロイチン硫酸Th1促進活性における分子量の影響

日本薬学会 第126年会（2006.3）

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院武田真実^{*}，酒井信夫，豊田英尚^{*}，戸井田敏彦^{*}：パカ員由来コンドロイチン硫酸の単離と構造解析

日本薬学会 第126年会（2006.3）

^{*} 千葉大学大学院薬学研究院Ishizaki, T.^{*1}, Morigaki, T.^{*1}, Nakagawa, M.^{*1}, Ootake, T.^{*2}, Tanamoto, K., Ushijima, H.^{*3} and Yamada, A.^{*4}: Application to the development of anti-viral drugs and identification of HIV using cell activity

Joint Meeting of the 3 Divisions of the International Union of Microbiological Societies 2005, XIII International Congress of Virology (2005.7)

^{*1} Kyoto Prefectural Institute of Hygienic and Environmental Sciences^{*2} Osaka Prefectural Institute of Public Health^{*3} The University of Tokyo^{*4} The University of Shiga Prefecture細淵和成^{*}，後藤 亮^{*}，関口正之^{*}，棚元憲一：AVF金属針からのエンドトキシンの回収

第33回防菌防黴学会（2006.5）

^{*} 東京都立産業技術研究所Kubota, H., Sato, K., Yomota, C. and Tanamoto, K.: Formation of Volatile Halogenated Organic Compounds in Fresh-Cut Vegetables Treated with Sodium Hypochlorite 119th AOAC annual meeting (2005.9)

久保田浩樹，佐藤恭子，四方田千佳子，棚元憲一：次亜塩素酸ナトリウム処理によるカット野菜からのトリハロメタンの生成

日本食品衛生学会第90回学術講演会（2005.10）

佐々木千絵，植松洋子^{*1}，米田真知子^{*2}，大澤テイ子^{*2}，堀 英夫^{*3}，森 曜子^{*3}，柳 徳枝^{*4}，小山幹雄^{*4}，杉本敏明^{*4}，香田隆俊^{*4}，長谷川直樹^{*5}，望月隆宏^{*5}，佐藤恭子，四方田千佳子，棚元憲一：食品添加物中の残留

溶媒分析法に関する研究

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

*¹ 東京都健康安全研究センター*² 仙台市衛生研究所*³ (財)日本冷凍食品検査協会*⁴ (財)日本食品分析センター*⁵ 日本食品添加物協会古庄紀子, 川崎洋子, 久保田浩樹, 佐藤恭子, 棚元憲一: **食品中のスーダン色素 ~ 及びバラレッドの分析法**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

Sugimoto, N., Yomota, C., Furusho, N., Sato, K., Yamazaki, T., Tanamoto, K.: **Application of liquid chromatography-nuclear magnetic resonance (LC-NMR) to the identification of ethyldimethylpyrazine, a food flavoring agent**

Pacifichem 2005 (2005.12)

Warner, C. R. *¹, Noonan, G. O. *¹, Sugimoto, N., Beisaw, A. *², Hsu, W., Perfetti, G. A. *¹, Begley, T. H. *¹ and Diachenko, G. W. *¹: **Investigation of Flour Tortillas Implicated in Episodes of Illnesses Associated with School Lunches**12th Annual FDA Science Forum (2006.4)*¹ CFSAN, U.S. FDA*² JIFSAN, University of Maryland伊藤里恵*, 本田英博*, 安永紋子*, 岩崎雄介*, 斉藤貢一*, 杉本直樹, 佐藤恭子, 中澤裕之*: **ゴマ油不ケン化物中のセサミン及びセサモールの定量**

日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

* 星薬科大学

秋山卓美, 多田敦子, 杉本直樹, 山崎 壮, 棚元憲一, 林 歩美*, 尹 永淑*, 功刀 彰*: **テルペノイド系ガムベースの成分と試験法に関する研究**

日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

* 東京薬科大学

多田敦子, 秋山卓美, 杉本直樹, 山崎 壮, 棚元憲一, 増田愛乃*, 山形一雄*: **エステル系ガムベースの成分と試験法の検討**

日本食品衛生学会第90回学術講演会(2005.10)

* 日本大学

Akiyama, T., Arai, T. *¹, Liu, M.-H. *², Yoshimatsu, K. *³, Kunugi, A. *¹, Shibuya, M. *⁴, Ebizuka, Y. *⁴, Yamazaki, T. and Tanamoto, K.: **Biosynthesis of phyllodulcin in *Hydrangea macrophylla* var. *thunbergii***

Pacifichem 2005 (2005.12)

*¹ Tokyo University of Pharmacy and Life Science*² Zhengzhou University*³ National Institute of Biomedical Innovation*⁴ University of TokyoTada, A., Sugimoto, N., Sato, K., Yamazaki, T. and Tanamoto, K.: **Quantification of wax esters in jojoba wax used as a food additive in Japan by LC/MS/MS**
Pacifichem 2005 (2005.12)河村葉子, 川崎智恵, 六鹿元雄, 棚元憲一: **乳幼児用玩具中の金属の分析**

日本食品衛生学会第90回学術大会(2005.10)

大野浩之, 河村葉子: **ポリ塩化ビニリデン包装フィルム及びその被包装食品中の塩化ビニリデンの分析**

日本食品衛生学会第90回学術大会(2005.10)

六鹿元雄: **瓶詰食品中のセミカルバジド及びエポキシ化大豆油の分析**

日本食品化学学会第17回食品化学シンポジウム(2005.11)

六鹿元雄, 和久井千世子, 河村葉子, 棚元憲一: **キャップシーリング中のセミカルバジドの分析**

第42回全国衛生化学技術協議会年会(2005.11)

六鹿元雄, 河村葉子, 伊藤 誠*¹, 大野浩之*², 金子令子*³, 河野政美*⁴, 小瀬達男*⁵, 中村好志*⁶, 馬場二夫*⁷, 堀江正一*⁸, 三宅大輔*⁹: **生活用品試験法 器具・玩具試験法 アセトアルデヒドおよびホルムアルデヒド: 高速液体クロマトグラフィーによる定性および定量**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 東洋製罐(株)*² 名古屋市衛生研究所*³ 東京都健康安全研究センター*⁴ 昭和ゴム(株)*⁵ (財)化学技術戦略推進機構*⁶ 椋山女学園大学*⁷ 武庫川女子大学*⁸ 埼玉県衛生研究所*⁹ (財)日本食品分析センター河村葉子, 金子令子*¹, 船山恵市*¹, 田口信夫*¹, 山嶋裕季子*¹, 伊藤 誠*², 大野浩之*³, 河野政美*⁴, 小瀬達男*⁵, 中村好志*⁶, 馬場二夫*⁷, 堀江正一*⁸, 三宅大輔*⁹, 六鹿元雄: **生活用品試験法 器具・玩具試験法 天然素材: 木製品からの二酸化硫黄および亜硫酸塩類ならびに防かび剤の溶出試験法**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 東京都健康安全研究センター*² 東洋製罐(株)*³ 名古屋市衛生研究所*⁴ 昭和ゴム(株)*⁵ (財)化学技術戦略推進機構*⁶ 椋山女学園大学*⁷ 武庫川女子大学*⁸ 埼玉県衛生研究所

*⁹(財)日本食品分析センター

河村葉子, 川崎智恵, 和久井千世子, 六鹿元雄, 棚元憲一: **抗菌表示された合成樹脂製器具における含有金属の分析**

日本食品衛生学会第91回学術大会 (2006. 5)

Kajikawa, A., Asai, M., Satoh, E. *, Yamasaki, M., Kim, T. W., Yamamoto, S. and Igimi, S.: **Protective immunity against *Listeria monocytogenes* by recombinant *Lactobacillus casei* expressing listeriolysin O**

8th Symposium on Lactic Acid Bacteria (2005. 8)

*東京農業大学

Yamasaki, M., Amano, F. *, Kim, T. W., Yamamoto, S. and Igimi, S.: **Aerobic stress responses of *Campylobacter jejuni* precultured under anaerobic condition**

13th International Workshop on *Campylobacter*, *Helicobacter* and Related Organisms (2005. 9)

*大阪薬科大学

片川弥栄子^{*1}, Helena Sanae Kajikawa^{*1}, 寺原正樹^{*2}, 矢島昌子^{*2}, 佐藤 征^{*3}, 大友良光^{*3}, 五十君静信, 戸羽隆宏^{*1}: **ピフィス菌が病原菌のCaco-2細胞への付着に与える影響**

日本畜産学会第105回大会 (2005. 9)

*¹ 弘前大学農学生命科学部

*² 明治乳業(株)食機能科学研究所

*³ 弘前大学医学部保健学科

寺井志織*, 山崎 学, 五十君静信, 天野富美夫*: **サルモネラの病原性関連因子SEp22タンパク質の急速な細胞内分解について**

第78回日本生化学会大会 (2005. 10)

*大阪薬大

山崎 学, 五十君静信, 山本茂貴: **カンピロバクターの酸素ストレスに対する応答性**

第26回日本食品微生物学会学術総会 (2005. 11)

五十君静信: **国内のリストリア症の現状とその制御に向けて**

第26回日本食品微生物学会学術総会 (2005. 11)

梶川揚申, 佐藤英一*, 山崎 学, 朝倉 宏, 山本茂貴, 五十君静信: **サルモネラ鞭毛抗原を発現する組換え乳酸菌による感染防御免疫の誘導**

第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)

*東京農業大学

Kawasaki, M. *, Hoshima, Y. *, Itoh, Y., Yamamoto, S. and Machii, K.: **Basic research on development of scallop tissue reference material for diarrhetic shellfish poisoning (DSP) in quality assurance**

International Chemical Congress of Pacific Basin Societies

(Pacifichem) 2005 (2005. 12)

* (財)食品薬品安全センター

Kasuga, F.: **Recent progresses in microbiological risk assessment in Japan**

International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2005) (2005. 12)

Kasuga, F. and Toyofuku, H.: ***Vibrio parahaemolyticus* in clams in Thailand and prawns in Malaysia**

2nd International Conference on Microbial Risk Assessment: Foodborne Hazards. Pre-conference workshop on microbiological risk assessment (2006. 2)

筒井俊之*, 春日文子: **定量的リスクアセスメントの紹介-BSEを例として**

第141回日本獣医学会学術集会 (2006. 3)

*動物衛生研究所

春日文子, 筒井俊之*: **日本におけるBSE検査の食品衛生への影響の評価**

21世紀農学コロキウム第3回ワークショップ「食の安全と健全の確保に向けた疫学の展開」(2006. 3)

*動物衛生研究所

伊藤嘉典: **ハノイ報告・ベトナム食品工業研究所とその周辺**

第32回カビ毒研究連絡会 (2005. 8)

Okada, Y., Okada, N. ^{*1}, Makino, S-I. ^{*2}, Asakura, H., Yamamoto, S. and Igimi, S.: **sigmaL contributes the osmotolerance in *Listeria monocytogenes***

Joint Meeting of the 3 Divisions of the International Union of Microbiological Societies 2005 (2005. 7)

*¹ 北里大学薬学部

*² 帯広畜産大学原虫病研究センター

岡田由美子, 朝倉 宏, 岡田信彦^{*1}, 牧野壮一^{*2}, 山本茂貴, 五十君静信: ***Listeria monocytogenes* rpoN 欠失変異株の高食塩濃度下でのプロテオーム解析**

第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)

*¹ 北里大学薬学部

*² 帯広畜産大学原虫病研究センター

朝倉 宏, 五十君静信, 川本恵子*, 山本茂貴, 牧野壮一*: **腸管出血性大腸菌O157のVNC移行の誘導交差性**

第140回日本獣医学会学術集会 (2005. 9)

*帯広畜産大

朝倉 宏, 藤田美幸, 秋山奈美, 牧野壮一^{*1}, 倉園久夫^{*2}, 中澤宗生^{*3}, 山本茂貴, 五十君静信: **志賀毒素 (Stx) 産生を指標としたウシ腸管出血性大腸菌O157の検出法に関する研究**

第141回日本獣医学会学術集会 (2006. 3)

*¹ 帯広畜産大

*² 大阪府立大

*³ 動物衛生研究所

朝倉 宏, 五十君静信, 川本恵子*, 山本茂貴, 牧野壮一*: 生体通過により生じた腸管出血性大腸菌O157のストレス抵抗性変化とVNC状態に関するプロテオーム解析

第141回日本獣医学会学術集会(2006.3)

*帯広畜産大

南 敦嘉*, 川本恵子*, Nantika Panutdaporn*, 朝倉宏, 牧野壮一*: Characterization of *Salmonella enterica* serovar Oranienburg *rpf* deletion mutant

第141回日本獣医学会学術集会(2006.3)

*帯広畜産大

池田耕一*, 柳 宇*, 鍵 直樹*, 高鳥浩介, 相原真紀: 空調システムにおける微生物汚染の実態と対策に関する研究(第3報) 酵素フィルターの抗菌性能 - 暖房期の検証結果

平成17年度空気調和・衛生工学会学術講演会(2005.8)

*国立保健医療科学院

藪根ちあき*¹, 田中辰明*¹, 相原真紀, 高鳥浩介, 秋山一男*²: 寝具を敷くことによる真菌の動態

第55回日本アレルギー学会秋季学術大会(2005.10)

*¹ お茶の水女子大学

*² 国立相模原病院

高鳥浩介: 基礎講座: カビ - どこまで知れば大丈夫 -

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

高鳥浩介, 朴 奉柱*¹, 相原真紀, 藪根ちあき*², 村松芳多子*³, 高鳥恭子*⁴, 江成唯子*⁴, 阿部幸秀*⁴, 松木容彦*⁴, 高橋淳子*⁵, 太田利子*⁶, 富田律子*⁷: 水道水の蛇口先端部における真菌と耐塩素性

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ 岐阜大学連合獣医学研究科

*² お茶の水女子大学

*³ 県立新潟女子短期大学

*⁴ (社)日本食品衛生協会 食品衛生研究所

*⁵ (財)食品薬品安全センター

*⁶ 相模女子大学

*⁷ 栃木県立衛生福祉大学校

朴奉柱*¹, 相原真紀, 朴 鍾喆*², 高鳥浩介: 環境由来 *Aspergillus fumigatus* による cytokines の発現

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ 岐阜大学連合獣医学研究科

*² Yonsei University College of Medicine, Korea

太田利子*¹, 村松芳多子*², 相原真紀, 澤田拓士*³, 高鳥浩介: 真菌の前培養期間に関する検討

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ 相模女子大学

*² 県立新潟女子短期大学

*³ 日本獣医畜産大学

李憲俊*, 相原真紀: 基礎講座: カビ同定 - 同定のキーポイント -

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*衛生微生物研究センター

李憲俊*¹, 小坂孝文*², 龍本幸俊*², 西山彩子*², 高鳥浩介: 浴室のバックングおよびシーリング素材の主要汚染カビとその汚染形態

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ 衛生微生物研究センター

*² ユニリーバ・ジャパン(株)

朴 鍾喆*¹, 李 美禧*¹, 禹 娟伊*¹, 朴 奉柱*², 高鳥浩介: 過酸化水素ガスプラズマを利用した高分子鋳型(scaffold)の殺菌

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ Yonsei University College of Medicine, Korea

*² 岐阜大学連合獣医学研究科

朴 鍾喆*¹, 李 美禧*¹, 白 賢淑*¹, 林 惠連*¹, 鵜澤正和*², 朴 奉柱*³, 高鳥浩介: 電流を利用した冷凍肉解凍水中での *Listeria* の殺菌

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ Yonsei University College of Medicine, Korea

*² (株)アプライドサイエンス

*³ 岐阜大学連合獣医学研究科

高橋淳子*¹, 宇津木祥子*¹, 小島幸一*¹, 神野秀人, 高鳥浩介, 遠藤卓郎*²: 公衆浴場内における消毒副生成物の曝露評価

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ (財)食品薬品安全センター

*² 国立感染症研究所

村松芳多子*¹, 太田利子*², 三星沙織*³, 木内 幹*³, 高鳥浩介: 真菌胞子の超低温(-80)長期保存による生残性

日本防菌防黴学会第33回年次大会(2006.5)

*¹ 県立新潟女子短期大学

*² 相模女子大学

*³ 共立女子大学

Takatori, K., Kosuge, J.*¹, Park, J.-C.*² and Park, B. J.*³: Mycological and ecological studies of *Emericella nidulans* isolated from guttural pouch mycoses

2nd Advances against Aspergillosis (2006.2)

*¹ Miyazaki University

*² Yonsei University College of Medicine, Korea

*³ Gifu University

畑尾史彦, 室井正志, 棚元憲一: Toll-like receptor 刺激による IRAK-4 の down regulation の機構解析

第78回日本細菌学会総会 (2005. 4)

杉山圭一, 室井正志, 棚元憲一: **2種類の農業アラクトールとカルバリルのTLR4シグナル伝達に与える影響**
第78回日本細菌学会総会 (2005. 4)

室井正志, 棚元憲一: **Lipid IVaのアнтаゴニスト作用発現に必要なヒトMD-2分子領域の探索**
第78回日本細菌学会総会 (2005. 4)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一: **TLR4細胞内領域の会合はMyD88との結合に必要である**
第78回日本細菌学会総会 (2005. 4)

室井正志, 棚元憲一: **Lipid IVaのアゴニスト/アンタゴニスト活性を支配するMD-2の分子領域**
第11回日本エンドトキシン研究会 (2005. 11)

室井正志, 棚元憲一: **Lipid IVaのアゴニスト/アンタゴニスト変換を支配するMD-2の分子領域の役割**
第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一: **MD-2非発現細胞におけるLPS認識機構の解析**
第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)

杉山圭一, 室井正志, 棚元憲一: **TLR4をターゲットとしたLPSシグナル阻害作用ペプチドの探索**
第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)

横田伸一^{*1}, 天野憲一^{*2}, 大西貴弘, 藤井暢弘^{*1}: ***Helicobacter pylori* リポ多糖刺激による proinflammatory cytokine の誘導について**
第79回日本細菌学会総会 (2006. 3)
^{*1} 札幌医科大学
^{*2} 秋田大学

Miyahara, M. and Shinagawa, K. *: **Frozen Pathogenic Bacteria in Food**
The 119th AOAC International Annual Meeting and Exposition (2005. 9)
* Iwate University

宮原美知子, 品川邦汎*: **食品接種腸炎ビブリオ冷凍保存での動態**
第26回日本食品微生物学会学術総会 (2005. 11)
* 岩手大学

宮原美知子: **市販鶏挽肉でのサルモネラとリステリアの検出検討**
第26回日本食品微生物学会学術総会 (2005. 11)

宮原美知子, 品川邦汎*: **冷凍食品保存中接種食中毒起因細菌の挙動**
日本薬学会第126年会 (2006. 3)

* 岩手大学

宮原美知子: **食品中サルモネラの検出方法再検討**
第33回日本防菌防黴学会年次総会 (2006. 5)

Matsutani, S.: **Possible similarities between the subunit of eukaryotic TFIIC and the bacterial transcription factors**
30th FEBS Congress and 9th IUBMB Conference (2005. 7)

松谷佐知子: **RNAポリメラーゼの転写装置と大腸菌の新しい転写活性化機構**
第28回日本分子生物学会年会 (2005. 12)

小林愛子*, 近藤和雄*, 小西良子, 工藤由起子: **香草や薬味等に用いる植物葉等の抗菌作用について**
日本食品衛生学会第89回学術講演会 (2005. 5)
* お茶の水女子大学

佐々木美穂^{*1}, 近藤和雄^{*1}, 大久保勉^{*2}, 小西良子, 工藤由起子: **緑茶カテキンの芽胞形成菌に対する抗菌活性**
日本防菌防黴学会 (2005. 5)
^{*1} お茶の水女子大学
^{*2} 太陽化学株式会社

瀬川優子, 工藤由起子, 木村邦夫*: **三次元微細セル構造磁器質光触媒フィルターによるノリ加工廃水の浄化**
日本防菌防黴学会 (2005. 5)
* 産業技術総合研究所九州センター

谷口裕之*, 工藤由起子, 熊谷進*: **絶飲絶食ストレス下のウズラにおけるサルモネラ経口感染**
日本防菌防黴学会 (2005. 5)
* 東京大学

飯淵るり子*, 工藤由起子, 熊谷進*: **乾燥環境におけるサルモネラの生存**
日本防菌防黴学会 (2005. 5)
* 東京大学

工藤由起子: **腸管出血性大腸菌O157と腸炎ピブリオの食品汚染と制御について**
平成17年度食品衛生監視員等研修会 (2005. 6)

飯淵るり子*, 工藤由起子, 熊谷進*: **サルモネラのバイオフィーム形成性と乾燥環境下における生残**
第140回日本獣医学会学術集会 (2005. 9)
* 東京大学

山路史子, 大塚佳代子^{*1}, 古川一郎^{*2}, 尾上洋一^{*2}, 大友良光^{*3}, 工藤由起子: **香辛料, ハーブ等におけるサルモネラ汚染**
日本食品衛生学会第91回学術講演会 (2005. 10)
^{*1} 埼玉県衛生研究所
^{*2} 神奈川県衛生研究所

*3 弘前大学

山崎省吾*¹, 宮坂次郎*², 三輪憲永*³, 岩出義人*⁴, 八柳潤*⁵, 高橋 肇, 工藤由起子: **魚介類からの *Vibrio vulnificus* の定量検出方法の検討**

日本食品衛生学会第91回学術講演会(2005.10)

*¹ 長崎県衛生公害研究所

*² 熊本県保健環境科学研究所

*³ 静岡県環境衛生科学研究所

*⁴ 三重県科学技術振興センター

*⁵ 秋田県衛生科学研究所

右井淳子*¹, 近藤和雄*¹, 澤田拓士*², 工藤由起子: **シリアル, ドライフルーツおよびシード類におけるサルモネラおよび黄色ブドウ球菌の生残に関する研究**

日本食品衛生学会第91回学術講演会(2005.10)

*¹ お茶の水女子大学

*² 日本獣医畜産大学

後藤元樹*¹, 高橋 肇, Jagannath, 林谷秀樹*², 高鳥浩介, 工藤由起子: **黄色ブドウ球菌の定量PCR**

第25回日本食品微生物学会(2005.11)

*¹ 岐阜大学大学院

*² 東京農工大学

大塚佳代子*, 倉園貴之*, 柳川敬子*, 工藤由起子, 高鳥浩介: **食品および人における *Salmonella* Senftenberg と Weltevreden の分布と細菌学的解析**

第25回日本食品微生物学会(2005.11)

* 埼玉県衛生研究所

高橋 肇, 小沼博隆*, 工藤由起子: **生菌数の定量PCR**

第25回日本食品微生物学会(2005.11)

* 東海大学

工藤由起子: **腸管出血性大腸菌O157と腸炎ピブリオの食品汚染と制御について**

平成17年度食品衛生監視員等研修会(2005.6)

田久保好慶*¹, 後藤元樹*², 工藤由起子, 小沼博隆*¹: **リアルタイムPCR法を用いた魚介類における腸炎ピブリオの部位別分布とその定量**

第141回日本獣医学会学術集会(2006.3)

*¹ 東海大学

*² 岐阜大学大学院

Sakai, A., Kikuchi, Y. and Takatori, K.: **Differentially Expressed Genes in BALB/3T3 Cells with Exposure to Non-genotoxic Chemicals which Promote Cell Transformation**
5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life Sciences (2005.8)

Ohmori, K.*¹, Umeda, M.*², Tanaka, N.*², Takagi, H.*³, Yoshimura, I.*⁴, Sasaki, K.*², Asada, S.*², Sakai, A., Araki, H.*⁵, Asakura, M.*⁶ et al.: **Inter-laboratory Collaborative**

Study of Cell Transformation Assay for Tumor Promoters Using Bhas 42 Cells by Non-genotoxic Carcinogen Study Group in Japan

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life Sciences (2005.8)

*¹ Kanagawa Prefectural Institute of Public Health

*² Food and Drug Safety Center

*³ Aventis Pharma Ltd

*⁴ Tokyo University of Science

*⁵ Toyama Chemical Co. Ltd

*⁶ Japan Bioassay Research Center

大森清美*¹, 梅田 誠*², 田中憲穂*², 高木弘毅*³, 吉村 功*⁴, 佐々木澄志*², 浅田 晋*², 酒井綾子, 浅倉眞澄*⁵他: **発がんプロモーター検出のためのBhas 42細胞を用いた細胞形質転換試験に関する共同研究結果について**

日本動物実験代替法学会第19回大会(2005.12)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² (財)食品薬品安全センター

*³ アベンティス ファーマ(株)

*⁴ 東京理科大学

*⁵ 日本バイオアッセイセンター

酒井綾子, 尾関由姫恵*¹, 佐々木洋介*², 鈴木千尋, 増井康子, 相原真紀, 菊池 裕, 太田利子*³, 高鳥浩介: **D2領域塩基配列による真菌の同定における市販データベースとNCBIデータベースの利用比較**

日本薬学会第126年会(2005.3)

*¹ 埼玉県衛生研究所

*² (社)日本海事検定協会

*³ 相模女子大学

菊池 裕, 中島 治, 酒井綾子, 松田治男*¹, 山崎 壮, 棚元憲一, 池田喜久子*², 山口直人*², 澤田純一, 高鳥浩介: **Detection of a splice variant of prion protein mRNA in human glioblastoma cell line T98G and human tissues**

第78回日本生化学会大会(2005.10)

*¹ 広島大学

*² 千葉大学

林 芳樹*, セレス・アンソニー*, 田中宏輝, 小西良子, 岡崎勝一郎*, 芳澤宅實*: **国内産市販麹のマイコトキシン汚染に関する研究**

第49回マイコトキシン研究会学術講演会(2005.9)

* 香川大

Park, B.J., Sugita-Konishi, Y., Kim, I.H., Kamei, K.*¹, Aihara, M. and Takatori, K.: **Cytotoxic and biological effects of mycotoxins produced from *Aspergillus fumigatus* in mammalian cells**

第49回マイコトキシン研究会学術講演会(2005.9)

* 千葉大学

小西良子: **実験動物を用いたカビ毒の毒性評価**

第50回マイコトキシン研究会学術講演会シンポジウム
(2006. 1)

八代千恵^{*}, 服部一夫^{*}, 滝田聖親^{*}, 小西良子: **カビ毒の次世代免疫毒性に関する研究**

日本免疫毒性学会学術大会 第12回学術講演会 (2005. 9)

^{*}東京農業大学応用生物科学部

水谷浩平^{*1}, 望月直樹^{*2}, 熊谷 進^{*1}, 小西良子: **LC/MS/MSを用いたルテオスカイリン分析法の検討**

日本食品衛生学会第90回学術講演会 (2005. 10)

^{*1} 東京大学大学院農学生命科学科

^{*2} アサヒビール(株)

青山幸二^{*1}, 石黒瑛一^{*1}, 中島正博^{*2}, 堤 徹^{*3}, 法月廣子^{*3}, 大須賀裕美^{*4}, 藤田和弘^{*4}, 甲斐茂美^{*5}, 田端節子^{*6}, 田中敏嗣^{*7}, 伊藤嘉典, 小西良子, 田中宏輝, 熊谷 進^{*8}: **日本に流通する食品中のフモニシン汚染実態調査**

日本食品衛生学会第90回学術講演会 (2005. 10)

^{*1}(独)肥飼料検査所

^{*2} 名古屋市衛生研究所

^{*3}(財)日本穀物検定協会

^{*4}(財)日本食品分析センター名古屋支所

^{*5} 神奈川県衛生研究所

^{*6} 東京都健康安全研究センター

^{*7} 神戸市環境保健研究所

^{*8} 東京大学大学院農学生命科学科

中島正博^{*1}, 青山幸二^{*2}, 石黒瑛一^{*2}, 堤 徹^{*3}, 法月廣子^{*3}, 大須賀裕美^{*4}, 藤田和弘^{*4}, 甲斐茂美^{*5}, 田端節子^{*6}, 田中敏嗣^{*7}, 伊藤嘉典, 小西良子, 熊谷 進^{*8}: **日本に流通する食品中のアフラトキシンおよびオクラトキシンA汚染実態調査(平成16年度)**

日本食品衛生学会第88回学術講演会 (2005. 10)

^{*1}(独)肥飼料検査所

^{*2} 名古屋市衛生研究所

^{*3}(財)日本穀物検定協会

^{*4}(財)日本食品分析センター名古屋支所

^{*5} 神奈川県衛生研究所

^{*6} 東京都健康安全研究センター

^{*7} 神戸市環境保健研究所

^{*8} 東京大学大学院農学生命科学科

Kubosaki, A. and Sugita-Konishi, Y.: **Production of Reactive Oxygen Species Following Aflatoxins Exposure in Human Hepatoma Cell Line**

UJNR meeting (2005. 11)

Sugita-Konishi, Y. and Kumagai, S.^{*}: **Occurrence of Aflatoxins, Ochratoxin A and Fumonisin in Retailed Foods in Japan**

UJNR meeting (2005. 11)

^{*}東京大学大学院農学生命科学科

Park, B.J., Sugita-Konishi, Y., Kamei, K.^{*}, Aihara, M. and Takatori, K.: **Mycotoxigenic *Aspergillus fumigatus* and cytotoxic effects of mycotoxins produced by *A. fumigatus***

UJNR meeting (2005. 11)

^{*}千葉大学

Sugita-Konishi, Y., Yashiro, C.^{*1}, Hattori, K.^{*1}, Tsunoda, M.^{*2} and T. Takita, T.^{*1}: **Immunosuppressive effect on F1 generation mice following gestational exposure to T-2 toxin**

Annual Meeting of Society of Toxicology (2006. 3)

^{*1} 東京農業大学応用生物科学部

^{*2} 北里大学医学部

Park, B.J., Kamei, K.^{*1}, Park, J.C.^{*2}, Sugita-Konishi, Y. and Takatori, K.: **Comparison between clinical and environmental isolates of *Aspergillus fumigatus* on the expression of cytokine genes in human cells**

2 nd Advances against Aspergillosis (2006. 2)

^{*1} 千葉大学

^{*2} Yonsei University College of Medicine

松田瑛奈^{*}, 朴奉柱, 葉袋裕二^{*}, 芳賀 実^{*}, 小西良子: **トリコセセン系マイコトキシンのマクロファージへのサイトカイン産生能**

日本農芸化学会2006年度大会

^{*}玉川大学農学部

濱田美影^{*1}, 薩 秀夫^{*1}, 夏目やよい^{*1}, 西海 信^{*2}, 芦田 均^{*2}, 小西良子, 水谷浩平^{*1}, 清水 誠^{*1}: **腸管吸収を考慮したフラボノイド類のダイオキシン毒性発現抑制効果の解析**

日本農芸化学会2006年度大会

^{*1} 東大院農生科・応生化

^{*2} 神戸大院自科・生機化

田村憲美津^{*}, 好田 正^{*}, 小西良子, 服部 誠^{*}: **アロエ由来成分による腸管感染症予防**

日本農芸化学会2006年度大会

^{*}東農工大農・応生科

奥田晴宏: **法改正と設計領域**

第4回医薬品品質フォーラム (2005. 7)

奥田晴宏: **品質保証の新展開 - ICHガイドラインQ8「製剤開発」と薬事法改正**

第15回固形製剤処方研究会シンポジウム (2005. 11)

奥田晴宏: **品質に関するトピックの動向 - Q8**

第13回ICH即時報告会 (2005. 12)

奥田晴宏: **品質保証の国際動向と改正薬事法の運用**

第5回医薬品添加剤セミナー (2006. 2)

奥田晴宏: **新しい品質保証システムとしてのICHQ8**

「製剤開発」とそのインパクト

第19回インターフェックスジャパン専門技術セミナー
(2006.5)

福原 潔, 中西郁夫^{*1,2}, 松村友博^{*3}, 斎藤慎一^{*3}, 宮田直樹^{*4}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}, 奥田晴宏: **レスベラトロールをシースとした新規抗酸化剤の開発**

第28回日本フリーラジカル学会学術集会(2006.5)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*3}東京理科大学

^{*4}名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫^{*1,2}, 大久保敬^{*2}, 川島知憲^{*1,2,3}, 川口久美子^{*1,2,3}, 乳井奈美子^{*1}, 田草川光子^{*1}, 末延和義^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 金澤秀子^{*3}, 宮田直樹^{*4}, 小澤俊彦^{*1}, 安西和紀^{*1}, 福住俊一^{*2}, 伊古田暢夫^{*1}: **水溶性C70フラランの光反応による活性酸素生成とDNA切断**

第28回日本フリーラジカル学会学術集会(2006.5)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*3}共立薬科大学

^{*4}名古屋市立大学大学院薬学研究科

川島知憲^{*1,2,3}, 中西郁夫^{*1,3}, 宇都義浩^{*4}, 大久保敬^{*3}, Sushma Manda^{*1}, 金澤秀子^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 永澤秀子^{*4}, 堀 均^{*4}, 福住俊一^{*3}, 安西和紀^{*1}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}: **天然および合成4-プロベニルフェノール誘導体のラジカル消去活性**

第28回日本フリーラジカル学会学術集会(2006.5)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}共立薬科大学

^{*3}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*4}徳島大学

福原 潔, 箱田奈南^{*1}, 及川伸二^{*1}, 平工雄介^{*1}, 境保統^{*2}, 斎藤慎一^{*2}, 宮田直樹^{*3}, 川西正祐^{*1}, 奥田晴宏: **光線力学療法剤の開発: 9-ニトロアントラセン誘導体からのアントラキノン生成とDNA切断反応**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}三重大学大学院医学系研究科

^{*2}東京理科大学

^{*3}名古屋市立大学大学院薬学研究科

川島知憲^{*1,2,3}, 中西郁夫^{*1,3}, 薬丸晴子^{*1}, 乳井美奈子^{*1}, 大久保敬^{*3}, 金澤秀子^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 福住俊一^{*3}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}: **分子内に塩基性部位を有するビタミンE誘導体の合成とラジカル消去活性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}共立薬科大学

^{*3}大阪大学大学院工学研究科・SORST

中西郁夫^{*1,2}, 川島知憲^{*1,2,3}, 川口久美子^{*1,2,3}, 大久保敬^{*2}, 乳井美奈子^{*1}, 田草川光子^{*1}, 末延和義^{*2}, 福原

潔, 伊藤 攻^{*4}, 奥田晴宏, 金澤秀子^{*3}, 宮田直樹^{*5}, 小澤俊彦^{*1}, 福住俊一^{*2}, 伊古田暢夫^{*1}: **水溶性C70-シクロデキストリン錯体による光DNA切断**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*3}共立薬科大学

^{*4}東北大学

^{*5}名古屋市立大学大学院薬学研究科

川島知憲^{*1,2,3}, 中西郁夫^{*1,3}, 宇都義浩^{*4}, 大久保敬^{*3}, 鈴木桂子^{*1}, 川口久美子^{*1}, 金澤秀子^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 永澤秀子^{*4}, 堀 均^{*4}, 福住俊一^{*3}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}: **4-プロベニルフェノール構造を有する抗酸化物質のラジカル消去活性の評価**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}共立薬科大学

^{*3}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*4}徳島大学

Kawashima, T.^{*1,2,3}, Nakanishi, I.^{*1,3}, Manda, S.^{*1}, Fukuhara, K., Okuda, H., Nagasawa, H.^{*4}, Hori, H.^{*4}, Anzai, K.^{*1}, Ozawa, T.^{*1}, Fukuzumi, S.^{*3} and Ikota, N.^{*1}: **Radical-Scavenging Activity of Natural Antioxidants Having 4-Propenylphenol Structures**

XXth Annual Meeting of the Oxygen Club of California
(2006.3)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}共立薬科大学

^{*3}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*4}徳島大学

Nakanishi, I.^{*1,2}, Kawashima, T.^{*1,2,3}, Tada, A.^{*4}, Yakumaru, H.^{*1}, Ohkubo, K.^{*2}, Kanazawa, H.^{*3}, Urano, S.^{*4}, Okuda, H., Miyata, N.^{*5}, Anzai, K.^{*1}, Ozawa, T.^{*1}, Fukuzumi, S.^{*2}, Ikota, N.^{*1} and Fukuhara, K.: **Synthesis and Radical-Scavenging Activity of Planar Catechin Derivatives Having Alkyl Side Chains**

XXth Annual Meeting of the Oxygen Club of California
(2006.3)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}大阪大学大学院工学研究科・SORST

^{*3}共立薬科大学

^{*4}芝浦工業大学

^{*5}名古屋市立大学大学院薬学研究科

川島知憲^{*1,2,3}, 中西郁夫^{*1,3}, 宇都義浩^{*4}, 大久保敬^{*3}, 金澤秀子^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 永澤秀子^{*4}, 堀 均^{*4}, 福住俊一^{*3}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}: **4-プロベニルフェノール誘導体およびビタミンEモデルのラジカル消去活性**

第17回ビタミンE研究会(2006.1)

^{*1}放射線医学総合研究所

^{*2}共立薬科大学

*3 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*4 徳島大学

Fukuhara, K., Nakanishi, I. ^{*1,2}, Kawashima, T. ^{*1,2,3}, Yakumaru, H. ^{*1}, Kanazawa, H. ^{*3}, Okuda, H., Ohkubo, K. ^{*2}, Ozawa, T. ^{*1}, Fukuzumi, S. ^{*2}, Ikota, N. ^{*1}: **Enhanced radical-scavenging activities of planar catechin derivatives having alkyl side chains**

Pacificchem 2005 (2005. 12)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 共立薬科大学

Nakanishi, I. ^{*1,2}, Nishizawa, C. ^{*1,3}, Ohkubo, K. ^{*2}, Takeshita, K. ^{*4}, Suzuki, T. ^{*3}, Ozawa, T. ^{*1}, Hecht, S. M. ^{*5}, Tanno, M., Sueyoshi, S., Takusagawa, M. ^{*1}, Miyata, N. ^{*6}, Okuda, H., Fukuzumi, S. ^{*2}, Ikota, N. ^{*1} and Fukuhara, K.: **Hydroxyl Radical Generation via One-Electron Reduction of Pyridine N-Oxides as a Key Structure of Antitumor Agents for Hypoxic Solid Tumours**

Pacificchem 2005 (2005. 12)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 千葉大学大学院薬学研究科

*4 崇城大学

*5 ヴァージニア大学

*6 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Nakanishi, I. ^{*1,2}, Kawashima, T. ^{*1,2,3}, Nyui, M. ^{*1}, Kawaguchi, K. ^{*1,2,3}, Ohkubo, K. ^{*2}, Kanazawa, H. ^{*3}, Inami, K. ^{*3}, Mochizuki, M. ^{*3}, Fukuhara, K., Okuda, H., Ozawa, T. ^{*1}, Itoh, S. ^{*4}, Fukuzumi, S. ^{*2} and Ikota, N. ^{*1}: **Solvent Effect on the Radical-Scavenging Mechanism of Phenolic Antioxidants**

Pacificchem 2005 (2005. 12)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 共立薬科大学

*4 大阪市立大学

福原 潔：新しい合成抗酸化剤を目指して
第20回日本フリーラジカル学会関東支部会 (2005. 12)

福原 潔, 中西郁夫 ^{*1,2}, 浦野四郎 ^{*3}, 小澤俊彦 ^{*1}, 伊古田暢夫 ^{*1}, 宮田直樹 ^{*4}, 奥田晴宏：カテキンをテンプレートとした新規化学予防物質の開発

第24回メディシナルケミストリーシンポジウム (2005. 11)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 芝浦工業大学

*4 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔：Planar Catechin Analogue: a New Type of Synthetic Antimutagen Derived from Natural Antioxidant

第34回日本環境変異原学会 (2005. 11)

福原 潔, 中西郁夫 ^{*1,2}, 川村義彦 ^{*3}, 川島知憲 ^{*1,2,4}, 金澤秀子 ^{*4}, 浦野四郎 ^{*3}, 小澤俊彦 ^{*1}, 伊古田暢夫 ^{*1}, 石井明子, 川崎ナナ, 川西 徹, 宮田直樹 ^{*5}, 奥田晴宏：Enhanced radical-scavenging activities and cell growth inhibitions of planar catechin analogues having alkyl side chains

第34回日本環境変異原学会 (2005. 11)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 芝浦工業大学

*4 共立薬科大学

*5 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Kawashima, T. ^{*1,2,3}, Nakanishi, I. ^{*1,3}, Nyui, M. ^{*1}, Yakumaru, H. ^{*1}, Ohkubo, K. ^{*3}, Kanazawa, H. ^{*2}, Okuda, H., Fukuzumi, S. ^{*2}, Ozawa, T. ^{*1}, Fukuhara, K. and Ikota, N. ^{*1}: **Base-Catalyzed Radical-Scavenging Reactions by Phenolic Antioxidants**

12th Annual Meeting of the Society for Free Radical Biology and Medicine (2005. 11)

*1 放射線医学総合研究所

*2 共立薬科大学

*3 大阪大学大学院工学研究科・SORST

福原 潔, 中西郁夫 ^{*1,2}, 石井明子, 川崎ナナ, 川西徹, 浦野四郎 ^{*3}, 小澤俊彦 ^{*1}, 宮田直樹 ^{*4}, 伊古田暢夫 ^{*1}, 奥田晴宏：カテキンの立体構造固定による抗酸化効果の増強と生物作用

第20回生体機能関連化学シンポジウム (2005. 9)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*3 芝浦工業大学

*4 共立薬科大学

*5 名古屋市立大学大学院薬学研究科

川島知憲 ^{*1,2,3}, 中西郁夫 ^{*1,3}, 宇都義浩 ^{*4}, 大久保敬 ^{*3}, 川口久美子 ^{*1,2,3}, 金澤秀子 ^{*2}, 福原 潔, 奥田晴宏, 永沢秀子 ^{*4}, 堀 均 ^{*4}, 福住俊一 ^{*2}, 小澤俊彦 ^{*1}, 伊古田暢夫 ^{*1}：4-プロペニルフェノール誘導体のラジカル消去活性

第20回生体機能関連化学シンポジウム (2005. 9)

*1 放射線医学総合研究所

*2 共立薬科大学

*3 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*4 徳島大学

西澤千穂 ^{*1,2}, 中西郁夫 ^{*1,3}, 大久保敬 ^{*3}, 竹下啓蔵 ^{*4}, 鈴木和夫 ^{*2}, 宮田直樹 ^{*5}, 奥田晴宏, 福住俊一 ^{*3}, 小澤俊彦 ^{*1}, 伊古田暢夫 ^{*1}, 福原 潔：NADH 誘導体によるピリジンN-オキシド誘導体の光還元による活性酸素生成

第20回生体機能関連化学シンポジウム (2005. 9)

*1 放射線医学総合研究所

*2 千葉大学大学院薬学研究科

*³ 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*⁴ 崇城大学

*⁵ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

箱田奈南^{*1}, 福原 潔, 及川伸二^{*1}, 及川佐枝子^{*1}, 平工雄介^{*1}, 奥田晴宏, 宮田直樹^{*2}, 川西正祐^{*1}: **紫外線照射下におけるアントラセン誘導体によるDNA損傷**

第64回日本癌学会学術総会(2005.9)

*¹ 三重大学大学院医学系研究科

*² 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 石井明子, 川崎ナナ, 川西 徹, 宮田直樹*, 奥田晴宏: **脂溶性平面型カテキンの抗酸化作用とがん細胞増殖阻害効果**

第64回日本癌学会学術総会(2005.9)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 奥田晴宏: **がん予防を目的とした天然カテキンの誘導化**

第11回日本がん予防研究会(2005.7)

川島知憲^{*1,2,3}, 中西郁夫^{*1,3}, 乳井美奈子^{*1}, 川口久美子^{*1,2,3}, 大久保敬^{*3}, 金澤秀子^{*2}, 奥田晴宏, 福原 潔, 福住俊一^{*3}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}: **プロトン性溶媒中におけるフェノール性抗酸化剤のラジカル消去反応に対する金属イオンの触媒作用**

第15回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(2005.6)

*¹ 放射線医学総合研究所

*² 共立薬科大学

*³ 大阪大学大学院工学研究科・SORST

福原 潔, 中西郁夫^{*1,2}, 小原美紀^{*3}, 小澤俊彦^{*1}, 伊古田暢夫^{*1}, 宮田直樹^{*4}, 斎藤慎一^{*3}, 奥田晴宏: **新規抗酸化物質の開発 - 平面型カテキン誘導体へのリジンの導入 -**

第27回日本フリーラジカル学会学術集会(2005.6)

*¹ 放射線医学総合研究所

*² 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*³ 東京理科大学

*⁴ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫^{*1,2}, 川島知憲^{*1,2,3}, 乳井美奈子^{*1}, 薬丸晴子^{*1}, 川口久美子^{*1,2,3}, 大久保敬^{*2}, 金澤秀子^{*3}, 奥田晴宏, 福住俊一^{*2}, 小澤俊彦^{*1}, 福原 潔, 伊古田暢夫^{*1}: **フェノール性抗酸化剤のラジカル消去反応における塩基触媒作用**

第27回日本フリーラジカル学会学術集会(2005.6)

*¹ 放射線医学総合研究所

*² 大阪大学大学院工学研究科・SORST

*³ 共立薬科大学

出水庸介^{*1,2}, 田中正一^{*1}, 土井光暢^{*3}, 栗原正明, 丸山徳見^{*2}, 末宗 洋^{*1}: **側鎖上に不斉中心を持つアミノ酸とそのオリゴペプチドの二次構造**

第3回次世代を担う有機化学シンポジウム(2005.5)

*¹ 九州大学薬学部

*² 徳島文理大学香川薬学部

*³ 大阪薬科大学

長野正展^{*1}, 出水庸介^{*1}, 田中正一^{*1}, 栗原正明, 土井光暢^{*2}, 末宗 洋^{*1}: **α 位と γ 位に不斉中心を有する環状 α,α -ジ置換アミノ酸の合成とそのペプチド**

化学関連支部合同九州大会(2005.7)

*¹ 九州大学薬学部

*² 大阪薬科大学

杉山 亨^{*1}, 今村保忠^{*1}, 袴田 航, 栗原正明, 橘高敦史^{*2}: **ペプチド核酸の二本鎖DNAへの協同的ストランドインバージョン**

第4回国際核酸化学シンポジウム(第32回核酸化学シンポジウム)(2005.9)

*¹ 東京大学教養学部

*² 帝京大学薬学部

袴田 航, 室井 誠^{*1}, 西尾俊幸^{*2}, 奥 忠武^{*2}, 高月昭^{*3}, 長田裕之^{*1}, 福原 潔, 奥田晴宏, 栗原正明: **糖鎖プロセシング酵素を分子標的とする創薬を目指して**

第13回糖質関連酵素化学シンポジウム(2005.9)

*¹ 理化学研究所

*² 日本大学生物資源科学部

*³ 法政大学工学部

袴田 航, 室井 誠^{*1}, 増田 雄^{*2}, 西尾俊幸^{*2}, 奥忠武^{*2}, 長田裕之^{*1}, 奥田晴宏, 栗原正明, 福原 潔: **グルコシダーゼ阻害活性を有するカテキン誘導体の抗ウイルス活性**

日本応用糖質科学会平成17年度大会(2005.9)

*¹ 理化学研究所

*² 日本大学生物資源科学部

増田 雄*, 袴田 航, 西尾俊幸*, 奥 忠武*, 奥田晴宏, 栗原正明: **小胞体マンノシダーゼの基質特異性に関する研究**

日本応用糖質科学会平成17年度大会(2005.9)

* 日本大学生物資源科学部

本澤 忍^{*1}, 高橋尚志^{*1}, 山下 純^{*1}, 杉浦隆之^{*1}, 栗原正明, 荒井 緑^{*1}, 加藤茂明^{*2}, 橘高敦史^{*1}: **変異VDR(Arg274Leu)に対するリガンドの設計: 1 α -methyl-2 α -hydroxypropyl-25-hydroxyvitamin D₃の合成**

第49回日本薬学会関東支部大会(2005.10)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 東京大学分子細胞生物学研究所

Kawabe, N. *, Demizu, Y. *, Tanaka, M. *, Kurihara, M., and Suemune, H. *: **Synthesis of Various Chiral Cyclic α,α -Disubstituted Amino Acids and Conformational Analysis of Their Peptides**

第42回ペプチド討論会(2005.10)

*九州大学薬学部

Nagano, M.^{*1}, Demizu, Y.^{*1}, Tanaka, M.^{*1}, Kurihara, M., Doi, M.^{*2}, Suemune, H.^{*1}: **Chiral Cyclic α,α -Disubstituted α -Amino Acids Bearing Two Chiral Centers and Conformation of Their Peptides**

第42回ペプチド討論会(2005.10)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}大阪薬科大学

Kurihara, M., Sato, Y., Hakamata, W., Okuda, H., Demizu, Y.^{*1}, Nagano, M.^{*1}, Kawabe, N.^{*1}, Doi, M.^{*2}, Tanaka, M.^{*1}, Suemune, H.^{*1}: **Computational Study on Conformation of Oligopeptides Containing Chiral Cyclic α,α -Disubstituted α -Amino Acids**

第42回ペプチド討論会(2005.10)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}大阪薬科大学

栗原正明, 袴田 航, 重永志保, 佐藤由紀子, 奥田晴宏, 齋藤 望*, 本澤 忍*, 岸本成史*, 杉浦隆之*, 和久敬蔵*, 橘高敦史*: **ビタミンD レセプターの非天然型リガンドの設計と合成**

第31回反応と合成の進歩シンポジウム(2005.11)

*帝京大学薬学部

出水庸介^{*1,2}, 丸山徳見^{*2}, 田中正一^{*1}, 末宗 洋^{*1}, 土井光暢^{*3}, 栗原正明: **右巻き α -ヘリックス形成能を有するキラル環状 α,α -ジ置換アミノ酸の合成とその機能**

第31回反応と合成の進歩シンポジウム(2005.11)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}徳島文理大学香川薬学部

^{*3}大阪薬科大学

本澤 忍^{*1}, 高橋尚志^{*1}, 山下 純^{*1}, 杉浦隆之^{*1}, 栗原正明, 荒井 緑^{*1}, 加藤茂明^{*2}, 橘高敦史^{*1}: **変異受容体への親和性回復を目指したビタミンD誘導体の設計**

第31回反応と合成の進歩シンポジウム(2005.11)

^{*1}帝京大学薬学部

^{*2}東京大学分子細胞生物学研究所

河辺直美*, 田中正一*, 出水庸介*, 栗原正明, 末宗 洋*: **官能基を有する環状 α,α -ジ置換アミノ酸とそのペプチドの設計・合成**

第22回日本薬学会九州支部大会(2005.12)

*九州大学薬学部

Honzawa, S.^{*1}, Yamashita, A.^{*1}, Saito, N.^{*1}, Kishimoto, S.^{*1}, Sugiura, T.^{*1}, Waku, K.^{*1}, Kato, S.^{*2}, Kurihara, M., Kittaka, A.^{*1}: **Syntheses and Biological Activities of 1- and 2 α -Doubly Modified Vitamin D₃ Analogs**

PACIFICHEM 2005 (2005.12)

^{*1}帝京大学薬学部

^{*2}東京大学分子細胞生物学研究所

Honzawa, S.^{*1}, Takahashi, N.^{*1}, Yamashita, A.^{*1}, Saito, N.^{*1}, Kishimoto, S.^{*1}, Sugiura, T.^{*1}, Waku, K.^{*1}, Kato, S.^{*2}, Kurihara, M., Kittaka, A.^{*1}: **Introduction of 1 α -Methyl Group to Vitamin D₃, Directed Toward a Ligand for Mutant Receptor**

PACIFICHEM 2005 (2005.12)

^{*1}帝京大学薬学部

^{*2}東京大学分子細胞生物学研究所

本澤 忍^{*1}, 高橋尚志^{*1}, 山下 純^{*1}, 杉浦隆之^{*1}, 栗原正明, 荒井 緑^{*1}, 加藤茂明^{*2}, 橘高敦史^{*1}: **1-Methyl-2 α -hydroxypropyl-25-hydroxyvitamin D₃ の1位の立体化学が生物活性に及ぼす影響**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}帝京大学薬学部

^{*2}東京大学分子細胞生物学研究所

飯岡雅也, 重永志保, 佐藤由紀子, 袴田 航, 奥田晴宏, 栗原正明: **ビタミンD レセプターリガンドLG190178の光学異性体の合成**

日本薬学会第126年会(2006.3)

長野正展^{*1}, 出水庸介^{*1}, 田中正一^{*1}, 栗原正明, 土井光暢^{*2}, 末宗 洋^{*1}: **α 位と γ 位に不斉中心を有するキラル環状 α,α -ジ置換アミノ酸よりなるペプチドの2次構造**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}大阪薬科大学

河辺直美^{*1}, 出水庸介^{*1}, 田中正一^{*1}, 土井光暢^{*2}, 栗原正明, 末宗 洋^{*1}: **環状ジ置換アミノ酸の側鎖上官能基の変換とそのペプチドの二次構造**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}大阪薬科大学

杉山 亨^{*1}, 今村保忠^{*1}, 袴田 航, 栗原正明, 橘高敦史^{*2}: **ペプチド核酸のストランドインバージョンにおける協同性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}東京大学教養学部

^{*2}帝京大学薬学部

本澤 忍*, 栗原正明, 橘高敦史*: **グルタミン酸をキラル源とした1位炭素置換活性型ビタミンD₃新規誘導体の合成**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*帝京大学薬学部

重永志保, 飯岡雅也, 増田 雄, 佐藤由紀子, 袴田 航, 奥田晴宏, 齋藤 望*, 本澤 忍*, 橘高敦史*, 栗原正明: **セコステロイド骨格を持たないビタミンD レセプターのリガンドの設計と合成**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*帝京大学薬学部

佐藤由紀子, 袴田 航, 奥田晴宏, 出水庸介^{*1}, 長野正展^{*1}, 河辺直美^{*1}, 土井光暢^{*2}, 田中正一^{*1}, 末宗 洋^{*1}, 栗原正明: **化学計算によるキラル環状 α, α -ジ置換アミノ酸を含むオリゴペプチドのコンフォメーション解析**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}大阪薬科大学

袴田 航, 奥田晴宏, 栗原正明: **固相反応を用いた¹⁸Fの導入法の開発**
日本薬学会第126年会(2006.3)

袴田 航, 室井 誠^{*}, 長田裕之^{*}, 福原 潔, 奥田晴宏, 栗原正明: **新興ウイルス感染症に対する新規抗ウイルス剤の開発 - 糖鎖プロセシング酵素を分子標的として -**

日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*}理化学研究所

袴田 航, 増田 雄^{*}, 西尾俊幸^{*}, 奥 忠武^{*}, 奥田晴宏, 栗原正明: **小胞体マンノシダーゼの基質特異性解明に関する研究**

2006年 日本農芸化学会(2006.3)

^{*}日本大学

朝川直行^{*}, 手島玲子, 美宅成樹^{*}: **物理化学的性質に注目したアレルギーエピトープ候補の抽出法**

第5回日本蛋白質科学会年会(2005.6)

^{*}名古屋大学

Nakamura, R., Okunuki, H., Ishida, S., Ozawa, S., Saito, Y., Teshima, R. and Sawada, J.: **Gene expression profiling of glucocorticoid-treated mast cells**

The World Allergy Congress in Munich(2005.6)

手島玲子, 奥貫晴代, 中村亮介, 穠山 浩, 米谷民雄, 澤田純一: **W/W^vマウスの卵白アルブミン(OVA)経口投与によるASA誘導ならびにPAFの作用について**
第6回Pharmaco-Hematologyシンポジウム(2005.7)

斎藤嘉朗, 祖山晃子, 前川京子, 小澤正吾, 駒村和雄^{*1}, 鎌倉史郎^{*1}, 北風政史^{*1}, 友池仁暢^{*1}, 須貝研司^{*2}, 南成祐^{*2}, 加藤昌明^{*2}, 斎藤 治^{*2}, 川井 充^{*2}, 大沼悌一^{*2}, 大槻泰介^{*2}, 鈴木智恵子^{*2}, 木村英夫^{*2}, 後藤雄一^{*2}, 鎌谷直之^{*3}, 澤田純一: **日本人における薬物代謝酵素CYP1A2の遺伝子多型探索とハプロタイプ解析**
日本人類遺伝学会第50回大会(2005.9)

^{*1}国立循環器病センター

^{*2}国立精神・神経センター

^{*3}東京女子医科大学

前川京子, 井戸田昌也, 佐井君江, 斎藤嘉朗, 鹿庭なほ子, 白尾国昭^{*1}, 國頭英夫^{*1}, 濱口哲弥^{*1}, 山本 昇^{*1}, 田村友秀^{*1}, 南 博信^{*1}, 久保田馨^{*1}, 大津 敦^{*1}, 吉

田輝彦^{*1}, 西條長宏^{*1}, 鎌谷直之^{*2}, 小澤正吾, 澤田純一: **日本人におけるABCG2の遺伝子多型の検出**
日本人類遺伝学会第50回大会(2005.9)

^{*1}国立がんセンター

^{*2}東京女子医科大学

中村亮介, 手島玲子, 高木加代子, 澤田純一: **食物アレルギーの予測とバイオインフォマティクス~アレルギーデータベースの構築と利用~**
第12回免疫毒性学会(2005.9)

手島玲子, 中村亮介, 澤田純一: **マスト細胞からのケモカイン遊離並びにバイオマーカーの探索**
第12回免疫毒性学会(2005.9)

新藤智子^{*}, 金澤由基子^{*}, 古谷真美^{*}, 田面喜之^{*}, 小島幸一^{*}, 手島玲子: **経口感作および経口惹起によるマウスの食物アレルギーモデル(4)**

第12回免疫毒性学会(2005.9)

^{*}食品薬品安全センター

吉松嘉代^{*}, 木内文之^{*}, 手島玲子, 長尾 拓: **薬用GM植物の開発状況・生産実態の調査**

日本生薬学会第52回年会(2005.9)

^{*}医薬基盤研究所

Nakamura, R., Teshima, R., Takagi, K., Kitani, S. and Sawada, J.: **Functional analysis of three isoforms of high-affinity receptors for IgG on the canine mastocytoma CM-MC cells**

第78回日本生化学会大会(2005.10)

斎藤嘉朗, 埴岡伸光^{*}, 前川京子, 磯部隆史^{*}, 経遠祐美^{*}, 中村亮介, 祖山晃子, 小澤正吾, 成松鎮雄^{*}, 澤田純一: **日本人で見いだされた薬物代謝酵素CYP1A2遺伝子多型の機能解析**

第78回日本生化学会大会(2005.10)

^{*}岡山大学

高木加代子, 手島玲子, 奥貫晴代, 蜂須賀暁子, 澤田純一, 大沢基保^{*1}, 吉田貴彦^{*2}: **一般小児血清中の免疫指標調査 - IgE, TARCおよびIP-10濃度について -**

日本アレルギー学会第55回秋季学術大会(2005.10)

^{*1}帝京大学

^{*2}旭川医科大学

澤田純一: **遺伝子組換え食品の安全性評価について**
日本農学会シンポジウム(2005.10)

手島玲子, 長尾 拓: **バイオテクノロジー応用食品の安全性に関する基本的考え方**

第8回食品薬学シンポジウム(2005.11)

手島玲子: **遺伝子組換え食品の活用とその問題点 - これからの展望 -**

第9回日本病態栄養学会年次学術集会(2006.1)

児矢野聡, 高木加代子, 手島玲子, 澤田純一: **そば16-kDa アレルゲンの組換えタンパク質の調製及びアレルギ一患者血清との反応性について**
日本薬学会第126年会(2006.3)

斎藤嘉朗, 福島(上坂)浩実, 前川京子, 長谷川隆一, 梶尾 裕^{*1}, 葛谷信明^{*1}, 安田和基^{*1}, 川本 学^{*2}, 鎌谷直之^{*2}, 鈴木佳寿子^{*3}, 柳川達生^{*3}, 頭金正博, 澤田純一: **日本人における薬物代謝酵素CYP2C19の遺伝子多型探索及びハプロタイプ解析**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 国立国際医療センター

^{*2} 東京女子医科大学

^{*3} 練馬総合病院

蜂須賀暁子, 児矢野聡, 菊池 裕, 中島 治, 青笹正義^{*}, 松田治男^{*}, 手島玲子, 澤田純一: **抗マウスプリオンペプチドフェージ1本鎖抗体について**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*} 広島大院生物圏科学

中村亮介, 手島玲子, 高木加代子, 澤田純一: **アレルゲンデータベースADFS (Allergen Database for Food Safety) の構築**
日本薬学会第126年会(2006.3)

前川京子, 福島(上坂)浩実, 頭金正博, 長谷川隆一, 梶尾 裕^{*1}, 葛谷信明^{*1}, 安田和基^{*1}, 川本 学^{*2}, 鎌谷直之^{*2}, 鈴木佳寿子^{*3}, 柳川達生^{*3}, 斎藤嘉朗, 澤田純一: **日本人における薬物代謝酵素CYP2C9の遺伝子多型の探索及びハプロタイプ解析**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 国立国際医療センター

^{*2} 東京女子医科大学

^{*3} 練馬総合病院

手島玲子, 米谷民雄, 森本隆夫^{*1}, 中山一成^{*1}, 藤田博喜^{*2}, 磯村公郎^{*3}, 杉山英男^{*4}, 池淵秀治^{*5}, 佐治英郎^{*6}: **イオン交換法によるストロンチウム90の定量**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*1} 日本分析センター

^{*2} 核燃料サイクル開発機構

^{*3} 兵庫県立健康環境科学研究所

^{*4} 国立保健医療科学院

^{*5} 日本アイソトープ協会

^{*6} 京都大学

大谷早紀, 平山明子, 安達玲子, 鈴木和博, 笠原 忠^{*}: **白血球の走化性におけるコフィリンの役割**
第6回Pharmaco-Hematologyシンポジウム(2005.7)
^{*} 共立薬科大学

Otani, S., Watanabe, Y., Adachi, R., Kasahara, T.^{*} and

Suzuki, K.: **The effects of oxidative stress-inducing chemicals on differentiation of promyelocytic HL-60 cells**
第78回日本生化学会(2005.10)

^{*} 共立薬科大学

平山明子, 安達玲子, 大谷早紀, 笠原 忠^{*}, 鈴木和博: **好中球のケモタキシスにおけるコフィリンリン酸化の調節機構**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*} 共立薬科大学

大谷早紀, 渡邊裕佳, 安達玲子, 笠原 忠^{*}, 鈴木和博: **食細胞の分化に対する酸化ストレス誘起性物質の影響**
日本薬学会第126年会(2006.3)

^{*} 共立薬科大学

Adachi, R. and Suzuki, K.: **Lyn, one of the Src-family tyrosine kinases expressed in phagocytes, is an important signaling factor in opsonized zymosan-activated macrophage-like U937 cells**
第78回日本生化学会大会(2005.10)

為広紀正, 河原陽介^{*1}, 吉田武美^{*1}, 植田和光^{*2}, 横山信治^{*3}, 最上(西巻)知子: **VerapamilによるABCA1遺伝子の転写活性化機構**
第78回日本生化学会大会(2005.10)

^{*1} 昭和大学薬学部

^{*2} 京都大学大学院農学研究科

^{*3} 名古屋市立大学大学院医学研究科

最上(西巻)知子, 為広紀正, 佐藤陽治, 大野泰雄, 長尾拓, 井上和秀, 橋本敏弘^{*}, 浅川義範^{*}: **苔類由来Riccardin CによるHDL産生の促進**
第15回天然薬物の開発と応用シンポジウム(2005.11)

^{*} 徳島文理大学薬学部

為広紀正, 佐藤陽治, 橋本敏弘^{*}, 浅川義範^{*}, 長尾拓, 井上和秀, 最上(西巻)知子: **苔由来化合物Riccardin CはLXR α アゴニスト/LXR β アンタゴニストとして機能する**
日本レチノイド研究会第16回学術集会(2005.11)

^{*} 徳島文理大学薬学部

Nishimaki-Mogami, T., Tamehiro, N., Sato, Y., Hashimoto, T.^{*}, Asakawa Y.^{*}, Ohno Y., Inoue, K. and Nagao, T.: **Identification of a natural product ligand riccardin C that functions as a liver X receptor (LXR) α agonist and an LXR β antagonist**

Keystone Symposia, Nuclear Receptors: Orphan Brothers (X3)(2006.3)

^{*} 徳島文理大学薬学部

為広紀正, 河原陽介^{*1}, 吉田武美^{*1}, 植田和光^{*2}, 横山信治^{*3}, 鈴木和博, 長尾 拓, 最上(西巻)知子: **VerapamilによるABCA1遺伝子転写活性化機構**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 昭和大学薬学部

*² 京都大学大学院農学研究科

*³ 名古屋市立大学大学院医学研究科

重本(最上)由香里, 為広紀正, 橋本敏弘*, 浅川義範*, 鈴木和博, 長尾 拓, 最上(西巻)知子: **新規LXR α 選択的アゴニストRiccardin CのHDL産生促進効果**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 徳島文理大学薬学部

Okuhira, K., Fitzgerald, M.L.*, Freeman, M.W.*: **Proteomic and functional analysis of ABCA1 efflux complex reveals the importance of a β 1-syntrophin interaction**

American Heart Association, scientific sessions 2005 (2005.11)

*Massachusetts General Hospital / Harvard Medical School

奥平桂一郎, Michael L. Fitzgerald* and Mason W. Freeman*: **ABCA1相互作用タンパク質 β 1-syntrophinによるHDL形成促進機構**

第126年回日本薬学会(2006.3)

*Massachusetts General Hospital / Harvard Medical School

佐井君江, 斎藤嘉朗, 澤田純一, 白尾国昭*¹, 南 博信*², 西條長宏*²: **薬物応答関連遺伝子の多型とテラーメード投薬への応用 - イリノテカンの例を中心に -**

第26回日本臨床薬理学会シンポジウム(2005.12)

*¹ 国立がんセンタ - 中央病院

*² 国立がんセンタ - 東病院

佐井君江, 佐伯真弓, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 白尾国昭*¹, 南 博信*², 大津 敦*², 山本 昇*¹, 田村友秀*¹, 濱口哲弥*¹, 吉田輝彦*³, 西條長宏*², 澤田純一: **日本人におけるUGT1A α (1A9-1A7-1A1)遺伝子多型のイリノテカン薬物動態への影響**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 国立がんセンタ - 中央病院

*² 国立がんセンタ - 東病院

*³ 国立がんセンタ - 研究所

武藤一敬*¹, 三橋純子*^{1,2}, 木村泰久*³, 塚原里美*², 石川悦子*², 佐井君江, 小澤正吾, 澤田純一, 植田和光*³, 片山和浩*¹, 杉本芳一*^{1,2}: **細胞膜上に発現しない不活性型P-糖蛋白をコードするMDR1 SNP**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 共立薬科大学

*² 癌研究会癌化学療法センタ -

*³ 京都大学大学院農学研究科

森川 馨, 川嶋敦子*¹, 田中知子, 森田 健, 田崎武信*², 山本 都: **テキストマイニングを援用した安全性情報データベースの解析**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ SPSS

*² 塩野義製薬解析センタ

竹村玲子, 高田容子, 天野博夫, 山本美智子, 田崎武信*, 森川 馨: **承認データからの安全性確保に向けて**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 塩野義製薬解析センタ

山本美智子, 大塚 文, 天野博夫, 竹村玲子, 高橋 薫, 中山健夫*, 森川 馨: **診療ガイドラインの薬物療法における安全性情報の検討: 喘息の事例**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 京大院医

大塚 文, 天野博夫, 黒田伸子, 高橋 薫, 高田容子, 山本美智子, 竹村玲子, 森川 馨: **海外における医薬品安全性に関する最近の動向**

日本薬学会第126年会(2006.3)

高田容子, 竹村玲子, 天野博夫, 山本美智子, 大塚 文, 森川 馨: **モノクローナル抗体医薬品の承認後明らかとなった副作用(FDAの安全性情報を事例として)**

日本薬学会第126年会(2006.3)

大庭志野*, 竹村玲子, 森川 馨: **閉経後女性の初期乳癌補助療法としてのAromatase Inhibitorの使用: その有効性及び安全性について**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 岐阜大院医

山田忠明*, 田崎武信*, 森川 馨: **疫学研究における交絡の解析的な調整とその限界**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 塩野義製薬解析センタ

小笠原博幸*, 田崎武信*, 森川 馨: **癌性疼痛の管理における薬物治療の有効性及び安全性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 塩野義製薬解析センタ

早川 穰*, 阪田幸則*, 小枝正暢*, 森川 馨: **早産・低出生体重児の原発性無呼吸に対するキサンチン系薬剤の有効性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* エーザイ

長尾康治*, 野江克英*, 奥村 一*, 森川 馨: **更年期障害治療のためのホルモン補充療法の有効性及び安全性に関するエビデンスの調査・検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

* あすか製薬

野江克英*, 長尾康治*, 奥村 一*, 森川 馨: **進行性前立腺癌に対する内分泌療法の有効性及び安全性に関する**

るエビデンスの検討

日本薬学会第126年会(2006.3)

*あすか製薬

歌田直人*, 清玄寺雅媛*, 橋本公子*, 西畑利明*, 森川 馨: **緑内障治療薬の有効性・安全性の調査・検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*参天製薬

大畑雅子*, 佐藤 昇*, 森川 馨: **心筋梗塞後のうつ病治療に関するエビデンスの調査・検討**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*シミック

奥 珠樹*, 影山吉博*, 佐藤 昇*, 森川 馨: **肥満2型糖尿病に対するメトホルミンの有効性と安全性**

日本薬学会第126年会(2006.3)

*シミック

窪田邦宏, 豊福 肇, 酒井真由美, 春日文子, 森川 馨: **食品安全情報におけるBSEに関する研究情報**

日本防菌防黴学会第32回年次大会(2005.5)

窪田邦宏, 豊福 肇, 酒井真由美, 鈴木穂高, 春日文子, 森川 馨: **「食品安全情報」- 海外における食品微生物情報の動向**

第140回日本獣医学会学術集会(2005.9)

窪田邦宏, 豊福 肇, 春日文子, 森川 馨: **集団食中毒調査結果を用いた食品由来疾患患者の医療機関受診率推定の試み**

第20回獣疫学会学術集会(2006.3)

杉田たき子, 佐々木史歩, 田中敬子, 登田美桜, 畝山智香子, 山本 都, 森川 馨: **食品添加物及び残留農薬の規制関連データベースの構築**

日本薬学会第126年会(2006.3)

登田美桜, 畝山智香子, 山本 都, 森川 馨: **各国における食品中残留農薬のモニタリングに関する情報調査**

日本薬学会第126年会(2006.3)

豊福 肇: **生産段階におけるCodexの取り組み - 食肉・卵・乳製品・水産養殖について -**

日本食品衛生学会第91回学術講演会(2006.5)

豊福 肇: **Codexにおける食品安全規格と国際的動向**

第24回日本食品微生物学会学術セミナー(2005.9)

山本 都, 森川 馨: **化学災害と毒性情報の収集**

日本薬学会第126年会(2006.3)

石光 進, 森田 健, 森川 馨: **室内空気中の揮発性有機化合物のGHS分類**

日本薬学会第126年会(2006.3)

森田 健, 祖父尼俊雄^{*1}, 林 真, 田中憲穂^{*2}, 中嶋 圓^{*3}, 中西良文^{*4}, 樋口政純^{*5}, 石光 進, 小嶋 靖, 佐々木史歩, 森川 馨: **GHSにおける生殖細胞変異原性物質の分類**

第34回日本環境変異原学会(2005.11)

*1 実中研

*2 食薬セ

*3 安評セ

*4 産医研

*5 厚労省

Morita, T.: **1,4-Dioxane: A Unique Positive in the Liver Micronucleus Test?**The *In Vivo* Strategy Working Group at the 4th International Workshop on Genotoxicity Tests (2005.9)Morita, T.: **Single-Dose in vivo MN: Some Examples from CSGMT/MMS**The In vivo Micronucleus Test working group at the 4th International Workshop on Genotoxicity Tests (2005.9)浅野哲秀^{*1}, D. Torous^{*2}, S. Dertinger^{*2}, C. Tometsko^{*2}, 森田 健, 林 真: **AOおよびフローサイトメトリーを用いた低用量域での小核誘発について**

第34回日本環境変異原学会(2005.11)

*1 日東電工

*2 Litron Labs

小谷 明^{*1}, 小島智史^{*1}, 林 讓, 松田りえ子, 福泉敦尚^{*2}, 植田泰輔^{*3}, 木村良夫^{*3}, 楠 文代^{*1}: **電気化学キャピラリーLCにおけるバイカレインとバイカリンの測定条件のFUMI理論に基づく最適化**

第66回分析化学討論会(2005.5)

*1 東京薬科大学

*2 北斗電工

*3 林純薬工業

Segawa, K., Nakano, T., Nakata, K., Ijuin, K.^{*1}, Hatanaka, N.^{*2} and Hayashi, Y.: **Spectral analysis of the daily variations of prescriptions at a pharmacy for infectious and non-infectious diseases**

CBI2005(2005.8)

*1 Tanashi Yakuhin

*2 Kakunoki Yakkyoku

Kotani, A.^{*}, Hayashi, Y., Matsuda, R. and Kusu, F.^{*}: **Optimization strategy of high-performance liquid chromatography with electrochemical detection based on the FUMI theory**The 56th Annual Meeting of International Society of Electrochemistry(2005.9)

*Tokyo University of Pharmacy and Life Science

伊集院一成^{*}, 瀬川勝智, 中野達也, 辻 澄子, 林

讓：調剤薬局における処方量の時系列解析による薬剤の分類

第15回日本医療薬学会年会(2005.10)

* 田無薬品

辻 澄子, 瀬川勝智, 中野達也, 林 讓：食用タール色素の生産量のスペクトル解析

第42回全国衛生化学技術者協議会年会(2005.11)

小谷 明*, 小島智史*, 林 讓, 松田りえ子, 楠 文代*: FUMI理論を活用したアトモレベルのバイカリン・バイカレインの電気化学検出キャピラリーLCの最適化

日本薬学会第126年会(2006.3)

* 東京薬科大学

福澤 薫*¹, 望月祐志*², 中野達也, 北浦和夫*³, 田中成典*⁴: フラグメント分子軌道法によるエストロゲン受容体-リガンド相互作用の理論的研究

分子構造総合討論会2005(2005.9)

*¹ みずほ情報総研株式会社

*² 立教大学

*³ 産業技術総合研究所

*⁴ 神戸大学

望月祐志*¹, 中野達也, 石川岳志*¹, 福澤 薫*², 加藤昭史*², 田中 皓*³, 常盤広明*¹, 甘利真司*⁴, 北浦和夫*⁵, 田中成典*⁶: ABINIT-MPプログラムの最近の機能拡張

分子構造総合討論会2005(2005.9)

*¹ 立教大学

*² みずほ情報総研株式会社

*³ アドバンスソフト

*⁴ 東京大学

*⁵ 産業技術総合研究所

*⁶ 神戸大学

甘利真司*¹, 愛澤昌宏*¹, 張軍衛*¹, 岩澤義郎*², 中田琴子*², 望月祐志*³, 中野達也: Ab initio フラグメントMO(FMO)法によるドッキングシミュレーション候補化合物の選別

日本コンピュータ化学会2005秋季年会(2005.10)

*¹ 東京大学

*² アドバンスソフト

*³ 立教大学

愛澤昌宏*¹, 張軍衛*¹, 甘利真司*¹, 岩澤義郎*², 中田琴子*², 中野達也: KiBank(タンパク質-化学物質相互作用解析支援データベース)の現状

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 東京大学

*² アドバンスソフト

平田睦子, 楠岡 修*¹, 西村信雄*¹, 和田 肇*², 緒方英博*², 福田苗美*³, 伊藤義彦*³, 鎌田栄一, 江馬 真,

長谷川隆一: 化学物質に対する新生児の感受性に関する研究: 1,3-ジブロモプロパン及び1,1,2,2-テトラブロモエタン

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6-7)

*¹ (株)ボゾリサーチセンター

*² (株)パナファームラボラトリーズ

*³ (財)畜産生物科学安全研究所

Hasegawa, R., Hirata-Koizumi, M., Takahashi, M., Kamata, E. and Ema, M.: Susceptibility of newborn rats to six chemicals, compared to young rats

42nd Congress of European Societies of Toxicology(2005.9)

Hasegawa, R., Kurose, K., Ikeda, S., Koyano, S., Tohkin, M. and Sawada, J.: Analysis of the transcriptional regulatory region of the human PXR(NR1I2) gene

45th Annual Meeting, Society of Toxicology(2006.3)

鈴木佳寿子*¹, 柳川達生*¹, 頭金正博, 柴崎敏昭*²: 2型糖尿病患者におけるCYP2C9遺伝子多型がグリメピリドの有効性と安全性に及ぼす影響

第48回日本糖尿病学会年次学術集会(2005.5)

*¹ 練馬総合病院

*² 共立薬科大学

Tohkin, M., Suzuki, K.*¹, Yanagawa, T.*¹, Shibasaki, T.*², Kaniwa, N. and Hasegawa, R.: Effect of CYP2C9 genetic polymorphisms on the efficacy and pharmacokinetics of glimepiride in subjects with type 2 diabetes

13th North American ISSX / 20th JSSX Meeting(2005.10)

*¹ 練馬総合病院

*² 共立薬科大学

頭金正博, 鹿庭なほ子, 長谷川隆一, 鈴木佳寿子*¹, 柳川達生*¹, 柴崎敏昭*²: 2型糖尿病患者の背景因子がグリメピリドの血糖改善効果に及ぼす影響

日本薬学会第126年会(2006.3)

*¹ 練馬総合病院

*² 共立薬科大学

黒瀬光一, 池田仁子, 長谷川隆一, 神野透人, 佐井君江, 小澤正吾, 斎藤嘉朗, 澤田純一, 駒村和雄*¹, 小竹 武*¹, 森下秀樹*¹, 鎌倉史郎*¹, 北風政史*¹, 友池仁暢*¹, 田村友秀*², 山本 昇*², 国頭英夫*², 山田康秀*², 大江裕一郎*², 島田安博*², 白尾国昭*², 久保田馨*², 南博信*², 大津 敦*², 吉田輝彦*², 西條長宏*²: アミノ酸置換を伴うCARの遺伝子多型と機能解析

第28回日本分子生物学会年会(2006.12)

*¹ 国立循環器病センター

*² 国立がんセンター

菅野裕一朗*, 鈴木智善*, 鈴木裕美*, 中浜隆之*, 黒瀬光一, 澤田純一, 井上義雄*: ホルポールエステルPMAによるConstitutive androstane receptor(CAR)の活

性調節

日本薬学会第126年会 (2006.3)

* 東邦大学薬学部

Ueno, H. ^{*1}, Okusaka, T. ^{*1}, Saijo, N. ^{*2}, Furuse, J. ^{*2}, Ishii, H. ^{*2}, Yoshida, T. ^{*3}, Sugiyama, E., Kim, S., Kaniwa, N. and Sawada, J: **Impact of cytidine deaminase genetic polymorphisms on gemcitabine kinetics and toxicity in Japanese cancer patients**

2005 ASCO (American Society of Clinical Oncology) Annual Meeting (2005.5)

*¹ 国立がんセンター中央病院

*² 国立がんセンター東病院

*³ 国立がんセンター研究所

Kaniwa, N.: **Impact of a cytidine deaminase genotype on gemcitabine pharmacokinetics and toxicities in Japanese cancer patients**

第25回国際札幌癌学会シンポジウム (2005.8)

上野秀樹^{*1}, 奥坂拓志^{*1}, 西條長宏^{*2}, 古瀬純司^{*2}, 吉田輝彦^{*3}, 鹿庭なほ子, 金 秀良: **ゲムシタピンの投与を受けたがん患者を対象とした薬理ゲノム学の研究**

第64回日本癌学会学術総会 (2005.9)

*¹ 国立がんセンター中央病院

*² 国立がんセンター東病院

*³ 国立がんセンター研究所

Kaniwa, N., Sugiyama, E., Kim, S., Kikura-Hanajiri, R., Hasegawa, R., Saito, Y., Ozawa, S., Sawada, J, Kamatani, N. ^{*1}, Ueno, H. ^{*2}, Okusaka, T. ^{*2}, Saijo, N. ^{*3}, Furuse, J. ^{*3}, Ishii, H. ^{*3} and Yoshida, T. ^{*4}: **Impact of a cytidine deaminase haplotype on gemcitabine pharmacokinetics and toxicities in Japanese cancer patients**

Joint Meeting of 20th Japanese Society of Study of Xenobiotic and 13th North American Meeting of International Society of Study of Xenobiotics (2005.10)

*¹ 東京女子医科大学

*² 国立がんセンター中央病院

*³ 国立がんセンター東病院

*⁴ 国立がんセンター研究所

杉山永見子, 鹿庭なほ子, 金 秀良, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 澤田純一, 上野秀樹^{*1}, 奥坂拓志^{*1}, 古瀬純司^{*2}, 石井 浩^{*2}, 吉田輝彦^{*3}, 西條長宏^{*2}: **ゲムシタピンを投与された癌患者の薬物動態および毒性に対するCDA遺伝子の一塩基多型 (SNP) の影響**

第26回臨床薬理学会年会 (2005.12)

*¹ 国立がんセンター中央病院

*² 国立がんセンター東病院

*³ 国立がんセンター研究所

Inoue, T.: **Summary and Future Directions "Regulation of hematopoiesis"**

Pathophysiology & Molecular Biology of Hematopoiesis,

Malignancy & Radiation Response "International Symposium in Memory of Eugene P. Cronkite, M.D." (2006.5)

井上 達, 松下智哉^{*}, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 平林容子: **一般講演「造血器・リンパ節・脾臓6」DNAマイクロアレイによる放射線照射後の特異的遺伝子発現プロファイルの探索**

第95回日本病理学会総会 (2006.4)

* 中外製薬(株)富士御殿場研究所

Suzuki, H. ^{*}, Inoue, T. ^{*}, Matsushita, T. ^{*}, Horii, I. ^{*}, Hirabayashi, Y., Inoue, T.: **in vitro gene expression profiling of nephrotoxic chemicals in rat primary renal cortical tubular cells**

Society of Toxicology 45th Annual Meeting & ToxExpo (2006.3)

* Chugai Pharmaceutical Co. Ltd.

井上 達, 松下智哉^{*}, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 平林容子: **放射線照射後の骨髄における放射線特異的な遺伝子プロファイルの抽出**

第28回日本分子生物学会年会 (2005.12)

* 中外製薬(株)富士御殿場研究所

井上 達: **パネルディスカッション「食の安全確保に向けての食品行政の最近の話題」食品添加物の安全性について**

第42回全国衛生化学技術協議会年会 (2005.11)

Inoue, T.: **Continuing Education Course "Toxicogenomics-A new paradigm of toxicology"**

International Conference on Toxicology, Environmental and Occupational Health (ICTEOH-2005) (2005.11)

井上 達, 松下智哉^{*}, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 平林容子: **放射線照射の骨髄組織への影響のマイクロアレイ解析: 放射線捺印プロファイリングと腫瘍マーカー**

第67回日本血液学会総会 (2005.9)

* 中外製薬(株)富士御殿場研究所

井上 達, 松下智哉^{*}, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 平林容子: **ワークショップ1-4「発がん過程」DNAマイクロアレイによる放射線照射後の遺伝子発現プロファイル解析**

第64回日本癌学会総会 (2005.9)

* 中外製薬(株)富士御殿場研究所

Inoue, T.: **"International Research Efforts in Toxicogenomics" Toxicogenomics strategies and current progress**

9th ICEM Satellite Meeting on Toxicogenomics (2005.8)

Inoue, T.: **Nutrigenomics: Toxicogenomics and risk-assessment applied to food-safety**

Mini-symposium of the National Center for Risk Analysis (2005.7)

壺井 功, 平林容子, 平本正樹*, 菅野 純, 井上 達, 相澤 信*: **加齢に伴う造血ストローマ細胞の機能低下は炎症時のB細胞性造血反応を低下させる**

日本基礎老化学会第28回大会(2005.6)

*日本大学 医学部

井上 達: **プロジェクト成果とGLPの将来展望**

第8回日中医薬品安全性評価学術シンポジウム「中日韓 - GLP国際シンポジウム及びプロジェクト報告」(2005.5)

Kanno, J., Aisaki, K., Igarashi, K., Nakatsu, N., Ono, A. and Kodama, Y.: **“Per cell” mRNA normalization system for microarrays and quantitative PCR**

Gordon Research Conference “Toxicogenomics” (2005.6)

菅野 純: **神経幹細胞モデルに於けるエピジェネティック制御機構障害のPercellome トキシコゲノミクス研究**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.7)

菅野 純, 五十嵐勝秀, 松島裕子, 相崎健一, 中津則之: **トキシコゲノミクスからのアプローチ**

第15回環境ホルモン学会講演会(2005.6)

菅野 純: **WHO Children’s Programの概説と本邦での現状と取り組みについて**

第17回神経行動毒性研究会講演(2005.8)

五十嵐勝秀, 中津則之, 松島裕子, 相崎健一, 北嶋 聡, 菅野 純: **飼料中植物性エストロゲンが内分泌かく乱候補化学物質による遺伝子発現変動に及ぼす影響 Percellome手法を用いた解析**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.7)

中津則之, 北嶋 聡, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 小野 敦, 児玉幸夫, 菅野 純: **Ahr作動性化学物質の初期遺伝子発現のPercellome手法を用いた手法**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.7)

Kanno, J., Aisaki, K., Igarashi, K., Nakatsu, N., Kitajima S. and Kodama, Y.: **Percellome and Mille-Feuille data system for toxicogenomics**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life Sciences (2005.8)

Kanno, J.: **Expression Profiling in Mechanistic Toxicology** 9th ICEM Satellite Meeting on Toxicogenomics (2005.8)

Kanno, J., Aisaki, K., Igarashi, K., Nakatsu, N., Ono, A. and Kodama, Y.: **“Percellome” mRNA normalization system for microarrays and quantitative PCR**

9th ICEM Satellite Meeting on Toxicogenomics (2005.8)

中津則之, 相崎健一, 菅野 純: **Diethylnitrosamine によるマウス肝遺伝子発現変動解析**

第64回日本癌学会学術総会(2005.9)

五十嵐勝秀, 中津則之, 松島裕子, 相崎健一, 北嶋 聡, 菅野 純: **飼料中の植物エストロゲンがトランスクリプトームに及ぼす影響**

環境ホルモン学会第8回研究発表会(2005.9)

菅野 純, 中津則之, 松島裕子, 相崎健一, 北嶋 聡, 五十嵐勝秀: **雌性マウスにおける視床下部・下垂体・性腺系の性周期遺伝子発現のPercellome解析**

環境ホルモン学会第8回研究発表会(2005.9)

Kanno, J.: **Approaches by Basic Biology to Reinforce the Screening and Testing Strategy for the Endocrine Disruptors**

KFDA/NITR International Symposium (2005.10)

中津則之, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 児玉幸夫, 菅野 純: **Diethylnitrosamine及びN-ethyl-N-nitrosoureaによるマウス肝遺伝子発現変動解析**

第28回日本分子生物学会(2005.12)

Igarashi, K., Nakatsu, N., Aisaki, K., Kitajima, S., Kodama, Y. and Kanno, J.: **Dynamic and comprehensive gene expression profile of hypothalamus-pituitary-ovary axis and reproductive tracts during estrous cycle revealed by “Percellome” method**

KEYSTONE SYMPOSIA Tissue-Selective Nuclear Receptors (2005.9)

Igarashi, K., Takahashi, Y., Tanemura, K. and Kanno, J.: **Comprehensive gene expression analysis of the effect of 5-azacytidine to developing mouse brain**

KEYSTONE SYMPOSIA Epigenetics and Chromatin Remodeling in Development (2006.1)

菅野純, 中津則之, 相崎健一, 北嶋 聡, 五十嵐勝秀: **「Percellome Projectによる発がん関連transcriptomics」- Diethylnitrosamine等のCarcinogenの肝遺伝子発現解析(B6 versus C3Hの検討から)**

第3回日本癌学会カンファレンス(2006.3)

Kanno, J., Aisaki, K., Igarashi, K., Nakatsu N., Kitajima S. and Kodama, Y.: **Percellome Project for phenotype-independent toxicogenomics**

CASCADE Annual Meeting (2006.3)

松島裕子, 菅野 純: **マウス周産期の低用量DES暴露が遅発性に雌性生殖器及ぼす影響の検討**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6)

Hirabayashi, Y.: **Implication of hemopoietic progenitor cell kinetics and leukemogenesis: A Gompertzian mortality**

change. Pathophysiology & Molecular Biology of Hematopoiesis, Malignancy & Radiation Response
International Symposium in Memory of Eugene P. Cronkite, M.D. (2006. 5)

平林容子, 尹 秉一, 李 光勲, 藤井義明*, 金子豊蔵, 菅野 純, 井上 達: 一般講演「造血器・リンパ節・脾臓6」アリアルハイドロカーボン受容体の造血細胞での特異な発現とベンゼンの造血障害における役割
第95回日本病理学会総会 (2006. 4)

*筑波大学

Hirabayashi, Y., Yoon, B. I., Li, G. X., Fujii-Kuriyama, Y. *, Kaneko, T., Kanno, J., Inoue, T.: **AhR mediated hematotoxicity is induced at the site of bone marrow where consequent CYP2E1-derived benzene metabolites locally induce their toxicity**
Society of Toxicology 45th Annual Meeting & ToxExpo (2006. 3)

*Tsukuba University

平林容子, 北田邦雄*¹, 吉田和子*², 松村琢也, 松田基, 五十嵐勝秀, 児玉幸夫, 菅野 純, 相澤慎一*³, 井上 達: p53欠失造血前駆細胞の特徴: その持続増殖能と遺伝子発現プロファイル
第28回日本分子生物学会年会 (2005. 12)

*¹ 中外製薬(株)鎌倉研究所
*² 放射線医学総合研究所

*³ 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

平林容子, 李 光勲, 尹 秉一, 藤井義明*, 児玉幸夫, 菅野 純, 井上 達: 幹細胞維持機構としてのアリアルハイドロカーボン受容体機能とモデルマウス
第22回日本疾患モデル学会 (2005. 11)

*筑波大学

Hirabayashi, Y. and Inoue, T.: **Plenary keynote presentation "Benzene-induced leukemogenesis between wild type and p53 knockout mice"**

International Conference on Toxicology, Environmental and Occupational Health (ICTEOH-2005) (2005. 11)

Hirabayashi, Y.: **Role of oxidative stress in benzene-induced hematotoxicity by thioredoxin-over-expression mouse**
IRN2005 (2005. 11)

平林容子, 李 光勲, 尹 秉一, 川崎 靖, 淀井淳司*, 菅野 純, 井上 達: ワークショップ3「白血病の分子標的治療モデル」実験白血病抑制モデル: チオレドキシン過剰発現ROS消去系におけるp53の役割
第67回日本血液学会総会 (2005. 9)

*京都大学ウイルス研究所

平林容子, 李 光勲, 尹 秉一, 川崎 靖, 黒川雄二*¹,

淀井淳司*², 菅野 純, 井上 達: ワークショップ2-2「遺伝子操作動物モデル(2)」チオレドキシン過剰発現によるベンゼン誘発白血病の抑制に関するp53の役割
第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

*¹ 佐々木研究所

*² 京都大学ウイルス研究所

Hirabayashi, Y., Yoshida, K. *¹, Kanno, J., Kodama, Y., Yoshimura, I. *² and Inoue, T.: **p53 deficient bone-marrow cells to assure non-threshold chemical leukemogenesis**
42nd Congress of European Societies of Toxicology (EUROTOX2005) (2005. 9)

*¹ National Institute of Radiological Sciences

*² Tokyo University of Science

Hirabayashi, Y., Inoue, T., Kitada, K. *¹, Igarashi, K., Kodama, Y., Kanno, J. and Yoshida, K. *²: **PCA enables identifying characteristic components for experimental spontaneous myeloid leukemias**

9th ICEM Satellite Meeting on Toxicogenomics (2005. 8)

*¹ Chugai Pharmaceutical Co. Ltd.

*² National Institute of Radiological Sciences

Hirabayashi, Y., Yoon, B. I., Li, G. X., Fujii-Kuriyama, Y. *, Kaneko, T., Kanno, J. and Inoue, T.: **Benzene-induced hematopoietic toxicity transmitted by AhR in the wild-type mouse was negated by repopulation of AhR deficient bone marrow cells**

25th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (Dioxin 2005) (2005. 8)

*Tsukuba University

平林容子, 川崎 靖, 淀井淳司*¹, 李 光勲, 尹 秉一, 金子豊蔵, 黒川雄二*², 長尾 拓, 菅野 純, 井上 達: **ベンゼンの血液毒性と酸化ストレス - thioredoxin によるベンゼン毒性の緩和と, p53欠失によるその解除**
第32回日本トキシコロジー学会学術年会 (2005. 6)

*¹ 京都大学ウイルス研究所

*² 佐々木研究所

Takagi, A. and Kanno, J. : **Effects of TCDD on mouse embryonic stem cells in culture**

45th Annual Meeting of Society of Toxicology, USA (2006. 3)

高木篤也, 中津則之, 五十嵐勝秀, 菅野 純: **マウス口蓋形成過程に発現する遺伝子のマイクロアレイ解析**
第28回日本分子生物学会 (2005. 12)

Takagi, A., Ema, M. and Kanno, J. : **Attenuation of 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin-induced cleft palate by dimethyl sulfoxide**

The 25th International Symposium on halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2005. 8)

高木篤也, 菅野 純: 発生毒性解析のための無血清培地を用いたマウスES細胞培養系の検討
第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6)

小川幸男, 関田清司, 北嶋 聡, 松島裕子, 山本雅也, 斎藤 実, 児玉幸夫, 井上 達, 菅野 純: ガルシニア抽出物の安全性に関する研究(3)- ヒドロキシクエン酸のマウス精巢毒性の検討 -
第32回日本トキシコロジー学会(2005.6)

高橋 雄, 北嶋 聡, 菅野 純, 相賀裕美子*: 体節形成におけるストライプパターンの形成には未分節中胚葉前方におけるNotchシグナルのネガティブフィードバックが本質的に重要である
第38回日本発生生物学学会(2005.6)
*国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Kitajima, S., Yasuhiko, Y., Kanno, J. and Saga, Y. *: A Notch modulator Dll3 partially substitutes for roles of Mesp2 in rostro-caudal patterning of somites
15th International Society of Developmental Biologists Congress (2005.9)
*国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Kitajima, S., Yasuhiko, Y., Kanno, J. and Saga, Y. *: Re-examination of phenotypes in somitogenesis of Mesp2-null mice and Mesp2-Dll3 knock-in mice
NAIST-CDB International Symposium: Frontiers in Developmental Biology (2005.12)
*国立遺伝学研究所

高橋 雄, 安彦行人, 北嶋 聡, 菅野 純, 相賀裕美子*: Dll3 ノックインマウス及びMesp2 ノックアウトマウスにおける体節形成と前後パターン形成の表現型の再検討
第28回日本分子生物学学会(2005.12)
*国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 中津則之, 井上 達, 菅野 純, 相賀裕美子*: 分子発生毒性モデルとしての遺伝子欠失胚を用いた遺伝子発現変動のPercellome手法を用いた解析
第32回日本トキシコロジー学会(2005.6)
*国立遺伝学研究所

Kitajima, S., Aisaki, K., Igarashi, K., Nakatsu, N., Saga, Y. * and Kanno, J.: Gene expression profiling of the Mesp1, Mesp2-double knockout embryo to seek the responsible genes for the cardiac precursor development
15th International Society of Developmental Biologists Congress (2005.9)
*国立遺伝学研究所

北嶋 聡, Fishman, G.I. *¹, 富田幸子 *², 井上 達, 菅

野 純, 相賀裕美子 *³: 転写因子 Mesp1 非発現細胞はマウス刺激伝導系細胞に寄与する
第28回日本分子生物学学会(2005.12)

*¹ 国立遺伝学研究所

*² New York University School of Medicine

*³ 国立遺伝学研究所

安彦行人, 原口清輝 *¹, 菅野 純, 相賀裕美子 *²: NotchシグナルおよびTbx6によるMesp2発現制御機構の解析
第38回日本発生生物学学会(2005.6)

*¹ The Wellcome Trust/Cancer Research UK Gurdon Institute

*² 国立遺伝学研究所

Yasuhiko, Y., Haraguchi, S. *¹, Takahashi, Y., Kanno, J. and Saga, Y. *²: Tbx6 controls Mesp2 expression in forming somites

15th International Society of Developmental Biologists Congress 2005: Sydney, Australia (2005.9)

*¹ The Wellcome Trust/Cancer Research UK Gurdon Institute

*² 国立遺伝学研究所

安彦行人, 原口清輝 *¹, 高橋 雄, 菅野 純, 相賀裕美子 *²: NotchシグナルはTbx6依存的にMesp2発現を活性化する
第28回日本分子生物学学会年会(2005.12)

*¹ The Wellcome Trust/Cancer Research UK Gurdon Institute

*² 国立遺伝学研究所

安彦行人, 原口清輝 *¹, 高橋 雄, 北嶋 聡, 菅野 純, 相賀裕美子 *²: 体節形成に関わる遺伝子 Mesp2 の発現は, NotchシグナルによりTbx6依存的に活性化される遺伝情報DECODE冬のワークショップ(2006.1)

*¹ The Wellcome Trust/Cancer Research UK Gurdon Institute

*² 国立遺伝学研究所

Matsumoto, S. *, Aisaki, K. and Kanno, J.: Mass Distributed Clustering: A New Clustering Algorithm for Repeated Measurements in Gene Expression Data

16th International Conference on Genome Informatics (2005.12)

* NCR Japan

菅野 純, 相崎健一, 中津則之, 北嶋 聡, 小野 敦, 児玉幸夫, 五十嵐勝秀: Percellome手法を用いた化学物質トキシコゲノミクス・データベースの構築 ~ 分子毒性機序解析に向けた試み ~

第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005.6)

種村健太郎, 松上璃江子 *, 山田一之 *, 端川 勉 *, 近藤 隆 *: 社会的環境によるマウス脳エピジェネシス・

脳構造・脳機能への影響

第38回日本発生生物学会 (2005. 6)

*理研 脳センター

Tanemura, K., Ogura, A. ^{*1}, Sato, E. ^{*2}, Hayashi, Y. ^{*3}, Lee, H. W. ^{*4}, Kondo, T. ^{*5} and Kanno, J.: **Dynamic rearrangement of telomeres during spermatogenesis in mice**

International Symposium on Germ Cells, Epigenetics, Reprogramming and Embryonic Stem Cells (2005. 11)

*¹理研 バイオリソースセンター*²東北大学 農学部*³東京大学 農学部*⁴Sungkyunkwan University School of Medicine*⁵理研 脳センター**大野泰雄：マイクロドージング試験の毒性学的根拠 (1) 文献的調査の結果**

第32回日本トキシコロジー学会 (2005. 6)

大野泰雄：2週間反復投与毒性試験による精巢毒性評価
日本アンドロロジー学会第24回総会 (2005. 7)Ohno, Y.: **Japanese challenge to develop alternative methods for safety evaluation of cosmetics**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life sciences (2005. 8)

Yoshimura, I. ^{*1}, Omori, T. ^{*2}, Ohno, Y., Hoya, M. ^{*3}, Mori, M. ^{*3}, Doi, T. ^{*4}, Fujita, Y. ^{*5}, Itagaki, H. ^{*3}, Kawabata, R. ^{*6}, Kojima, H. ^{*7}, Hasegawa, S. ^{*7}, Okamoto, Y. ^{*8}, Tanaka, N. ^{*9}, Tanigawa, K. ^{*9} and Wakuri, S. ^{*9}: **Validation Study on the Battery System for Prediction of Phototoxicity in Japan: The Overview of the Result**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life sciences (2005. 8)

*¹東京理科大学工学部*²京都大学医学部*³(株)資生堂安全性・分析センター*⁴マルホ(株)京都R & Dセンター*⁵東洋ビューティー*⁶大鵬製薬(株)*⁷日本メナード化粧品(株)総合研究所*⁸コーセー研究本部・基礎研究所*⁹(財)食品薬品安全センター・秦野研究所Ohno, Y., Ando, T., Inagaki, K. ^{*1}, Ohhira, M. ^{*2}, Kosaka, T. ^{*3}, Kojima, H. ^{*4}, Nakamura, Y. ^{*5}, Torishima, H. ^{*6}, Morikawa, N. ^{*7}, Omori, T. ^{*8}, Kanno, J., Kuboki, M. ^{*2}, Genno, M. ^{*6}, Nogata, M. ^{*1}, Harada, T. ^{*3}, Morimoto, T. ^{*5}, Yoshimura, I. ^{*9}: **Validation of human skin models for skin corrosivity tests in Japan**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life sciences (2005. 8. 25)

*¹日本農薬(株)総合研究所*²日本曹達(株)小田原研究所安全性研究部*³(財)残留農薬研究所*⁴日本メナード化粧品(株)総合研究所*⁵住友化学工業(株)生物環境科学研究所*⁶倉敷紡績(株)バイオメディカル部*⁷ゲンゼ(株)研究開発センター*⁸京都大学医学部*⁹東京理科大学工学部Ohno, Y.: **Establishment of JaCVAM and welcome to WC6 in 2007/Tokyo**

5th World Congress on Alternatives & Animal Use in the Life sciences (2005. 8)

足利太可雄 ^{*1}, 坂口 齊 ^{*2}, 岡本賢二 ^{*3}, 水野 誠 ^{*4}, 山田貴亮 ^{*5}, 吉田真由美 ^{*6}, 佐藤 淳 ^{*7}, 児玉達治 ^{*7}, 太田尚子 ^{*6}, 長谷川靖司 ^{*5}, 岡本裕子 ^{*4}, 桑原裕史 ^{*3}, 小坂七重 ^{*2}, 園さき子 ^{*1}, 大野泰雄: **in vitro 皮膚感作性試験：h-CLAT (human Cell Line Activation Test) の日本における共同研究 (第一報)**

第19回日本動物実験代替法学会 (2005. 12)

*¹(株)資生堂安全性・分析センター*²花王*³カネボウ化粧品*⁴(株)コーセー基礎研究所*⁵日本メナード化粧品(株)*⁶ポーラ化成工業(株)研究所*⁷ライオン(株)研究開発本部若栗 忍 ^{*}, 大野泰雄, 田中憲穂 ^{*}: **細胞毒性による in vivo 全身毒性の予測について. 代謝活性化の導入および処理条件の検討**

第19回日本動物実験代替法学会 (2005. 12. 1)

*食品薬品安全センター・秦野研究所

Ohno, Y.: **日本代替法評価センター(JaCVAM)設立記念講演 代替法の国際協調. Research on alternatives in Japan and JaCVAM, its role and future plan**

第19回日本動物実験代替法学会 (2005. 12. 1)

大野泰雄：日本薬理学会の契める動物実験 (苦痛の評価と軽減)

日本薬理学会シンポジウム S17 (2006. 3. 9)

Ashikaga, T. ^{*1}, Sakaguchi, H. ^{*2}, Okamoto, K. ^{*3}, Mizuno, M. ^{*4}, Sato, J. ^{*5}, Yamada, T. ^{*6}, Yoshida, M. ^{*7} and Ohno, Y. ^{*8}: **Results of a Japanese ring study of a human cell line activation test (h-CLAT) for predicting skin sensitization potential**

SOT (2006. 3)

*¹Shiseido Corporation*²Kanebo COSMETICS INC.*³KOSE Corporation*⁴LION Corporation*⁵NIPPON MENARD COSMETIC CO., LTD*⁶POLA CORPORATION

*⁷ Kao Corporation

Koizumi, S. and Inoue, K. *: **Dynamic astrocyte-to-neuron communication mediated by astrocytic ATP in hippocampal cultures**

Euroglia Meeting (2005. 5)

* Kyushu University

小泉修一, 大野泰雄, 井上和秀 *: **アストロサイトによるシナプス伝達制御**

日本薬理学会関東部会シンポジウム (2005. 6)

*九州大学

Koizumi, S.: **Astrocytes function as an interface of neurovascular system**

Neuro2005 Symposium (2005. 7)

Koizumi, S. Fujishita, K. Inoue, K. Tsuda, M. * and Inoue, K. *: **TPを介した表皮ケラチノサイト間情報連絡と痛み**

第27回日本疼痛学会シンポジウム (2006. 7)

*九州大学

Koizumi, S., Fujishita, K. and Inoue, K. *: **Glia-to-vascular communication mediated by extracellular ATP**

第48回日本神経化学会シンポジウム (2005. 10)

* Kyushu University

Koizumi, S., Tsuda, M. * and Inoue, K. *: **Mechanical allodynia induced by P2Y2 receptor activation**

Society for Neuroscience (2005. 11)

* Kyushu University

Tsuda, M. *, Kunifusa, E. *, Nasu-Tada, K., Hasegawa, S. *, Koizumi, S. and Inoue, K. *: **Fibronectin increases expression of P2X4 receptors in microglia**

Society for Neuroscience (2005. 11)

* Kyushu University

小泉修一, 藤下加代子, 末石浩二*, 高田英友子*, 片岡泰文*: **ATP受容体を介するアストロサイト-ペリサイト系による毛細血管制御**

第79回日本薬理学会シンポジウム (2006. 3)

*福岡大学

津田 誠*, 国房恵巳子*, 多田 薫, 小泉修一, 井上和秀*: **フィブロネクチンはミクログリアにおけるP2X4受容体の発現を増強する**

第79回日本薬理学会 (2006. 3)

*九州大学

藤下加代子, 末石浩二^{*1}, 片岡泰文^{*1}, 井上和秀^{*2}, 小泉修一: **血管周皮細胞ペリサイトに発現するP2受容体の生理的役割**

第79回日本薬理学会 (2006. 3)

^{*1} 福岡大学

*² 九州大学

篠崎陽一, 小泉修一, 井上和秀*: **アストロサイトにおけるP2Y1受容体活性化を介した酸化ストレス誘導製細胞死シグナリングに対する拮抗作用**

第79回日本薬理学会 (2006. 3)

*九州大学

多田 薫, 斉藤秀俊, 井上和秀*, 小泉修一: **アストロサイトのpinocytosisにおけるP2Y₆受容体の関わり**

第79回日本薬理学会 (2006. 3)

*九州大学

戸崎秀俊, 津田 誠*, 小泉修一, 井上和秀*: **レチノイン酸による初代培養ミクログリアのP2X₄受容体発現増強**

第79回日本薬理学会 (2006. 3)

*九州大学

大久保聡子: **三量体Gタンパク質を介する情報伝達における脂質ラフトの役割**

日本薬学会第126年会シンポジウム (2006. 3)

中澤憲一, 山越葉子, 土屋利江, 大野泰雄: **原子間力顕微鏡観察によるP2X2受容体が孔形成タンパク質であることの確認**

第79回日本薬理学会年会 (2006. 3)

佐藤 薫, 松木則夫*, 大野泰雄, 中澤憲一: **培養海馬切片におけるエストロゲンおよびその類縁物質のCA3野特異的作用**

第28回日本神経科学大会シンポジウム (2005. 7)

*東京大院・薬・薬品作用

佐藤 薫, 大野泰雄, 中澤憲一: **エストロゲンは歯状回顆粒細胞からのBDNF releaseをPKA依存的に促進する**

第79回日本薬理学会年会 (2006. 3)

Ozawa, S., Saito, Y., Sai, K., Katori, N., Kaniwa N. and Sawada, J.: **A Large Scale Analysis of Human Genes responsible for Drug Disposition: A National Project (genomic analysis)**

13th Annual Meeting of the North American International Society for the Study of Xenotoxicity/20th Annual Meeting of the Japanese Society of the Study of Xenotoxicity (2005. 10)

Nakai, K. ^{*1}, Ozawa, S., Suzuki, F. ^{*2}, Kumada, H. ^{*2}, Tanaka, H. ^{*1}, Hanada, K., Sunouchi, M., Kubota, K. ^{*3}, Kamikawa, Y. ^{*3}, Ogata, H. ^{*1} and Ohno, Y.: **Levels of Messenger RNA Encoding Drug Metabolism Enzymes and Drug Transporters in the Liver of Chronic Hepatitis C Patients**

13th Annual Meeting of the North American International Society for the Study of Xenotoxicity/20th Annual Meeting

of the Japanese Society of the Study of Xenobiotics (2005. 10)

*¹ Meiji Pharmaceutical University

*² Toranomon Hospital

*³ Dokkyo University School of Medicine

Ozawa, S.: **Ethnic and Individual Differences in the Capacity of Drug Metabolism and Disposition in relation to Chemical Toxicity, Disease Susceptibility and Drug Development**

35th Annual Meeting of Korean Society of Pharmaceutical Sciences and Technology (2005. 12)

石田誠一, 篠崎陽一, 田辺秀之^{*1}, 影近弘之^{*2}, 首藤紘一^{*3}, 小澤正吾, 澤田純一, 大野泰雄, 井上和秀^{*4}: **HL-60細胞垂株のレチノイド応答性の差異とその分子機構の解析**

日本レチノイド研究会第十六回学術集会 (2005. 11)

*¹ 総合研究大学院大学

*² 東京医科歯科大学

*³ 乙卯研究所

*⁴ 九州大学

Miyajima, A., Ozawa, S., Tanaka, H.^{*1}, Nakai, K.^{*1}, Sunouchi, M., Sawada, J., Kamikawa, Y.^{*2}, Kubota, K.^{*2}, Ogata, H.^{*1} and Ohno, Y.: **The Crosstalk of Nuclear Receptors on the Expression of CYP Isoforms in Japanese Liver Tissue**

13th Annual Meeting of the North American International Society for the Study of Xenobiotics/20th Annual Meeting of the Japanese Society of the Study of Xenobiotics (2005. 10)

*¹ Meiji Pharmaceutical University

*² Dokkyo University School of Medicine

Miyajima, A., Ozawa, S., Yawata, A.^{*}, Kim, S, R., Ishida, S., Sunouchi, M., Sawada, J. and Ohno, Y.: **Polymorphism and Gene Expression of Thymidylate Synthase and Dihydropyrimidine Dehydrogenase in the Prediction of Sensitivity to Fluoropyrimidine Drugs**

45th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2006. 3)

* Showa Pharmaceutical University

Ozawa, S.: **How should Ethnic Differences in the Capacity of Drug Metabolism and Disposition be considered for Drug Development**

1st Asia Pacific International Society for the Study of Xenobiotics Meeting (2006. 5)

Ishida, S., Hongo, T.^{*}, Kajikawa, M.^{*}, Ishikawa, Y.^{*}, Sawada, J., Ozawa, S. and Ohno, Y.: **Regulation of Genes associated with Liver Function in 3-dimensional Culture Systems of Human Liver Cells**

1st Asia Pacific International Society for the Study of

Xenobiotics Meeting (2006. 5)

* Able Corporation

宇佐見誠, 大野泰雄: **培養ラット胚における二次元電気泳動法によるタンパク発現分析法の検討**

第45回日本先天異常学会学術集会 (2005. 7)

Kurebayashi, H. and Ohno, Y.: **In Vitro Metabolism of Ametryne and Prometryne by Human Liver Microsomes and Human Cytochrome P450 Isoforms**

13th NA ISSX/20th JSSX Meeting (2005. 10)

紅林秀雄, 大野泰雄: **アクリルアミドおよびグリシダミドのラット肝細胞毒性**

日本薬学会第126年会 (2006. 3)

西川秋佳, 今沢孝喜, 梅村隆志, 神吉けい太, 黒岩有一, 広瀬雅雄: **MeIQxによるマウス大腸発がんイニシエーション作用**

第94回日本病理学会総会 (2005. 4)

西川秋佳, 梅村隆志, 広瀬雅雄, 森 幸雄^{*}: **タバコ煙によるCYP1A誘導の発現時期と代謝活性化への影響**

第63回日本癌学会学術総会 (2005. 9-10)

* 岐阜薬科大学

今沢孝喜, 西川秋佳, 梅村隆志, 前田真智子, 北村泰樹, 神吉けい太, 石井雄二^{*}, 広瀬雅雄: **MeIQxのマウス大腸発がんイニシエーション作用**

第63回日本癌学会学術総会 (2005. 9-10)

* 星薬科大学

森 幸雄^{*}, 立松憲次郎^{*}, 西川秋佳, 梅村隆志, 広瀬雅雄: **ニコチンのラット及びハムスターの肝 cytochrome P450 1A2によるヘテロサイクリックアミンの変異原的活性化に及ぼす影響**

日本環境変異原学会第34回大会 (2005. 11)

* 岐阜薬科大学

中村考志^{*1}, 中村 慧^{*1}, 浅井祐美^{*1}, 和田豊明^{*2}, 田仲 究^{*3}, 松尾友明^{*3}, 岡本繁久^{*3}, 西川秋佳, 佐藤健司^{*1}, 大槻耕三^{*1}: **大根中で酵素的に生成するすい臓がん抑制成分4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate**

日本環境変異原学会第34回大会 (2005. 11)

*¹ 京都府立大学

*² 京都府農総研

*³ 鹿児島大学

神吉けい太, 西川秋佳, 梅村隆志, 増村健一, 石井雄二^{*}, 黒岩有一, 児玉幸夫, 能美健彦, 広瀬雅雄: **p53^{+/-} gpt delta マウスにおけるアクロレイン経口投与による in vivo 遺伝子変異の検索**

第22回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2006. 1)

* 星薬科大学

Nishikawa, A., Imazawa, T., Kanki, K., Kuroiwa, Y. and Hirose, M.: **Involvement of *trans*-4-hydroxy-2-nonenal-modified proteins in LEC rat hepatic lesions**
45th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2006. 3)

西川秋佳: **遺伝毒性発がん物質の閾値とその要因**
国際シンポジウム「環境因子, 特に遺伝毒性発がん物質の閾値: 安全と安心の接点をめざして」(2006. 3)

中村考志^{*1}, 中村 慧^{*1}, 浅井祐美^{*1}, 和田豊明^{*2}, 田仲 究^{*3}, 松尾友明^{*3}, 岡本繁久^{*3}, 西川秋佳, 佐藤健司^{*1}, 大槻 耕三^{*1}: **京ダイコンのからみ成分の合成酵素と基質の品種間差異**

日本農芸化学会2006年度大会(2006. 3)

^{*1} 京都府立大学

^{*2} 京都府農総研

^{*3} 鹿児島大学

黒岩有一, 梅村隆志, 増村健一, 神吉けい太, 石井雄二, 児玉幸夫, 能美健彦, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ***gpt delta* マウスにおけるフルメキン投与による酸化的DNA損傷とin vivo変異頻度の解析**
第32回日本トキシコロジー学会学術年会(2005. 6)

黒岩有一, 梅村隆志, 北村泰樹, 神吉けい太, 児玉幸夫, 伊東 健*, 山本雅之*, 西川秋佳, 広瀬雅雄: **肝発がん物質ペンタクロロフェノールに対するNrf2欠損マウスの感受性**

第64回日本癌学会総会(2005. 9)

* 筑波大学

黒岩有一, 石井雄二, 梅村隆志, 神吉けい太, 西川秋佳, 中澤裕之*, 広瀬雅雄: **茶抽出物(カテキン類)と亜硝酸ナトリウムの併用投与による前胃発がん促進作用**
第22回日本毒性病理学会(2006. 1)

* 星薬科大学

Kuroiwa, Y., Umemura, T., Kitamura, Y., Ishii, Y., Kanki, K., Kodama, Y., Itoh, K. *, Yamamoto, M. *, Nishikawa, A. and Hirose, M.: **A crucial role of Nrf2 in in vivo defense system against an environmental pollutant, pentachlorophenol exposure**

45th Annual Meeting of Society of Toxicology (2006. 3)

* 筑波大学

石井雄二, 梅村隆志, 西川秋佳, 神吉けい太, 黒岩有一, 岡野圭太, 中澤裕之*, 広瀬雅雄: **アセトアミノフェン誘発マウス肝障害におけるカテコールの増強効果**
第22回日本トキシコロジー学会(2006. 6)

* 星薬科大学

本光喜*, 梅村隆志, 岡村美和*, 六車雅子*, 櫻田陽子*, 町田 登*, 三森国敏*: **dicyclanilのマウス肝発がん機序に関する研究: 酸化的ストレスの関与**

第22回日本トキシコロジー学会(2006. 6)

* 東京農工大

梅村隆志, 神吉けい太, 黒岩有一, 石井雄二, 岡野圭太, 能美健彦, 西川秋佳, 広瀬雅雄: **ラット腎発がん剤臭素酸カリウムによる酸化的DNA損傷, in vivo変異原性およびイニシエーション活性**

第64回日本癌学会総会(2005. 9)

梅村隆志, 神吉けい太, 黒岩有一, 石井雄二, 岡野圭太, 能美健彦, 西川秋佳, 広瀬雅雄: **臭素酸カリウムによるラット腎OGG1mRNAおよび8-hydroxydeoxyguanosineの変動とin vivo変異原性ならびにイニシエーション活性**
第22回日本毒性病理学会(2006. 1)

Umemura, T., Kanki, K., Kuroiwa, Y., Ishii, Y., Okano, K., Nohmi, T., Nishikawa, A. and Hirose, M.: **In vivo mutagenicity and initiation activity following overexpression of OGG1 and increase of 8-hydroxyguanine formation in the kidney of rats given potassium bromate**

45th Annual Meeting of Society of Toxicology (2006. 3)

梅村隆志, 神吉けい太, 黒岩有一, 石井雄二, 岡野圭太, 能美健彦, 西川秋佳, 広瀬雅雄: **臭素酸カリウムによるラット腎8-hydroxydeoxyguanosineならびにその修復酵素の変動とin vivo変異原性およびイニシエーション活性**
第141回日本獣医学会(2006. 3)

渋谷 淳, 井上 薫, 禹 桂炯, 禹 麻美, 黒岩敬子, 五十嵐勝秀, 広瀬雅雄: **Sulfadimethoxineによるラット甲状腺発がん促進過程特異的な発現遺伝子のプロファイリング**

第64回日本癌学会学術総会(2005. 9)

井上 薫, 渋谷 淳, 禹 桂炯, 禹 麻美, 黒岩敬子, 菅野 純, 五十嵐勝秀, 広瀬雅雄: **Kojic acidによるラット甲状腺発がん促進過程特異的な発現遺伝子のプロファイリング**

第64回日本癌学会学術総会(2005. 9)

渋谷 淳: **アカネ色素の発がん性リスク評価, 第3回食品安全フォーラム**

シンポジウム「安全性から見た食育のリスクマネジメント」(2005. 11)

井上 薫, 渋谷 淳, 禹 桂炯, 禹 麻美, 五十嵐勝秀, 黒岩敬子, 富士本仁, 広瀬雅雄: **アカネ色素によるラット腎発がん過程における酸化的ストレスの関与について**
第22回日本毒性病理学会学術集会(2006. 1)

禹 桂炯, 渋谷 淳, 井上 薫, 禹 麻美, 黒岩敬子, 五十嵐勝秀, 富士本仁, 広瀬雅雄: **Gene expression profiling specific to the tumor promotion process of rat hepatocarcinogenesis induced by fenbendazole**
第22回日本毒性病理学会学術集会(2006. 1)

富士本仁, 渋谷 淳, 黒岩敬子, 井上 薫, 禹 桂炯, 禹 麻美, 広瀬雅雄: **ラット2年間発がん性試験で遭遇した消化管間質腫瘍の1例**

第22回日本毒性病理学会学術集会 (2006. 1)

禹 麻美, 渋谷 淳, 加藤奈津美, 井上 薫, 禹 桂炯, 掛谷知志*, 富士本仁, 広瀬雅雄: **DNAメチル化を指標としたマウスマイクロアレイの開発**

第22回日本毒性病理学会学術集会 (2006. 1)

* (株)スクラム

渋谷 淳, 禹 桂炯, 井上 薫, 禹 麻美, 五十嵐勝秀, 富士本仁, 広瀬雅雄: **肝中期発がん性試験法を用いたphenobarbitalによるラット肝発がん促進過程特異的な発現遺伝子のプロファイリング**

第22回日本毒性病理学会学術集会 (2006. 1)

Shibutani, M., Inoue, K., Woo, G.-H., Igarashi, K., Kanno, J. and Hirose, M.: **Gene expression profiling specific to the tumor promotion process of rat thyroid carcinogenesis induced by sulfadimethoxine or kojic acid**

45th Annual Meeting of Society of Toxicology (2006. 3)

井上 薫, 渋谷 淳, 禹 桂炯, 禹 麻美, 五十嵐勝秀, 富士本仁, 広瀬雅雄: **食品添加物として使用されていたアカネ色素のラット腎発がん機序: 特に酸化的ストレスの関与について**

第141回日本獣医学会総会 (2006. 3)

渋谷 淳, 井上 薫, 禹 桂炯, 富士本仁, 禹 麻美, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 広瀬雅雄: **甲状腺機能低下に起因する甲状腺発がんプロモーション過程早期に特異的な発現遺伝子のプロファイリング**

第141回日本獣医学会総会 (2006. 3)

禹 桂炯, 渋谷 淳, 井上 薫, 禹 麻美, 五十嵐勝秀, 富士本仁, 広瀬雅雄: **Gene expression profiling specific to the tumor promotion process of rat hepatocarcinogenesis induced by fenbendazole or phenobarbital**

第141回日本獣医学会総会 (2006. 3)

今井俊夫, 蓮村麻衣, 上田 誠, 小野瀬淳一, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **セイヨウワサビ抽出物のF344ラットにおける13週間反復投与毒性試験**

第11回日本食品化学学会総会・学術大会 (2005. 6)

曹 永晩, 今井俊夫, 太田世志雄, 蓮村麻衣, 高見成昭, 広瀬雅雄: **新規ラット中期大腸発がん試験法() - 既知発癌修飾物質を用いた検討**

第12回日本がん予防研究会 (2005. 7)

今井俊夫, 蓮村麻衣, 太田世志雄, 高見成昭, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **ラット甲状腺発がんに対する被膜炎の関与とCOX阻害剤の影響**

第20回発癌病理研究会 (2005. 8)

今井俊夫, 蓮村麻衣, 小野瀬淳一, 太田世志雄, 高見成昭, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **消化管傷害時におけるAmitroleのDHPNラット甲状腺発がん修飾作用 - 血中ホルモン濃度の解析**

第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

曹 永晩, 今井俊夫, 太田世志雄, 蓮村麻衣, 高見成昭, 広瀬雅雄: **腫瘍性病変を指標とした新規ラット中期大腸発がん試験法 - 既知発癌修飾物質での検討**

第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

高見成昭, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 太田世志雄, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **DHPN誘発ラット甲状腺二段階発がん過程におけるCOXsの発現低下**

第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

蓮村麻衣, 今井俊夫, 太田世志雄, 曹 永晩, 高見成昭, 広瀬雅雄: **アクリルアミドのラット乳腺発がん作用に対する抑制物質の検索**

第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

太田世志雄, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 高見成昭, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **DHPN-sulfadimethoxine誘発ラット甲状腺発がんに対するCOX阻害剤の影響**

第64回日本癌学会総会 (2005. 9)

今井俊夫, 太田世志雄, 蓮村麻衣, 高見成昭, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **DHPN-sulfadimethoxine誘発ラット甲状腺発がんに対するインドメタシン及びニメスリドの影響**

第22回日本毒性病理学会 (2006. 1)

曹 永晩, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 高見成昭, 広瀬雅雄: **DMH-DSS誘発ラット大腸発がんに対する抗炎症物質の作用**

第22回日本毒性病理学会 (2006. 1)

高見成昭, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 曹 永晩, 広瀬雅雄: **アクリルアミドのラット乳腺発がん作用に対する抗酸化及び第 相酵素誘導物質の抑制効果**

第22回日本毒性病理学会 (2006. 1)

蓮村麻衣, 今井俊夫, 太田世志雄, 高見成昭, 曹 永晩, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 広瀬雅雄: **ラット甲状腺発がん過程にみられる被膜炎の免疫病理学的解析**

第22回日本毒性病理学会 (2006. 1)

太田世志雄, 今井俊夫, 曹 永晩, 蓮村麻衣, 広瀬雅雄: **ラット中期大腸発がん試験法におけるムラサキトウモロコシ色素の発がん修飾作用**

第22回日本毒性病理学会 (2006. 1)

Imai, T., Takami, S., Cho, Y. M., Hasumura, M. and Hirose, M.: **Inhibitory effects of antioxidants and phase II-**

enzyme inducers on acrylamide-induced rat mammary carcinogenesis

45th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2006. 3)

林 真: **Ames 試験の結果を *in silico* でいかに予測出来るか, またその精度は?**

MMS セミナー (2005. 4)

林 真, 鎌田栄一: **化学物質安全性評価の為にカテゴリ**

アプローチ
カテゴリーシンポジウム (2005. 5)

能美健彦: **ハイ・スループット遺伝毒性試験系の構築**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会 (2005. 6)

Hayashi, M., Kamata, E., Hirose, A., Takahashi, M. and Ema, M.: **Strategy for (Q)SAR evaluation of chemical genotoxicity**

5th World Cong. Alt. & Anim. Use in the Life Sci (2005. 8)

能美健彦: **SOS DNA ポリメラーゼ: 環境とゲノム進化を結ぶ架け橋**

第7回日本進化学会大会 (2005. 8)

Nohmi, T.: **Y-family DNA polymerases in archaea and eubacteria, and their roles in genome maintenance**

Gordon Research Conference "Archaea: Ecology, Metabolism and Molecular Biology" (2005. 8)

Asano, N. ^{*1}, Torous, D. ^{*2}, Tometsko, C. ^{*2}, Dertinger, S. ^{*2}, Morita, T. and Hayashi, M.: **Low dose effects in the MNRETs induction by acridine orange supravital staining and flow cytometric methods**

The 9th International Conference on Environmental Mutagens (9th ICEM) (2005. 9)

^{*1} Nitto Denko Coop. Ltd.

^{*2} Litron Laboratories

Hotchkiss, C. ^{*1}, Harper, S. ^{*2}, Bishop, M. ^{*3}, Moore, M. ^{*3}, Dertinger, S. ^{*4}, MacNamee, J. ^{*5}, Hayashi, M. and MacGregor, J. ^{*6}: **Suitability of monkey and canine peripheral blood reticulocytes and target cells for the *in vivo* micronucleus test**

9th ICEM (2005. 9)

^{*1} The Bionetics Corporation

^{*2} FDA-CFSAN

^{*3} FDA-NCTR

^{*4} Litron Laboratories

^{*5} Health Canada

^{*6} Toxicology Consulting Services

Asano, N. ^{*1}, Hayashi, M., Dertinger, S. ^{*2}, Morita, T., Tometsko C. ^{*2} and Sugunan, S. ^{*2}: **Performance and**

power of flow cytometric micronucleus scoring

9th ICEM (2005. 9)

^{*1} Nitto Denko Corp.

^{*2} Litron Laboratories

Williams, R.V. ^{*}, Naven, R.T. ^{*}, Hayashi, M. and Kamata, E.: **Recent advances in the prediction of genotoxicity using DEREK for Windows**

9th ICEM (2005. 9)

^{*} Litron Laboratories

Asano, N. ^{*1}, Nishikawa, T. ^{*2}, Kasamatsu, T. ^{*3}, Gibson, D. ^{*4}, Aardema, M.J. ^{*4} and Hayashi, M.: **CSGMT/JEMS/MMS collaborative study for the skin micronucleus assay**

9th ICEM (2005. 9)

^{*1} Nitto Denko Corp.

^{*2} Lion Corp.

^{*3} Kao Corp.

^{*4} P&G, Cincinnati

Hakura, A. ^{*1}, Oka, H. ^{*2}, Takasaki, W. ^{*3}, Sasaki, Y.F. ^{*4}, Suzuki, S. ^{*5}, Satoh, T. ^{*5} and Honma, M.: **Establishment of humanized *in vitro* genotoxicity test system: combined system using human cell lines and human S9**

9th ICEM (2005. 9)

^{*1} エーザイ

^{*2} 大鵬薬品工業

^{*3} 三共

^{*4} 八戸高専

^{*5} HAB 協議会

Koyama, N. ^{*1}, Sakamoto, H., Sakuraba, M., Koizumi, T., Takashima, Y., Hayashi, M., Matsufuji, H. ^{*2}, Yamagata, K. ^{*2}, Masuda, S. ^{*1}, Kinae, N. ^{*1} and Honma, M.: **Genotoxicity of acrylamide and glycidamide in human lymphoblastoid TK6 cells**

9th ICEM (2005. 9)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 日本大学

Matsufuji, H. ^{*}, Inoue, M. ^{*}, Chino, M. ^{*}, Honma, M., Hayashi, M. and Yamagata, K. ^{*}: **Genotoxicity of quercetin in the presence of oxygen species and human liver S9 in human lymphoblastoid TK6 and WTK-1 cells**

9th ICEM (2005. 9)

^{*} 日本大学

Honma, M., Takashima, Y., Sakuraba, M., Koizumi, T., Sakamoto, H. and Hayashi, M.: **Interallelic homologous recombination and target intergration induced by DNA double strand breaks**

9th ICEM (2005. 9)

Neuwirth, E.A.H. ^{*}, Honma, M., Grosovsky, A.J. ^{*}: **High frequencies of crossing-over associated with long tract**

gene conversion in human cells9th ICEM (2005. 9)

* UC Riverside

Takashima, Y., Sakuraba, M., Koizumi, T., Sakamoto, H. and Honma, M.: **DNA double strand break repair and cells cycle in human lymphoblastoid cell line**

9th ICEM (2005. 9)

Nohmi, T.: **Environmental mutagenesis: from molecules to man**

9th ICEM (2005. 9)

Satou, K. *, Yamada, M., Nohmi, T., Harashima, H. * and Kamiya, H. *: **Roles of the *Escherichia coli* DinB and UmuDC proteins in mutations induced by oxidized DNA precursors**

9th ICEM (2005. 9)

* 北海道大学・院

Totsuka, Y. *¹, Takamura, T. *¹, Enomoto, S. *¹, Nishigaki, R. *¹, Kawahara, N. *², Masumura, K., Nohmi, T., Sugimura, T. *¹ and Wakabayashi, K. *¹: **Structures of DNA adducts derived from N-nitrosotaurocholic acid**

9th ICEM (2005. 9)*¹ 国立がんセンター研究所*² 生薬部

Shibata, A. *^{1,2}, Nohmi, T., Teraoka, H. *², Nakagama, H. *¹, Sugimura, T. *¹, Suzuki, H. *³ and Masutani, M. *¹: **Increased mutations in *Parp-1* knockout mice after treatment with an alkylating agent and with aging**

9th ICEM (2005. 9)*¹ 国立がんセンター研究所*² 東京医科歯科大学*³ 中外製薬 探索研究所

Kokubo, K. *, Yamada, M., Kanke, Y. * and Nohmi, T.: **Roles of replicative and specialized DNA polymerases in frameshift mutagenesis: mutability of *Salmonella typhimurium* strains lacking one or all of SOS-inducible DNA polymerases to 26 chemicals**

9th ICEM (2005. 9)

* 大妻女子大学・院

Aoki, Y. *¹, Hashimoto, A. *¹, Amanuma, K. *¹, Hiyoshi, K. *^{1,2}, Yanagisawa, T. *¹, Takano, H. *¹, Masumura, K. and Nohmi, T.: **in vivo mutagenicity of diesel exhaust and its components, benzo(a)pyrene and 1,6-dinitropyrene in the lungs of *gpt delta* mice**

9th ICEM (2005. 9)*¹ 独立行政法人 国立環境研究所*² 筑波大学・院Masumura, K., Hoshino, M. *¹, Yatagai, F. *², Ochiai, M. *³,

Nakagama, H. *³ and Nohmi, T.: **Non-homologous end-joining in X-ray-irradiated *scid/gpt delta* transgenic mouse**

9th ICEM (2005. 9)*¹ 昭和薬科大学*² 理化学研究所*³ 国立がんセンター研究所

Takeiri, A. *, Mishima, M. *, Tanaka, K. *, Shioda, A. *, Harada, A. *, Watanabe, K. *, Deki, T. *, Masumura, K. and Nohmi T.: **Molecular characterization of cisplatin and transplatin-induced base substitutions and deletion mutations in newly established *gpt delta* L1 cells**

9th ICEM (2005. 9)

* 中外製薬株式会社 御殿場研究所

Nakagama, H. *, Ochiai, M. *, Shibata, A. *, Masumura, K., Nohmi, T., Sugimura, T. * and Masutani, M. *: **in vivo mutation spectrum in *gpt delta* transgenic mice after treatment with alkylating agents under *Parp-1*-deficient and *DNA-PKcs*-deficient conditions**

9th ICEM (2005. 9)

* 国立がんセンター研究所

Hayashi, H. *, Shindo, Y. * and Nohmi, T.: **Carcinogenic risk estimation of organ specific mutagenicity induced by phenacetin using *gpt delta* transgenic rats**

9th ICEM (2005. 9)

* 明治製菓

Honma M.: **Genotoxic risk assessment for synthetic and natural chemicals in foods**

The 2nd International Conference on the Modernization of Traditional Chinese Medicine (2005. 9)

増村健一, 坂元康晃, 池田 恵*¹, 平田暁大*², 塚本徹哉*², 立松正衛*², 能美健彦: **p53欠損*gpt delta*マウスにおけるN-bis(2-hydroxypropyl)nitrosamine誘発突然変異の解析**

第64回日本癌学会学術総会 (2005. 9)

*¹ 女子栄養大学*² 愛知がんセンター

柴田淳史*¹, 能美健彦, 寺岡弘文*¹, 中釜 斉*¹, 杉村隆*¹, 鈴木宏志*², 益谷美都子*¹: ***Parp-1*欠損マウスの加齢個体における自然突然変異の解析**

第64回日本癌学会学術総会 (2005. 9)

*¹ 国立がんセンター研究所*² 中外製薬 探索研究所

Hayashi, M.: **Strategy for evaluation and interpretation of genotoxicity for food and related chemicals**

Int. Conf. Environ. & Genet. Damage & 12th Congress of the Chinese EMS (2005. 11)

Hirose, A., Kamata, E., Takahashi, M., Morita, T., Ema,

M., and Hayashi, M.: **Strategy for *in silico* evaluation of chemical genotoxicity**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

高島良生, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 坂本浩子, 林 真, 本間正充: **ヒト細胞におけるDNA2本鎖切断修復の細胞周期依存性**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

真田和尚, 坂本浩子, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 高島良生, 林 真, 本間正充: **p53に依存したスピンドルポイズンの*in vitro* 遺伝毒性**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

木本崇文, 坂本浩子, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 高島良生, 小林恒文*, 笠原義典*, 林 真, 本間正充: **ヒトリンパ球細胞TK6を用いたフラボノイド系サプリメント化合物の*in vitro* 遺伝毒性**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 帝人

本間正充, 高島良生, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 坂本浩子, 林 真: **DNA2本鎖切断によって誘発される相同染色体組換え, および遺伝子ターゲッティング**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

松藤 寛*, 井上真由美*, 千野 誠*, 本間正充, 林真, 山形一雄*: **ヒトリンパ球細胞株TK6を用いた酸化フラボノイドおよびその酸化物の遺伝毒性**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 日本大学

Hashimoto, A.H.*, Amanuma, K.*, Masumura, K., Nohmi T. and Aoki, Y.*: ***In vivo* mutagenicity of diesel exhaust inhalation in the testis of *gpt delta* mice**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 独立行政法人 国立環境研究所

Totsuka, Y.*, Nishigaki, R.*, Enomoto, S.*, Takamura-Enya, T.*, Masumura, K., Nohmi, T., Sugimura, T.* and Wakabayashi, K.*: **Structural analysis of DNA adducts formed from *N*-nitrosotaurocholic acid (NO-TCA)**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 国立がんセンター研究所

Yamada, M., Matsui K. and Nohmi, T.: **Development of bacterial tester strains to detect the mutagenicity of polycyclic aromatic hydrocarbons sensitively and specifically**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

Sui, H.*, Kawakami, K.*, Ohyama, N.*, Hara, T.* and Nohmi, T.: **Further improvement of high-throughput fluctuation Ames test (FAT): the effects of *dinB* plasmid (IV)**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 食品薬品安全センター 秦野研究所

Nishigaki, R.*, Totsuka, Y.*, Mori, Y.*, Masumura, K., Nohmi, T., Sugimura, T.*, Wakabayashi, K.*: **Analysis of *N*-nitroso-bis(2-oxopropyl)amine (BOP) and its metabolites in pancreatic juice of Syrian golden hamsters treated with BOP**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 国立がんセンター研究所

Horiguchi, M.*, Aoe, S.*, Tanaka, C.*, Tutuki, H.*, Yamada, M., Matui, K., Nohmi T. and Ikegami S.*: **Evaluation of inhibitory effects of food components on genotoxicity of chemicals by Ames test**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 大妻女子大学・短期大学部

Masumura, K., Ikeda, M.*¹, Sakamoto, Y., Wang, B.*², Neno, M.*², Sakuma, K.*¹, Hayata, I.*² and T. Nohmi: **Effect of low dose-rate gamma-irradiation on 4-(methylnitrosamino)-1-(3-pyridyl)-1-butanone (NNK) induced mutagenesis in *gpt delta* mice**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

*¹ 女子栄養大学

*² 独立行政法人 放射線医学総合研究所

Sakamoto, Y., Masumura, K., Ikeda, M.*¹, Hirata, A.*², Tsukamoto, T.*², Tatematsu, M.*² and Nohmi, T.: **Mutational analysis of p53 deficient *gpt delta* mice treated with *N*-bis(2-hydroxypropyl)nitrosamine and 2-amino-3-methylimidazo[4,5-f]quinoline**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

*¹ 女子栄養大学

*² 愛知がんセンター

Matsui, K., Yamada, M., Imai, M.*, Yamamoto K.* and Nohmi, T.: **Specificity of replicative and SOS-inducible DNA polymerases in frameshift mutagenesis: Mutability of *Salmonella typhimurium* strains overexpressing SOS-inducible DNA polymerases to 30 chemical mutagens**

日本環境変異原学会第34回大会(2005.11)

* 東北大学・院

池田 恵*¹, 増村健一, 坂元康晃, 王 冰*², 根井 充*², 佐久間慶子*¹, 早田 勇*², 能美健彦: ***gpt delta* マウスを用いたNNK 誘発突然変異に対する低線量率放射線の影響**

放射線影響学会第48回大会(2005.11)

*¹ 女子栄養大学

*² 独立行政法人 放射線医学総合研究所

Honma, M., Takashima, Y., Sakuraba, M., Koizumi, T., Sakamoto, H. and Hayashi, M.: **Interallelic homologous recombination and target intergration induced by DNA**

double strand breaks

The 22nd Radiation Biology Center International Symposium (2005. 11)

Hirose, A., Kamata, E., Takahashi, M., Morita, T., Ema, M. and Hayashi, M.: **Strategy for in silico evaluation of chemical genotoxicity**

日本動物実験代替法学会第19回大会 (2005. 12)

本間正充：**ヒト型遺伝毒性試験と、ヒト発がん性の予測**
日本動物代替法学会第19回大会 (2005. 12)

本間正充, 高島良生, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 坂本浩子, 林 真：**DNA2本鎖切断によって誘発されるヒト細胞での相同組換え反応**

第28回日本分子生物学会 (2005. 12)

高島良生, 櫻庭真弓, 小泉朋子, 坂本浩子, 林 真, 本間正充：**ヒト細胞における制限酵素によって切断されたDNA2本鎖切断修復の細胞周期依存性**

第28回日本分子生物学会 (2005. 12)

日高勝彦^{*1}, 山田雅巳, 紙谷浩之^{*2}, 益谷央豪^{*3}, 原島秀吉^{*2}, 花岡文雄^{*3}, 能美健彦：**DNAポリメラーゼ γ による酸化損傷dNTP取り込みで生ずる突然変異の特徴**

第28回日本分子生物学会年会 (2005. 12)

^{*1} 京都大学・院

^{*2} 北海道大学・院

^{*3} 大阪大学・院

山田雅巳, 松井恵子, 今井 勝^{*}, 山本和生^{*}, 能美健彦：**DNAポリメラーゼのヒエラルキー**

第28回日本分子生物学会年会 (2005. 12)

^{*} 東北大学・院・生命科学

Wang, J.^{*}, Sawyer, J.R.^{*}, Honma, M., Moore, M.^{*}: **The mouse lymphoma assay detects recombination, deletion, and aneuploidy**

45th Annual Meeting of Society of Toxicology (2006. 3)

^{*} NCTR, FDA

Nohmi, T.: **Roles of multiple DNA polymerases in mutagenic bypass of DNA lesions by various environmental chemicals**

Gordon Research Conference, "DNA damage, mutation and cancer" (2006. 3)

Hayashi, M.: **In vivo erythrocyte micronucleus assay: III. Validation and regulatory acceptance of automated scoring and the use of rat peripheral blood reticulocytes, with discussion of non-hematopoietic target cells and a single dose-level limit test**

BTS/UKEMS Accual Cong. (2006. 3)

能美健彦：**酸化的DNA損傷修復と突然変異に関わるヒ**

ト遺伝子の多型について

第95回日本病理学会総会 (2006. 5)

広瀬明彦, 鎌田栄一, 高橋美加, 森田 健, 江馬 眞, 林 真：**In silico評価系を用いる化学物質遺伝毒性検出の戦略**

第34回日本環境変異原学会 (2005. 11)

Hirose, A., Aisaki, H., Hara, H., Takahashi, M., Igarashi, K., Kanno, J. and Ema, M.: **DNA micro-array analysis of gene expressions in mice uterus exposed to dibutyltin dichloride during implantation**

The 25th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (DIOXIN) (2005. 12)

江馬 眞, 藤井咲子, 松本真理子, 広瀬明彦, 鎌田栄一：**有機スズ化合物の生殖発生毒性：ジブチルスズのマウスにおける胚致死作用**

第7回環境ホルモン学会研究会 (2005. 9)

江馬 眞, 福西克弘, 松本真理子, 広瀬明彦, 鎌田栄一：**紫外線吸収剤2-(3,5-di-tert-butyl-2-hydroxyphenyl)-5-chlorobenzotriazoleのラットにおける発生毒性**

第32回日本トキシコロジー学会学術年会 (2005. 6)

江馬 眞, 原 洋明, 松本真理子, 広瀬明彦, 鎌田栄一：**ブタノールのラットにおける発生毒性の検討**

第45回日本先天異常学会学術集会 (2005. 7)

江馬 眞：**OECD神経発生毒性試験ガイドライン426(ドラフト)の進捗状況**

第45回日本先天異常学会学術集会BTシンポジウム (2005. 7)

江馬 眞：**OECD発生神経毒性試験ガイドラインについて**

第17回神経行動毒性研究会 (2005. 8)

江馬 眞：**OECD発生神経毒性試験ガイドライン**

安全性評価研究会2005年冬のセミナー (2005. 12)

江馬 眞：**医薬品の生殖・発生毒性にかかわる添付文書やラベルに関するアンケート調査結果へのコメントと私見**

第10回生殖・発生毒性学東京セミナー (2006. 2)

Ema, M., Fukunishi, K., Matsumoto, M., Hirose, A., Kamata, E., Arima, A. and Ihara, T.: **Teratology study of dibutyltin in cynomolgus monkeys given during organogenesis**

The 45th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2006. 3)

Ema, M., Kimura, E., Hirose, A. and Kamata, E.: **Reproductive and developmental toxicity screening test of**

1,3-di-o-tolylguanidine in rats

EUROTOX (2005. 9)

Ema, M., Hara, H., Matsumoto, M., Hirose, A. and Kamata, E.: **Developmental toxicity of 1-butanol given to rats in drinking water throughout pregnancy**

The 44th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2005. 3)

Hirose, A., Kanno, J., Tokunaga, H., Nakazawa, K., Honma, M. and Inoue, T.: **Initial investigation on the assessment of nanomaterial safety by the Japanese MHLW**

2nd International Symposium on Nanotechnology and Occupational Health (2005. 10)